滿洲日報

發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月金一圓二十錢　一部金五錢
廣告料 普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算

上海の事態愈々急迫 一兩日中實力發動か
現兵力不足せば第二艦隊出動
わが海軍の對策決定

【東京廿六日發】上海方面の事態急迫せるに鑑み海軍では廿六日朝以來異常に緊張を呈し全首腦部會議の後非公式參議官會議を開き協議の結果日本は滿洲事變以來飽く迄隱忍自重して來たが各處に起る不敬事件、上海に於ける日本僧侶殺害事件は斷じて默過出來ぬとなし抗日會の解散を要求したが　支那側の誠意を認められざるを以て實力發動の止む無きに至つたとなし一兩日中にその發動を見ると見られるがその對策は左の如くである

一、現兵力が不足の場合は第二艦隊を出動せしむ
二、居留民の現地保護
三、吳淞沖より上海までの航路を確保する
四、膺懲手段として吳淞沖て上海出入の支那汽船を抑留すること

【東京二十六日發】廿六日の定例閣議は午前十一時開會（犬養、荒木、秦三相缺席）大角海相より上海の事態につき詳細報告し政府の對策協議の結果現地に於て邦人保護のため此の際斷乎たる處置を執るに決し同四時散會した

長江筋の邦人は現地保護

【上海二十六日發】我自衛權發動も早や時日の問題と見らるゝに至つたが其の際は蘇州、杭州、南京、蕪湖等長江筋の在留民は上海と漢口に集めて現地保護をなすべく其の筋より事前に引き揚げ命令を發せらるゝ事に決定した

民國日報社を閉鎖す
工部局武力を以て釘附け

【上海二十六日發】工部局は午後二時工部局外人警官隊を民國日報社に派遣し武力を以つて同社を閉鎖し表裏門とも釘附けにした

工部局聲明書發表

【上海二十六日發】工部局は左の聲明を發表した
工部局は昨日の市參事會議の決議に依り本日民國日報社を閉鎖した租界內天后宮の抗日會本部は先週末反日會員が姿を隱して仕舞ひ機能を失ひ自然消滅に歸したるにつき當局は問題解決せるものと認め前段の行動を執らず

民國日報社訴訟提起

【上海二十六日發】强制閉鎖された民國日報社は工部局の措置を不當なりとして工部局理事長フエッセン氏を相手取り訴訟を提出した

わが要求全部承認か
南京中央常務會議の決定

【上海二十六日發】昨日の中央常務會議は對日方策、上海事件を中心として重要協議を行つたが現在の狀勢よりして日本の要求を容れる他なしとて上海市政府に提出せる日本の要求は全部これを承認するに決した、然し、若しこれを發表すれば一般の反對あり又如何なる事件が惹起するやも知れぬので抗日會の解散方法に就き審議中だが蔣介石は已むを得ざる場合は斷乎たる手段を執つて抗日會の解散を斷行する肚を極めてゐる

各國領事館に逆宣傳

【上海二十六日發】日本の要求に依る抗日會の解散に就いて吳鐵城は日本に對する回答延引の事情を說明する爲め　張學良の顧問たる英國人ドナルド氏を昨日來上海各國領事館を訪問させ、金曜日迄に抗日會解散を命ずる事に就き諒解を求めつゝあるが英米佛領事は何れも之に對して相手にならず當然解散す可きものだと一蹴してゐる、尙抗日會は佛租界內に本部を移さんとし旣に事務の一部を移したが佛租界は本部設置を禁止した

各國共同租界を防備

【上海二十六日發】我軍自衛權發動の際支那軍が共同租界を攻擊せば各國駐屯軍は一千九百二十七年の租界防備協定に依り共同して支那軍に對抗し租界の安寧秩序を維持する事に決した、又日支國交斷絕し居らぬ故我軍の租界內通行その他行動は協定に依る駐兵權により他國軍隊同樣自由たる事外國側も諒解してゐる

わが陸戰隊本部に不敬、侮日的な投書

【上海廿六日發】今朝陸戰隊本部宛日本新聞の寫眞を切り抜き同封した手紙から投書が舞ひ込んだ御眞影に對しては民國日報がなしたと同樣の不敬文字を書き犬養首相[illegible]の寫眞には「海賊の親玉次には何をするか」と書き陸戰隊上陸の寫眞には「海賊來襲」日本兒童の寫眞には「海賊の子供」と書いてゐる說明は英文で書いてゐるが其の筆蹟文章より見て明かに支那人の書いたもので重なる不敬と侮日行爲に對し本部では激怒してゐる

福州東方新報 不敬記事揭載

【南京二十五日發】福州日本領事館の報告に依れば同地にある東方新報は不敬記事を撮載したので我領事館より福建省政府に對し嚴重抗議をなし同新報の發行禁止並に謝罪を要求し四時間以內に回答を求めたるところ省當局は日本の要求を容れ同新報の發行を禁止した

百武次長上海に引返す

【漢口二十六日發】百武軍令部次長は本日午後四時軍艦堅田で當地着の豫定の處本省よりの招電に依り急遽途中より引返し上海に向けて航した

緊急非公式軍事參議官會議

【東京二十六日發】海軍では上海事件が愈々紛糾し何時實力發動の已むなきに至るやも測り知れぬ狀態に立至つたので二十六日午前十一時より海相官邸に緊急非公式軍事參議官會議を召集し伏見大將宮殿下を初め奉り東鄉元帥、岡田、財部、加藤、安保、山本の各參議官省部側から大角海相、左近司次官、豐田軍務局長、谷口軍令部長及川第一班長等出席し先づ豐田軍務局長より上海事件に就き詳細なる說明をなし谷口軍令部長より實力行使の場合のあらゆる對策を報

支那側の兵力 その配置狀況

【上海二十六日發】上海に於ける支那側兵力は總領事館警察の調査に依れば南部方面一千龍華二千閘北三千豐田紡附近五百ロビンソン路三國公園三百吳淞千四百其の他百五十合約八千三百五十にして右は皆機關銃車隊を備へ相當有力であるその他公安隊四千（小銃二千拳銃所有）保安隊二千（小銃一千）步兵團一千、計七千總計約一萬五千餘にして閘北方面一帶の土嚢や堅壕構築は憲兵隊が當り鐵條網は開閉式とし街路に張り廻し居り支那側の戰備は昨日來急速に進められてゐる

高射砲を設備

【上海二十五日發】支那側では日本が愈々二十四時間の期限附最後通牒を發し期限の切れるを待つて一氣に重要地點を占據するとの噂が傳はり、要所々々に高射砲を据えつけ飛行機の襲擊に備へ支那街一帶に多數の軍隊を配置する等戰時の如き警備をなしてゐる

邦人紡績工場閉鎖
同業會協議會で決定

【上海二十六日發】紡績同業會は時局の重大に鑑み工場閉鎖問題に關して本日正午から午後七時迄協議會を開き工場閉鎖に依る影響など十分討議した結果事態斯くの如く切迫した以上一齊に閉鎖すると云ふに決し閉鎖の手段方法等は軍部及び公使館當局と打ち合せ邦人の安全に萬遺漏なきを期する事となつた閉鎖期は四十時間前後に行はるゝものと見られる但し吳淞の日華紡は地理的關係から明日より工場の閉鎖邦人社員の引き揚げ準備に取り掛る筈である

米總領事村井總領事訪問

【上海二十六日發】領事團主席アメリカ總領事カンニガム氏は午後三時半我總領事館に村井總領事を訪問今日迄の日支間交涉經過と現狀日本側の方針等につき聽取して四時五十分辭去カンニンガム氏は租界の安寧維持につきアメリカ側の希望を非公式に披瀝したものと信ぜられる

米總領事カ氏意見

【上海二十五日發】米總領事カンニンガム氏は時局に就き左の意見を持つてゐる

一、日本軍が租界外支那街にて軍事行動を採るに對しては米國は何等云々すべき立場に無い
二、然し共同租界を中立地帶に爲す事は旣に各國間に決められた事で米國は租界の中立は飽く迄擁護する
三、但し眞茹無電臺に就ては國際通信線の安全確保上日軍が之を攻擊破壞せぬ事を希望する

村井總領事英總領事と會見

【上海二十六日發】村井總領事は本日午後イギリス總領事ブレナン氏と會見市政府との交涉經過と狀勢の推移に依つて日本の執らんとする態度につき約三十分間說明したブレナン氏も「日本の立場をよく諒解した」と述べて辭去した

官邸放火犯人身元判明す
決死救國會の一味

【上海二十六日發】杜月笙等支那國民有力者中の過激一派は日本が高壓手段に出ずるに於ては非常手段で對抗するとの決議をなし護國決死救國會なるものを組織し我國に對し敵意を示してゐる公使官邸の燒き打は此の一味の所業と判明した又過般問題を起した三友實業社職工五百の義勇軍も決死隊を組織し我總領事館日本電信局襲擊を企てゝゐる事が判明した

邦人學校休校

【上海二十六日發】形勢日に惡化し來れるに鑑み當地居留民團所屬の幼稚園及び上海實業學校は本日より差し當り一週間休校する事となつた

通行證下附

【上海二十六日發】共同租界工部局警察當局は日支衝突避け難しとなし一兩日中に外國通信員に對して租界內通行の非常時通行證を下附するに決す

滿鐵經濟調査會新設
職制及び委員等を決定
きのふ設立と同時に發表

滿鐵において滿蒙の資源開發を誘導し產業全般の興隆を助成する大理想の下に資源調査委員會の如き機關を新設すべきことは旣報の如くであるが同委員會は名稱を經濟調査會とし委員その他關係人事の詮衡を終へ準備が完了したのでいよ〳〵二十六日成立を見、同日午後山西總務部長、山崎同次長より左の如く發表された

奉天に經濟調査會を設けて正副委員長各一名、委員、幹事、調査員各若干名を置く
調査會に左の五部を置く
第一部　經濟一般
第二部　產業、移植民、勞働
第三部　交通
第四部　商業、金融
第五部　法制一般及文化
同時に正副委員長、委員、幹事及び之に伴ふ異動任命左の如く發表された

理事　十河信二

經濟調査會委員長を命す

經濟調査會副委員長を命す　總務部次長兼調査課長　參事　石川鐵雄

地方部事務員　中島宗一（第四部主查）

調査課參事　宮崎正義（第一部主查）

外事課長參事　奥村愼次（第二部及第五部主查）

前工事部次長　佐藤俊久（第三部主查）
農務部次長參事　山崎元幹
監理部次長參事　田所耕耘
技術局次長技師　根橋禎二
撫順炭礦次長技師　久保孚
奉天事務所長參事　宇佐美寬爾
考查課參事　中野忠夫
經濟調査會委員を命す（各通）
總務部外事課長を命す

調査課事務員　伊藤武雄

總務部調査課長を命す　經濟調査會委員　宮崎正義
外事課長　伊藤武雄
經濟調査會幹事兼務を命す

右の外委員一名は大森地方部長の歸任を俟つて決定發表される筈で委員中奥村、宮崎、中島、佐藤四氏は專任委員として各部の主查を兼れ山崎、田所、根橋、久保、宇佐美五氏は現職のまゝ委員を兼任するものである、なほ常置委員の外に隨時會社內外より臨時委員を依囑することが出來る、專任調査委員は目下各部に亘つて詮衡中であるが差當り七十餘名を選拔し將來必要に應じて增加すべくその他中央試驗所地質調査所現存機關も之と聯絡一致し會社の全機能を擧げてこの大事業を遂行し有終の美を濟す計畫である

誠に堂々たる陣容
滿蒙新建設のよき指導者として打て附けの適任揃ひ

蓋んあけた滿鐵の經濟調査會はまことに堂々たる陣容で滿鐵首腦部が如何に滿蒙產業の建直しに多大の關心を持つてゐるかを語るものである、この調査會が將に建設期に入らんとする滿蒙の良き指導者たらうことは十分に期待される委員長十河理事は豪放果斷、常に明日を考へる人でこの大事業を統制指導するには最も適任である、十河委員長を補ける石川副委員長は緻密な頭腦を有する學者肌、嘗て臨時經濟調査局を主宰したともあり最近は總務部次長として主として調査、外事兩課を擔任して居り國際關係に精通しまことに打つて附けの適り役である、第一部主查の宮崎正義氏は多年調査課露西亞係主任として最も組織的な頭腦と該博な智識の所有者である、第二、第五兩部の奥村愼次氏は頭腦極めて明晰、調査方面にも相當經驗ありその上非常な努力家である、第三部の佐藤俊久氏は工事部次長で交通技術の權威者である、第四部の中島宗一氏は產業商事に[illegible]人で孰れも適材である、なほ伊藤武雄氏の調査課長は才幹手腕申分なく中野忠夫氏の外事課[illegible]常に期待されてゐる

けふ委員等の初顏合せ

經濟調査會委員長に任命された十河理事は二十六日夜東京を出發し大阪より飛行機に乘り急遽歸連する筈であるが同氏が現職事部長の職を離れて調査會の事業に專任するか或は現職を兼任するかなほ未定である、石川副委員長以下專任委員五氏（一名未定）は勿論現職を離れて調査會事務を專掌するもので二十七日石川副委員長以下委員、幹事の初顏合せをなし事務打合せを行ふ筈でその上可及的速かに奉天に赴くことになつてゐる、なほ調査會の事務所は當分奉天滿鐵社員俱樂部に置く

靜的調査から動的調査へ
石川副委員長語る

經濟調査會副委員長に榮轉した石川鐵雄氏は次の如く抱負を語る
滿鐵の調査機關は從來は主として靜的調査をしてゐたがこれから動的調査が出來るやうになつた譯だ、支那側の排日やその他の障碍で滿足に調査が出來なかつたこともこれからはそれ等の障碍も無くなるだらう、支那側

陳、孫兩氏の慰留に努む

【上海二十五日發】陳友仁、孫科の辭職問題に就き蔣介石、林森、汪兆銘及び各中央執行常務委員等は本日午後長時間に亘り協議を行つた結果張繼、張靜江をして今夜南京發上海に赴かせ極力孫、陳の慰留に當らしむるに決し右兩氏は十一時發列車で赴滬した、尙蔣介石派は孫科が飽迄辭職を固持するならば宋子文を行政院長に羅文幹を外交部長に任命し各部に亘り大異動を行ふ豫定である

さは有無相通じて提携してやるつもりだ、そしてその成果を各國人に開放して滿蒙を產業的理想鄉とするのがこの調査會の使命である

立候補黨派別 廿六日現在

【東京廿六日發】二十六日午後零時半現在立候補黨派別數左の如し

政友	八五	民政	七八
社民	八	大衆	五
革新	一	安達派	四
中立	八	合計	一八九

尾崎氏立候補

【東京二十六日發】目下洋行中の尾崎行雄氏は旅行先より立候補に決定し令息行輝氏は目下父に代り立候補宣言をなしてゐる

米海軍擴張案審議を延期

【ワシントン二十五日發】アメリカ下院海軍委員長ヴインソン氏が一月十六日に提案した六億千六百萬弗百二十隻の十ケ年計畫海軍擴張案はジュネーヴ軍縮會議の終了する迄審議を延期するに決した

勞農軍縮全權 外相以下任命

【モスクワ二十五日發】二月二十七日から壽府に開催の一般國際軍縮會議に出席する勞農聯邦全權團は本日左の如く決定任命された
首席全權　マキシム・リトヴイノフ（外務人民委員長）
グリゴリー・ソコルニコフ（駐英大使）
アナトリー・ルナチャルスキー（前聯邦科學アカデミー幹事）
オトセミオン・ベントソフ（勞農及び國防會議組織準備委員會幹事長）
ランガボイ（前ペルシヤ駐劄勞農陸軍武官）

一行莫斯科發

【モスクワ二十五日發】二月二日から開會さるゝ一般軍縮會議の勞農代表リトヴイノフ氏以下一行は二十六日モスクワ發ジュネーヴに向ふ筈である

陸相樞相訪問

【東京廿六日發】荒木陸相は正午倉富樞府議長を訪ひ滿洲事變費支出緊急勅令案に關し懇談諒解を求めた

江口副總裁けふ錦州へ

二十日來奉せる江口滿鐵副總裁は廿七日午前七時半發奉山線で錦州に赴き同地の軍隊を慰問し同時に奉山線一帶を視察すると【奉天電話】

羽が生えて賣れる 時局關係の小册子
見向きもされぬ小説や單行本 反面に斯んな現象

滿蒙問題　金輸出再禁止、議會解散、來るべき總選擧等々……内外共に多事多難なこのごろの世相が大連讀書人の頭にどうひゞいてゐるだらう？と一日記者は市中の本屋さんをのぞいて見ました

例年なら　冬が一番の讀書シーズンで單行本や小説がさぶやうに賣れるんですが、今年は時局に關係のあるものを除いてはからきしだめですれあの菊池さんが力瘤を入れて書いた小説でさへほとんど見向く人もないのですから、だが時局柄滿蒙問題や兵事に關するものは目ざましい賣行きで、評判のよいのになると仕入れても仕入れても追付かない位――さう千部や千五百位ぢやありませんでした

何がつて　？一番賣れたのは上田恭輔氏の「滿蒙の善後策を日華兩民に語る」（定價一圓卅錢）と大谷光瑞さんの「支那事變と國民の覺悟」（定價三十錢）でせうか大谷さんのはパンフレットでやすいからでもあつたでせうが上田さんのは實によく出ましたれやつぱり滿鐵の生字引とまでいはれた程の人ですから信用があるんでせうれ、その他松岡洋右氏の「動く滿蒙」「東亞全局の動搖」長野朗著「滿蒙併呑か獨立か」後藤朝太郎著「時局を繞らす支那の民情」板垣守正平野健共著「對支問題總決算」などどれも相當な賣行ですが値段がやすくて簡單に要領が掴める所からどうしても單行本よりパンフレットの方がよく出ます

この時局　それらつてのパンフレットや單行本は内地では雨後の筍のやうに澤山出てるやうですが、現地にすんで實際に可なり深い認識を持つてゐる大連の人たちにはよほどしつかりしたのでないと見向きもされません軍事思想の反映と見えるのは平田晉策「陸軍讀本」と「最新武揚軍歌」の素晴らしい賣行きで軍歌は特に中學生や女學生にうれるやうです地圖も俄に需要が殖えました、滿鐵調査課で調査した「滿蒙地圖」はよいにはよいのですが一圓ですからこのごろ

關東廳で　調査した「滿蒙新選地圖」（五十錢）に壓されるやうです、内地でも時局をあてこんだいろんな地圖が來ますがやはりこちらのにはかなわないし、全く賣れません、これ等の購讀者は主として滿鐵社員や銀行員、會社員など相當インテリ階級で、其他の一般の人や婦人方にはあまり好まれないやうですしかし事變以來雜誌といふ雜誌が時局問題をのせてゐますし雜誌を讀めば大體のことはわかるやうになつてゐるため雜誌の需要が大變殖えました、又時局寫眞帖のやうなのも

一般受け　がよく、滿洲日報社が支那側の逆宣傳を集めた「排日ポスター寫眞帖」（三十五錢）もちよつとの間に五六百部を賣りつくした有樣でした、金輸出禁止に關する著書も二三種來ましたが直ぐ賣切れたやうでこの方面の要求も相當あるものと思はれます、何しろ本がこちらに入るまでに相當日數がかゝりますので皆さんの讀書慾を充分滿たすことの出來ぬのが遺憾です、追つつけ

總選擧も　あることですしこの方面の圖書も相當入つて來ることゝ思ひますが際物ですから或は案外一時受がするかもしれません、……最近の一傾向として若い人達に社交ダンスの本がよく出ることゝ子供に漫畫が歡迎されることで、共に時代の一面をうかがふ事が出來るやうに思ひます

めつきり増えた 女給志願者
彼女らの懷中に響く このごろの不景氣風

大連警察署で取締つてゐるカフエーの女給、飲食店、料理屋、茶屋、貸座敷の仲居、或は宿屋の女中、さては最近許されたダンサー等々……各職業婦人の動きを大連署の保安係で調べて見ました、先づ大連署管内で公式に許可されたものは女給を筆頭に四百二十九人、飲食店百五十人、料理店、茶屋、貸座敷の仲居三百三十人、宿屋の女中八十人で凡そ千人の職業婦人が大連で働いてゐるわけです

彼女らの收入？　融人間を吹きまくる不景氣風！さてはサラリーマンの減俸！は間接に彼女らの懷中にも冷たくひゞいて最近の彼女らの收入はカフエーに働く人氣百パーセントの女給で百二、三十圓が最高、七、八十圓が普通で最低三、四十圓位だといふんです、がしかし彼女らは收入の多少に關せず衣裳、裝飾品などはこの中より購入いたしますから結局純收入はほんの僅になるわけです、料理屋、飲食店の仲居は女給收入に比しますとずつと落ちて四、五十圓が最高で、最低十四、五圓見當となつてゐます、次にポンペイあたりにゐる

外人ダンサー　で三、四十圓の收入となつて居ります、右に藤井保安主任は斯う語つてゐます

めつきり増えて來たのは女給志願者です、女給志願者中にも近頃では女學校卒業生も混じつてゐますが大體は高等小學校、尋常卒業こが主で數字の讀めぬといふ無學の者は古い仲居位のものです、彼女らの大多數は獨身者ですが中には有夫の婦もあります、女給を志願して來る女性が多くなつた今日では誰もを許すといふわけに行きませんから先づ身元調査を行つた上で素行の惡いもの、或は疑はしいものには絶體許可せぬ事になつて居ります、彼女らの女給を目差す原因を調べて見ますに貧困のため家庭補助の目的で志願するもの、或は

夫の失職のため　明日のパンのために餘儀なく志願するもの、或は不心得にも家を漫然と飛び出して輾々とカフエー、飲食店と轉替して歩くもの又は自分の道樂で志願するもの淋れ行く花柳界に早く見切をつけて女給を志願する藝妓或は宿屋の女中など志願する者の種類も色々ありますが、ダンスホールでも許可されたら又ダンサー志願者がうんと増加する事は豫想されてゐます

アサヒ ノボル
中濱しんいち作 河野さじい画 （37）

（一）サル ハ ヨル デ モ ヌ ガ ミ エ ル ノデ ヤネ ノ カ ハラ ヲ ハガシテ ハ ボウズ ノ ア タマ ヘ コツーン

（二）アツト イツテ タホレル コンド ハ オツギダ ボー ン コツーン アツ ポーン コツーン アツト ドンドン

（三）ボウズ ガ ヒツク リカヘル ネラヒ ノ ウマイコト ニ ホンノヘイタイサン イジヤウ アア ユ クワイ ユクワイ

（四）アマリ ミンナ タ ホレルノデ トシト ツタ ボウズ ガ タイヘン ダ テン カラ イシ ガ フ ルノハ オカシイゾ

1 2 3 4 KOH.

ショップガール 志望が増えた
就職難も知らぬ態の 大連女子商業卒業生

適れ　職業婦人戰線の闘士として今春三月大連女子商業學校を巣立つ六十四名の生徒たちの就職口は？と樋口校長にお伺ひを立てゝ見ました

「こちらはお蔭様で例年引つ張り凧で昨年も全部卒業前に就職口がきまりました、今年ももう二十五六名は確定したやうです

六十四名の卒業生のうち自宅で商業の手傳ひをするものが二名病氣で暫く靜養するのが一名、女學校へ轉校して高等師範に進むのが一名居ますから、就職希望者は

全部　で六十名になるわけです、自家營傳にわたるやうですがこの學校に入學する生徒は最礎から職業婦人としての教育を授かるために來るのですから、その職業に對する意識と熱意とは到底女學校の生徒たちと比較になりません、ことに商業一般、算盤、タイプライター、簿記などは三年間みつしり勉強してゐますからタイピストとしても事務員としても或は商店員としても充分な自信を持つてゐる者ばかりです。先年までは大てい銀行や會社などを望んでゐましたが、近年はしつかりした商店のショップガールを志望するものが著るしく殖えて來ました、生徒の

家庭　から見ましても概して女學校の人たちより生活程度が低いため却つて仕事には熱心で「すなほでよく働いて重寶だ」と雇主の間にも好評を頂いてゐるらしく自然就職難の聲も知らずにすむわけです、待遇にしましても昨年卒業生は最低三十四五圓から四十圓前後で平均三十七八圓の月收になつてゐました、本年は多少わるいかもしれませんが既にきまりましたので三十圓といふやうなのは殆どなく

平均　三十五圓位にはなるだらうと見て居ります、大學等と違ひましてたゞ成績がよいからとてよい就職口があるといふわけでもなく、先方の條件と生徒の希望とが一致すれば假令學科の成績はあまりよくなくとも早く纏まります、雇主の條件といつてもいろ／＼あります、算盤の上手なもの、タイプのうまいもの、字のきれいなもの、おとなしいもの、テキパキする者など多種多樣な注文がありま す。中でも

愛嬌　のよい少くとも感じの惡くない者といふのはほとんど全體を通じての注文で、從つてあまりむつつりした感じのよくないのは後まはしになる傾きがあります、一番困るのは「なるべく家庭の困らない順調に育つた者を」との註文ですが、學校側の希望としては家の貧しい複雜な事情のある者から先にきめてやりたいものですから自然この間に矛盾が來すわけです中には生徒自身で運動して就職するのもありますし個人的關係から雇はれて行くのもあります が、過去の經驗に照して見ますと、矢張り

雇主　の方から直接學校宛に申込みがあり、學校でその希望條件に從つて推薦したものゝ方が就職後の成績がよいやうです。學校では適所適材主義で極力生徒の仕合せと雇主の便宜を計つて居りますが、案ずるよりも產むがやすく今年も卒業までには全部それ／＼落つくことゝ先づ樂觀してゐます

滿日各地版

地主との關係改善 不當課稅撤廢要請
二十五日から奉天で開かれた 朝鮮人民會で討議

【奉天】在滿百萬の同胞保護と救濟のため全滿朝鮮人民會聯合大會の第一日は廿五日午前十時から奉天居留民會樓上に於て開催、出席者は

奉天、安東、撫順、鞍山、營口、鐵嶺、開原、鄭家屯、四平街、公主嶺、長春、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、陶鹿、海龍、西安、一面坡

の各代表廿五名に達し野口民會長議長席に着き開會を宣し事務報告後民會管內の狀況報告あり各地持寄りの議案整理の討議に入つたが大體に於て奉天案に準じ各地方案は之に包含することになり午後五時半終了したが既報の五議案の外追加議案として左の如く決定し討議することになつた

▲第六號議案(奉天追加案)

一、鮮農と支那人地主との關係改善に關し要請の件

從來支那人地主等の鮮農に對する態度甚だ面白からざるものあり殊に滿洲事變勃發後は鮮農に對し借租地融資等を殊更らに拒絕せんとするの風あり右は滿洲に於て朝鮮人が水田を開發せし歷史に悖り著しく鮮農の生活を脅威するの恐れあるを以て此際速かに東北四省の政府及び實業團より將來右樣の事なく從來の通り借家租地融資は勿論從來よりも一層親善關係を結ぶ樣剴切なる告示を發し地方官をして是を一般民衆に公示せしめ更らに其の實行は各縣自治指導員等監察機關をして監視せしむる樣軍部に請願すること

▲第七號議案(奉天提出)

一、不當課稅撤廢要請の件

從來支那地方官は自國人民に曾て課せざる不當の苛稅を鮮農に課せる實例甚だ多かりしが將來は鮮農に對する斯る不當課稅は一切撤廢することを東北省の政府をして地方官に訓令せしむる樣軍部に請願すること

▲第八號議案(奉天追加案)

一、民會增設の件

此度避難朝鮮人集合に依りて其の分布の情勢を察し此の際至急開原、公主嶺、洮南、清源、通遼の五ケ所に民會を增設し該方面における鮮農の發展を圖ること

▲第九號議案

一、警察署出張增設要請の件

鮮人集團部落に我が警察官署增設の件は客年十月二十日我全滿朝鮮人民會聯合會の決議に依り既に當局に請願せるところなるが吉林總領事館に於ては一月一日より敦化に又た一月九日より蛟河にそれぞれ警察官署の派出所を設立せられたる事は誠に我が鮮人の該地方に散在し居るものにとりては保安上仕合せの次第なるが此の際民會增設地たる洮南、清源、通遼等其の他必要の個所に警察官署の急設を當局に要請すること

少し改善したら二千噸は出やう
西安炭坑の視察から歸つて 坂口課長一行語る

【撫順】撫順炭礦坂口採炭課長、佐藤文書係主任一行四名の時局後援會西安炭坑派遣員慰問使は滿安二沿二十五日無事歸撫したが兩氏の土產談に曰く

西安炭坑は瀋海線海龍驛の一驛手前梅花口驛より乘換へて二時間撫順から八時間で着くが、西安市街は人口約四萬炭坑もだが特產の集散地で却々立派な賑やかな町でした、炭坑はこの町から更にハンドカーで約三十分も行つたところで

斜坑と 露天掘採炭で現在一日約五百噸の出炭を見てゐるが埋藏量も炭質も相當なもので規模や技術を今少し改善すれば精々二千噸位迄の出炭が出來やう前大山坑內主任の安田君外十名の諸君は夫々專門の部署を引受けて指導改善に努力してゐるから追ひ〱と成績を舉げるでせう、西安炭は瀋海列車の燃料と兵工廠其他奉天に出廻つてゐたが今は北方にも相當送られてゐる、年產六、七十萬噸も出ることになれば撫順炭にも相當影響しはしないかつて、そんなにも出まいが滿洲のインダストリーが今後益々勃興隆盛に

赴けば 撫順への影響どころか頗る結構なことで我々は今後は內地炭でも滿洲に輸入されるやう滿洲工業の發展を切望してゐる、尙瀋海線は少し地盤が惡いので動搖するが、列車は滿員の盛況でまた沿線の清源、山城鎮、營盤等の諸驛には特產物の出廻り多く匪賊橫行の時代ですらあれくらゐだから平時はもつと〱盛んなるべく缺損ばかりの支那鐵道中瀋海線ばかりは利益を舉げてゐたのも尤もだと思つた

病死體を捨て〻家族は逃亡
吉敦沿線の奇病地を調查中の一行歸る

【長春】吉敦線小姑家驛北方部落に於けるペスト樣の傳染病調查隊は二十五日歸長したが一行中の長春警察署衞生係村谷警部補は語る

調查隊の一行は原野關東軍一等軍醫、倉內、小橋滿鐵細菌檢查所員、中村吉林公所員、本田吉林領事館警察署員ほか二名、徐吉長鐵路醫師、吉林長官公署醫師に護衞として本間中尉指揮の軍隊十六名、吉林公安局巡警五名と僕まで三十名の

大掛り であつたが吉林から臨時列車を仕立て二十四日午前七時小姑家驛着九臺の橇を雇つて分乘、現地に向つたけれど積雪深く往復とも非常な行路難であつた、病源地は小姑家驛北方邦里一里半餘の北村から塘泥河子、太平溝の一帶で、太平溝では一行が到着後に五歲になる女兒が一名死亡した爲めその血液を採集し得たのは思ひ設けぬ幸ひであつた、この女兒は一行が到着した當時は泣いてゐるやうだつたが十五六分で死んだらしい、尙ほ研究

材料と しては土葬されてゐた二十一歲になる女の死體を掘りカチカチに凍結してゐるためこれを斧で叩きくづし肝臟と脾臟その他を採集した、附近では病死を秘し一行の訪問を極度に恐れたが同病氣のため一家全滅したものが三戶、病死體を捨て〻生き殘つた家族の逃走したものが三戶あり、太平溝は五十戶二百名餘の現在數だが病死者を出さぬ家は殆んどなき慘狀である、北村、塘泥河子方面の死者も相當あるが彼等は極秘にしてゐる關係上完全なる調查は不可能である、病名は前記材料により

研究後 でなければ不明なるもペストでなく何等かの奇病ではないかとも云はれてゐる、尙ほ吉林小白山(省城東方五里餘)にも近日前三十名餘が死亡した事實が昨日に至り判明したがこれも太平溝一帶の病系と同一でないかと見られてゐる

職員等總出動し流感豫防に奔走
大石橋小學校の活動

【大石橋】大石橋小學校に於ては各學級受持職員及衞生婦總出動にて各々自己擔任學級の家庭を戶別訪問し流感罹病者には校醫の調劑せる感冒藥を與へ病勢の重態なる者ある場合は滿鐵病院に診察方を注意し大事に至らざる前の處置を採り扁桃腺疾病患者にはルゴールを塗布し食鹽水含嗽及びマスクの使用を勵行せしむる方法に依り豫防警戒上の注意を與ふる等實に目覺ましくも晝夜兼行の活動を續けて居る、保護者父兄等は此の有難き御處置に感泣してゐる

特產物輸送中賊に襲はる

【撫順】撫順華工街派出所西原巡査は廿四日午後二時四十分頃管外機械工場北方渾河北岸に於て縣下小用屯農業黃慶之(ヨ□)外三名が撫順新驛へ特產物を運搬中拳銃所持二名組強盜に襲はれ所持金十九元五十錢を強奪された旨報告を受けたので直に本署と連絡搜查したるところ同四時頃に至り賊の足跡に依つて渾河北岸の柳林間前方約二千米附近を步行中の賊影を發見直に追跡したが賊は約五百米に接近したる頃之を感知し拳銃を發射しつ〻瀋海線を越えて城西方面に逃走を企てたので交戰しつ〻更に追跡したが薄暮となり遂に賊影を失ひ逮捕に至らなかつたと

板津守備大隊匪賊と交戰
高家堡子の匪賊掃蕩

【安東】去る二十日深更安奉線石橋子驛附近に於て列車を襲擊したる敵匪集團討伐のため獨立守備○○大隊長板津中佐は自ら部下の精銳三百餘名を率ゐて出動、二十四日午前二時三十分大嶺子を發し零下二十餘度の酷寒を冒し峻嶮なる山地を突破して拂曉高家堡子に達し賊團と衝突激戰の後之を潰走せしめ引續き老家堡子附近に追擊中であるが敵は多大の損害を受け四散した模樣である

三名組の匪賊

【長春】長春縣全錢堡(長春北方八支里)農杜鳴岐(二七)は二十五日午前七時頃正月用買物のため長春へ來る途中自宅を出て七支里餘を行つた際三名組の匪賊に襲はれ所持の吉林官帖七百帖を強奪されたが賊は杜の左手に一發貫通銃創を負はせ逃走した

遼陽の盛宴 第二師團慰勞會
廿五日公會堂で開催

【遼陽】遼陽時局委員會主催で第二師團司令部第十五旅團司令部步兵第十六聯隊並に遼陽で待機中の駐兵第二聯隊工兵第二大隊の准士官以上を廿五日午後四時から公會堂に招待したが主客共に約三百名の多數に及び定刻一同着席關屋委員長主催者として第二師團の功績をたゝへ尙今後を囑望したのに對し多門第二師團長は左の挨拶を述べた次で山崎領事の發聲で第二師團の萬歲を三唱し開宴遼陽紅裙連の斡旋時局委員會幹部の努力で頗る盛會裡に午後六時半過ぎ散會した多門師團長の挨拶左の如し

事變突發以來各地に轉戰したが其の都度在住民各位から多大の後援を得た事を感謝するが幸ひに其の間大なる損害もなかつたのであるが併しながら一月廿日現在に依れば關東軍の死傷者全部は九百一名で內第二師團は三百六十五名であつて全死傷者の半數近くを占めてゐる、此の外凍傷者約四百名あつて合計八百名近くの負傷者を出したといふ事は幹部の統率宜しきを得なかつたといふ事になりまして甚だざんきに堪へない次第であります然るにも拘らず此の程來この種の宴を催したいからと再三御話がありましたが、兵卒の行動間に於ては將士のみが御受けをする事は御厚意として受けらるべきものでないと云ふ考へから御斷りして居たのでありましたが大なる戰鬪も稍一段落を告げた樣に感ぜらるゝので此機會に於て在住者各位折角の御厚意を一度御受けしたいと云ふ事で罷出ました處斯くも多數御出席の上御盛宴を御張り下さつた事は感謝の外ありません、また昨日迄三日間に亘つて下士官も遼陽座で御慰安下さつた事に就て皆は非常に喜んで居りました玆に私から更めて諸君に厚く御禮申上げます

◇

師團の匪賊討伐に對する警備の範圍は實に擴大なものであつて日本の本土と同面積の地域であるのに對して從事して居るのである從つて部下は奔命に勞れて居ると云ふ次第である現在部下は遼中縣其他の方面に出動して居るのであるが從つて今後も亦度々出動するのであるから今後共在住民各位の多大なる御聲援と御後援を願ひ度いと思ひます(以下略)

海城縣村長會議
孫委員長より訓示

【大石橋】海城縣に於ては去廿二日午後一時より城內商務會會議室に於て孫委員長以下財務教育兩處長其他各執行委員第一二三四八九十の各村長七十八名列席の上村長會議を開催し同四時二十分散會したるが孫委員長の訓示事項左の如し

一、昨年九月事件發生以來各地に匪賊橫行し各村長は委員長に代り種々盡力せられたる事は余の非常に感謝する處なるが只遺憾とする所は匪賊等の來村を知るや村長以下村民はこれに對抗せざるのみか却つて家畜を殺しこれを歡待し或は遠く迄歡迎に行くが如きは非理も亦甚だしいと謂ふべきである故に彼等の來村重ぬるに從つて所持金を失ふに至つた今後は各村協力一致し匪賊の侵入を防止せざるべからず殊に鐵道以東は未だ匪患なく以西に於ても未だ匪患せられざるものありと雖も各村は防備の萬全を期せねばならぬ

二、我が中國人は利己主義にして他を顧ず只管蓄財にのみ汲々として慈善心無く他人を欺瞞せんとするは實に憎むべき事である尙ほ事件發生以來匪賊の橫暴に人民は塗炭の苦しみを續け居るの秋舊習を改めず此の機會に前敵を報復せんとして揑造も甚だしき投書を郵送するものあるを遺憾とす今後被投書者の調査を嚴にすると共に發信者を調査し若し事實無根たること判明せるときは發信者を逮捕の上即時死刑に處し以つて將來の戒となす

三、舊慣習を廢し新時代に適する慣習に改むるには各村長は村務に對し眞面目ならざるべからず從來の如き曖昧なる行爲を爲すことなく本會より地方に調查員を派するが如き場合も從來の如く優遇するの必要なし調查員には相當の旅費を支給してある

四、各地農民等疲弊せるを以つて其の負擔を輕減すべく地租稅を半減す

五、打倒軍閥以つて民衆の幸福を圖る昨年九月事件突發以來既に四個月を經過して居るが今次事變は張學良等東北軍閥の中村大尉謀殺事件及び我南滿洲鐵道破壞事件にその因を發し進展したるものにして思ふに張父子は在奉三十餘年其の間內亂終熄する事なく所謂自己權力の擁護及び地盤擴張の目的をもつて東北三千萬民衆膏血を絞り苛斂誅求の熄む所なしなほ終日淫蕩に耽りながら更らに顧る處なかつたが今回の時局にて之れを除きたるは東北民衆の幸福に非ずして何ぞや今後各位は安心して生業に就くべきである

法庫門に自治制
各界代表會議の結果 新政權治下に入る

【鐵嶺】田所守備大隊の入城によつて法庫門の治安維持は完全にされ、隊は市街警備に任じ田所大隊主力は二十四日より各地に出動兵匪の討伐に全力を盡しつ〻あるが法庫門各界代表者は皇軍の駐屯期間內に東北軍閥と完全に關係を斷ち純然たる自治制を布き以て東北新政權の治下に安住せんと希望し二十四日午前十時より代表者會議を開催滿場一致を以て自治制實施に贊成し午後二時より委員詮衡の結果左記十氏が暫定的委員として自治機關の組織に着手した

元縣政府第一科長陳文波、第三小學校長張樂山、教育局長張孟俠、地方有力者任玉堂、農務會長闞雲閣、縣政府第二科長韓𨦟五、財政局長王宋周、基督教青年會幹事李萬年、商務會長梁星任、商務會幹事梁煥一

掠奪した娘と天下好の結婚
韓臺山で披露宴

【遼陽】頭目天下好は去る十五六日頃沙河西南方七十支里の蘇麻堡部落を襲擊し同村李某一家を悉く人質に拉し去し其の娘と二十五日結婚式を擧行することになり頭目李芳林の部下約六百名を之が披露宴に招待したといふので招かれた匪賊は沙河驛西南方四十支里の韓山臺部落に參集しつ〻ありと之を傳聞した頭目要的好も祝儀として白米二石豚二頭を贈つたと

十四日逃走先より田所中佐にあて我軍並に新政權に對し絕對服從忠誠を盡すべく誓ひ歸順を嘆願し來れるが田所中佐は民意を尊重し歸順せしむるこその可否を各界代表者に諮問せしところ何れも歸順せしめられたき旨希望せるを以て廿[illegible]

邢占清部出動

【長春】獨立步兵第二十六旅長邢占淸の部下五百名は張作舟軍の敗走兵武裝解除のため廿六日三家子地方に出動の豫定といふが同地方一帶は一千名餘の敗走兵散在し居り人心極度に不安に陷つてゐると

公安局長王景全歸順

【鐵嶺】我軍法庫門入城に先だち部下二百餘名を率ゐて法庫門を脫出せる縣公安局長王景全は大勢斯の如く新政權の樹立は確定的となり到底抗し得べからざるを悟り二十五日午前十時を期し公安隊員は全部城內に集合し自ら武裝を解除し銃器彈藥は全部提供せしむることを條件として歸順を許すことにした、併し王局長は濃厚なる學良系人物で昨年十月熱河騎兵旅團と共に入法就任したる者であり從來排日思想烈しく殊に着任以來未だ三ケ月に滿たざるうち既に民衆より一萬數千元を撈取せる人物とて民間にも信望薄く今後とも其行動には充分なる警戒を要するであらう

三勝歸順に良民不滿

【遼陽】頭目三勝が歸順して奉天及遼陽の軍部に出頭せる風說に對し縣城良民の感想を綜合するに三勝の歸順は劉二堡の有力者紀海峰及邦人某の運動功を奏したるものならんも三勝の如き遼陽縣の內外に於て多年匪賊を働き良民を苦めたる者を歸順せしめたる眞意を了解せざる一般は寧ろ驚異の念に驅られ種々取沙汰あるも結局何れも不滿の聲を漏らして居る

杉山曹長の慰靈祭
安東にて執行

【安東】去る一月十八日湯山城に於て徐文海一派の匪賊と衝突、敵に多大の損害を與へながら咽喉部に貫通銃創を受けて遂に護國の鬼となつた安東守備隊の步兵曹長故杉山英氏の慰靈祭は廿四日午後二時より安東公會堂に於て嚴肅裡に行ばれた、此の日祭場に當てられたる同公會堂には定刻前より各關係團體及領事以下安東官民一般、又遠くは高麗門、鷄冠山等の沿線各地よりの來葬者が所狹い迄に並べられた各方面寄贈の花環の中に整然と着席、既に祭壇中央に捧げられてある同曹長生前の寫眞と眞白なる布に蔽はれて收められた骨箱に相對して今更の如く滿洲民特に安東人としての深い感銘に打たれてゐた、式は定刻佛僧の着席に依つて始められやがて蕭條たる葬別の喇叭の音が故人の部下よりなる一隊の儀仗兵の捧げ銃の中に低く吹奏されて人々の襟を正しく續いて藏重守備隊長以下同守備隊關係、又市民側よりは米澤領事以下各官衙代表、各團體代表等十數名の弔辭あり尙弔電に到れば本庄司令官、多門師團長、內田滿鐵總裁、山岡關東長官等名氏の弔問によつて埋まり同曹長の勳功の大きさ永遠さを如實に語るかの如くであつた

大石橋の同胞達水田經營の計畫
蓋平縣下に好適地

【大石橋】當地在留朝鮮人等の當警察署管內居住者を一丸とする朝鮮人會設立計畫に關しては既に本紙の報道せる處なるが目下會則の作成を爲しつゝあると共に會事務所として南八條街十二番地の支那家屋を借り上げこれを改修する等着々準備を急ぎつゝあるが一方發起人其祭仁鄕北龍外二名は附屬地外に於ける水田經營計畫を爲し先づ其の第一步として同地附近の調査を爲したる處大石橋東南約二十八丁を距る蓋平縣の江臺寺に現在水田約十天地あり(十年以前鮮人林某の開墾したるものなるも其後支那官憲の壓迫に依り其の權利を放棄し現在に及びたるもの)同所には多數の噴水池ありて之れを灌漑の用に供する時は夏家屯鐵嶺屯附近に約百天地の水田を得べく尙前記噴水池を灌漑して完全なる貯水場となすときは約七百天地の水田を開墾し得べしとして同鮮人等は大いに將來を有望視し目下之れが經理契約方法に就き各關係方面と協議奔走中である

沿線往來

▲村上滿鐵々道部長 廿五日連山關へ
▲古川奉天事務所鐵道課長 同上
▲首藤滿鐵理事 廿五日朝來奉
▲佐藤同鐵道部次長 同上
▲松木鞍山署長 廿五日急行で來遼

豹變の公安隊

【錦縣】康平縣公安隊長は原籍たる熱河省義縣より來れる學良系趙顯亭の煽動に乘ぜられ去る廿二日第一、第二、第三中隊の部下全部二百五十名を率ゐる兵匪に豹變康平縣城附近及び哈拉沁屯一帶に勢力を張りつゝあり康平縣長は警備機關を失ひ且つ日本軍隊の康平進駐を賴りに傳へらるゝを以てこれが防禦の爲め蒙古博旗王に駐屯せる統領の部下蒙古兵七百を臨時康平に駐屯せしめつゝありと

掃匪遊擊隊

【撫順】奉天自治指導部では這般來支那人の掃匪遊擊隊を編成すべく各縣に其募集を命じてゐたので撫順縣でも二週間前より之が募集に着手し二十五日一先づ締切つたところ五十人の募集に對し應募者は三十六人の少數で之に對し身體檢査、年齡等を調査したところ其の大半は不適任者で僅に十六人を合格者として二十六日奉天に送つた次第で止むを得ず馬賊團に投ずる者は多くてもイザ命がけの馬賊討伐軍といつた仕事にはいくら支那人でも命が惜いと見えて頗る不成績であつた

梨樹縣下匪賊

【長春】梨樹縣双城子（公主嶺西方二十三支里）居住張海方にては二十一日午後六時頃頭目大老、好痘、副頭目助國の率ゆる十二名の騎馬賊襲擊馬四四頭、衣類十數點を强奪西方に向け逃走、頭目五省の率ゆる十六名の騎馬賊は廿三日午前三時頃朝陽坡東方大房身（公主嶺北方三十五支里）王某及び孫某兩所を襲ひ馬十四頭を强奪逃走したが十四頭中七頭は途中より脫走午後三時頃歸宅したと

長春

警察歲末警戒

舊正月も愈々接迫したので長春警察では來る二十八日より二月五日まで署內總動員の歲末警戒を實施することになつた

鐵嶺

日本語の講習

鐵嶺縣自治委員會では日支提携の第一急務として支那人に日本語を普及すべく全力を注ぐ事となり客年に日本語を講習せしめ委員會吏員も二年後には日本語で會話の出來るやう二年計畫を以て毎日一時間づゝ日本語を習得しつゝあるが更に來る四月からは全縣下各學校の授業科目に日本語の正科を加へ大いに日本語を普及すると

舊政權の一派

日支事變勃發以來其行動を注視されてゐた舊鐵嶺縣政府第一科長尹世怡、第二科長劉彭齡、第三科長黃毅之、縣長秘書劉天成、書記兪成術の五名は自治委員會成立後自由の行動を一切嚴禁されてゐたが最近に至り何等策動せざること確實となつた爲め二十四日以後自由の行動を許され蘇生の思ひに喜んでゐるが今後も城內に居て新生面を拓くと

珠算競技出場

廿四日長春商業學校に催された全滿學生珠算競技會に鐵嶺小學校からも高二大町、宮下、高一田中、尋六吉浦、村田、尋五女田中の六名が參加した

慰問金を寄附

雲地大矢組社員坂口龍之助氏岳父

撫順

婦人會創立

撫順聯合婦人會創立總會は三十一日正午から時局後援會後援の下に高女講堂に於て開催、左の如き行事が行はるゝ筈であるが同會は在撫二十の婦人各團隊が大同團結した大會だけに當日は定めし盛況を呈するであらうと

一、撫順聯合婦人會經過報告
一、規約協定
一、來賓演說
一、軍事講演（關東軍司令部矢崎少佐）

新米氷上大會

撫順體育協會では頻りにスケートの大衆化をはかり廿四日は中央リンクに於て新米スケート大會を催して老頭兒、小兒を狩り出したところ六十餘名の參加者を見たので炭礦事務所の宮澤庶務課長、石橋經理課長を旗頭にして紅白リレーやチエーン競爭スプーン競爭等の興味本位の競技に二百五十、五百米競爭等を行つたが面白いことには九十七對九十七で兩軍同點となり飽くまで興味をそゝつた

軍事講演會

撫順時局後援會では關東軍司令部臼田少佐を聘し廿九日公會堂に於て軍事講演會開催の豫定

山城子居住の渡邊幸一氏は亡妻の三周忌に當り時局柄法要を取止め法要費の豫算金七十圓を軍隊及警察の慰問に寄附すべく鐵嶺警察署に二十圓軍隊に五十圓を寄附した

遼陽

御神寶御下付

遼陽神社に左記の如く御神寶御下付の御沙汰あり二十六日午後一時から社務所で總代會を開き拜受に付協議したが平井神職と氏子總代一名出連同地に於て關東廳から交付を受け一日急行で捧持歸遼することになつた

△皇大神宮　革御靱　一腰
△皇大神宮　御楯　一枚
△皇大神宮別宮瀧原宮　銅黑造御太刀　一柄
△豐受大神宮別宮土宮　御弓一張
△皇大神宮別宮伊雜宮　御鞆筒一合

自治委員會

遼陽縣自治執行委員會では二十四日午前十一時から委員會開催楊委員長以下委員指導員十名出席左記事項を協議したと

▲自衞團費を公債募集に依り支辨する事其の金額四十五萬元で募集方法は全縣三十萬天地として一天地一元五角の割で應募せしめ十二月から二月迄に募入償還は民國廿一年十二月から三ケ年に償還初年無利息二年目は七厘三年目は一分四厘の割である又城內商工民に對しても前同樣の割合で五萬元を應募せしめ自衞團の被服費、銃器購入費に充當すと

▲軍用自動車及運搬用自動車各一輛購入の件以上二項共に可決直ちに實行すと

署員の慰勞

長山遼陽署長は全署員が昨年九月事變勃發以來全く文字通り不眠不休で治安の維持在住民の保護に任じ今日迄事なきを得たので聊か其の勞を犒ふ意味に於て二十六、七兩日の定期召集を利用して構內に於てジンギスカン鍋を饗應する處があつた

鞍山

市場會社總會

鞍山市場株式會社第三回の定時總會は二十五日午後一時より實業協會室に於て開催され昭和六年度下半期の營業報告、貸借對照表、財產目錄、損益計算書等の承認を決議し今期純益金の一割配當を決定した重役に對しては今期の給與程度を以て第四期より給與することに決定し役員改選は近く臨時總會を開く由である

大石橋

鄕軍服裝統一

當地在鄕軍人分會に於ては先般來時局の重大性に鑑み附屬地警備に關する各種の計畫を爲す處ありたるが更に有事に際し警備隊員としての充分の機能を發揮し或は之れを遺憾なく統制するには豫じめ服裝の統一緊要なるものあるべしと爲し首腦者等協議の結果客年十二月大連工業會社に褐色外被百着を注文調製すると共に關東軍經理部に對し軍帽及び卷脚絆の拂下げを請求し居たる處今回朝鮮第二十師團經理部より軍帽百三十着卷脚絆百三十着何れも第三裝用品を送附して來りたるを以て去る二十二日之れを受領近く一般會員へ配布すると

財務辨事處

營口縣財務處に於ける大石橋辨事處開設計畫に關しては既に本紙の報道せる所なるが愈々當地支那街民家を借り上げ改修中なりしが竣工せるを以て去る二十日該所主任として王鴻璋なる者正式任命され去る二十二日着任と同時に一般事務を開始した

旅順

適齡者の注意

昭和七年度在留地徴兵身體檢査受檢該當者は書類を二月末日限り大石橋警察署長經由關東軍司令官宛提出すべきにつき詳細の書式及び其他に關しては警察署寺師兵事係へ直接御照會すればよいと

昨年の火災數

旅順署管內に於ける昨年中の火災數は總計二十件を算し失火の原因中一番多いのは燐寸の五件から油類より引火、竈、煙突の各二件宛煙草吸殼、焚火、ランプ等から各一件宛其の他が三件で損害金額二萬五百五十二圓であるがその內動產に依るものが一七、七八三圓、建物が二、七六九圓であつた

本年學齡兒童

來る四月一日から旅順小學校へ入學する兒童は總計三百〇七名で昨年と大差なく內譯は第一小學校へ一七二名、第二小學校へ一三五名なるが入學當日迄には轉出其他に依り多少の異動を見るであらう

上京委員報告

對時局旅順市民會では過般上京各要路方面を訪問中なりし市會議員竹中延太郎氏過日歸旅せるを以て廿八日午後一時から市役所に於て市民會委員其他に對し經過報告會を開催する事となつた

御めでた

▲桃園町八　堀山研作氏次男健二君十三日出生
▲明治町五八　菅野今朝治氏二男榮二君十四日同上

追悼

▲八島町　相馬啓介（四五）氏二十五日死去

兎耳鷲目

◇在旅古物商組合では二十五日午後三時から德九居に於て定期總會を開催した
◇某方面出動中の驅逐艦若竹は二十五日午後二時四十分旅順へ歸港した
◇中谷前民政部警務局長に對し關東廳各課高等官一同は二十五日夜寄藥に於て送別會を開催した
◇大連市役所衛生課長に轉じた元關東廳衛生技師武田守人氏は二十八日午後一時三十分旅順驛發列車にて出發する
◇關東州水產會書記相馬啓介（四五）氏は豫て腎臟病にて關東廳醫院へ入院中二十五日午前八時三十五分遂に死去葬儀は二十六日午後四時東本願寺に於て執行さる

第二の反抗 (134)

三宅やす子　阿部金剛畫

喜美の其後（九）

喜美は、寮一と親しくして居たあのお孃さんのことを、思ひ浮べて話して居るのだ。

あの人は仕合せだ。あゝして自分の好きな人と自由に、遊んで、自由に、一緒になつて——それを世間では立派な淑女と云ふのだ、しとやかな奧樣だと、ほめたゝへるのだ。

私のやうに——喜美はしよんぼり考へる。

自分の身の程を思つて、身を退いてしまつたあとの、この寂しさ——こんなだと知つたら、あの時何が何でも、あのお孃さんとはりあつて、私こそ、嶺さんの奧さんになる女です、つて、がんばつてしまへばよかつた。

喜美には深い悔ひがある。

「何考へてんの。いやに默つちやつたのね」

「……あたし、世の中が莫迦らしくなつちやつたのよ」

「ホ、、、。そんなこと、今更始まつたことぢやありやしないぢやないの？莫迦らしい世の中だから莫迦な男を相手にして、其日、其日を送つてりや可いのよ」

「つまんないわ。そいぢや」

「あら、このひと、のろけてる氣？、そんなに逢ひたきや、呼び出しかけりやいゝのに」

「ひとのこともだと思つて、罪ぢやん、ひやかしてばかり、いやあれ」

「あたし、一肌ぬいであげやうか」

「駄目よ」

「役所に電話かけりや、明日にも來るのに、何故さうしないの？」

「諦めたひとに、電話かけたつて——やつぱり、あたしは、あのひとの聲でも聞くと決心がにぶるから駄目なの」

「でもあんたはいゝわ。そんない〻奧さんの事考へてれやいゝんだもの。あたしなんか。ほんとにつまんない」

「あたしだつて、考へたつてしようがないから思ひ出さないだけだわ。せめて、ほら、いつか話したでせう。子供でも無事に育つたらかうして働いても、里子に出すなり、何なりして、成長さしてね、さきの樂しみもあるんだけど」

「そんなに、子供がほしかつたの？」

「それやれ——好きな人の子ですもの。せめて子供でも育てたいわ」

「まあ——そんなものかしら」

喜美は嘆息をついて

「私には、さういふこと。わからないけど——でもそんなものなのゝ大變ねえ」

「何が大變なのよ、ホ、、。女つてそんなものよ。浮氣らしくはしやいでるときは、それや、私だつて、女給らしくやつてるけど」

喜美は頷いて

「それや、さうれ。私たちを浮氣ものだと思ふ人達の氣がしれないわ、ほんとは、浮氣なことないへば、そこらに綺麗な着物を着て、遊びまはつてるお孃さんたちの方が、どんなに浮氣かしれないわれ」

「左樣よ。ほんとよ」

お静は我が意を得たといふやうに

「親が大切に育て、我儘させてくれるから、立派なお孃さんですましてられるんだわ。それで、どこでも、いゝとこにお嫁にゆけて」

「好きな人とだつて、自由に結婚出來るんだわれえ」

SANTE

肺結核の革命的治療藥

サンテ

◉「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號（有熱用）、二號（無熱用）、三號（虛弱質用）、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有效に働く事か云ふ迄もない事である。

◉「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徵としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	三六〇錠 一二〇錠	八圓八十錢 二圓八十錢
「サンテ」二號	三六〇錠 一二〇錠	八圓八十錢 二圓八十錢
「サンテ」三號	三六〇錠 一二〇錠	七圓二十錢 二圓五十錢

◉別に醫家調劑用粉末あり

◉先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

臨床大家四十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥效を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏　醫學博士 生地憲氏　醫學博士 石山暢昂氏　醫學博士 飯島近治氏　醫學博士 濱田良輔氏　醫學博士 半田久雄氏　醫學博士 西田宗一氏　醫學博士 豊田正達氏　醫學博士 大國二郎氏　醫學博士 淺邊貞惠氏　醫學博士 川上理作氏　醫學博士 川村六郎氏　醫學博士 高橋三千彥氏　醫學博士 高島俊治氏　醫學博士 竹島光藏氏　醫學博士 竹森啓祐氏　醫學博士 內藤業太郎氏　醫學博士 中村和雄氏　醫學博士 內田謙益氏　醫學博士 內野淺次郎氏　醫學博士 上森虎之助氏　醫學博士 黑岩文一氏

醫學博士 栗原基氏　醫學博士 松崎香住氏　醫學博士 增田貞一氏　醫學博士 小竹政吉氏　醫學博士 小松原謙三氏　醫學博士 蘆名泰氏　醫學博士 齋藤齊氏　醫學博士 佐藤弘氏　醫學博士 澤田四郎作氏　醫學博士 木崎正美氏　醫學博士 木許寬氏　醫學博士 百合野順太郎氏　醫學博士 三好毅一氏　醫學博士 宮井茂吉氏　醫學博士 宮崎正一氏　醫學博士 宮本博人氏　醫學博士 志賀貴氏　醫學博士 弘田茂富氏　醫學博士 森本正好氏　醫學博士 勝呂慄氏　醫學博士 杉田貞之氏

【イロハ順】

全國臨床醫家に急告

＝品切れ中の粉末の用意成る＝

「サンテ錠劑」御注文殺到の爲め「サンテ粉末」製造の暇なく、永らく品切れにて御迷惑を掛けて居りましたが、工場設備の擴張に伴ひ「粉末」の用意も充分に調ひましたから、今後品切れの爲め御迷惑を掛ける事はない積りであります御諒承の上弊社又は藥品問屋へ御用命を願ひます

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盜汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の效を爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絕滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上效果あるべしと稱せられたもので、臨床上の效果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい效果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せられる所である。

正しき治療に目覺めよ

悲しむべき統計は我國に於て年々約十二萬の人が結核の爲めに死亡して行く事である。

而もその八割は十六歲から三十五歲までの年齡で、斯くも多數の前途有爲の青年や、一家の柱石を爲す壯年が、雄圖空しく恨みを呑んで結核の犧牲となりつゝある事は、小にしては一家、大にしては國家の大損失である。

故に、結核の治療に就ては、患者自身にとつても、家族の人にとつても、最も細心の注意を以て、對策を誤まらざる樣に考慮すべきであるに拘はらず、多くの人は何等深く考へる事なく、たゞ漫然とその日暮しの一時的治療に甘んじ、又は食慾も無いのに無暗に榮養食を詰め込む事のみに骨を折るといふ有樣であるから、病狀は益々惡化する許りである。

云ふまでもなく、結核は結核菌の傳染に因るものであるから、菌の繁殖を抑制せず、毒素の排除も講ぜずして、徒らに榮養食を多く食べたとて、毒素のために弱められた胃腸は到底その負擔に堪へ得ず、不測の下痢など起して却つて身體を衰弱させる位が關の山である。榮養を盛んにする事は、先づ結核に對する根本處置を講じてから後でなければ無駄が多い。

正しき治療は、是非とも結核菌の殺菌と毒素の排除に第一目標を置かねばならない。

即ち、その見地に立つ新發見藥「サンテ」が各知名大家によつて競つて推奬せられ、日々多數患者の感謝の的となりつゝあるのも、決して偶然ではないのである。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわづらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制止するとか、咳嗽を抑へるとか、食慾を進めるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる筈がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は自分自ら

治る希望を捨てた人 と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モツト眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか――

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理效果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見えやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その效果の手近な證明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

――食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
――微熱去り、平溫となる
――ねあせ止み、夜間安眠する事を得
――胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
――咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
――肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
――ラッセル消失す
――下痢頓挫す

斯くの如き著名な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃 からメキメキと現はれ來る事屢々であつて患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、歩一歩全快への堅實な歩みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その效果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直く[直接]作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれどもその必要なし）唯一劑のみにて充分各種の效果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

御注文方法

◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

殆ど全滅の損害に 六百の兵匪潰走す

伊通縣大孤山附近に於る討伐で 阪本上等兵が手創

二十五日午前十時公主嶺の南方二十支里房上溝に六百名の兵匪現れ伊通縣大孤山附近に進出して來たので討伐に出動中の公主嶺獨立守備隊第○大隊、騎兵第○聯隊第○隊は一時間にわたつて激戰後驅逐しこれを燒火溝に追撃し、折から伊通縣公安隊の討伐隊に退路を斷たれ賊を包圍攻撃しわが軍の猛撃に賊は全滅に近き損害を蒙り逃走した、この戰鬪に於て守備隊第○中隊阪本上等兵は右大腿部に貫通銃創を蒙りたるも賊十五名を斃し迫撃砲一門、彈藥若干を鹵獲し人質一名を奪還し午後六時意氣揚々公主嶺に引揚て來た【公主嶺電話】

山地内に壓迫して 匪賊の巣窟を覆滅

打虎山附近匪賊討伐

關東軍發表＝昨廿五日討伐隊は出動して飛行機により尖山、望海山一帶の山地にある匪賊を攻撃すると共に東西兩部隊を以て漸次包圍圏を縮小し敵を山地内に壓迫し更に飛行機を以て敵匪の集團及び山地における匪賊の巣窟を殲滅せり一方北方近廻隊中島枝隊は廿四日夜以來崎嶇なる山地を登攀し四堡子西北方高地に進出し西部包圍隊の左翼と連絡し同地附近の掃蕩に任じた而して敵匪の大部分を殲滅し得たるも殘部隊は或は山地内に或は村落内に遁入し潜伏しあるを以つて二十六日諸隊は諸在の部落を虱つぶしに掃蕩し匪賊の兵器の押收に努めつゝあり【奉天電話】

撫順署員四名負傷

古城子に匪賊潜入し 激戰を交へて撃退

二十六日午後四時半撫順署倉田司法主任は管内古城子市街に匪賊潜伏中との報により急遽署員を引率し古城子炭坑第二勞務課附近に赴き探査の結果匪賊團を發見、これと猛烈な交戰を開始した後賊三名をたほしたが七名の匪賊は逃走を計つたため寺田署長以下署員の應援を得て追擊を加へたが終に賊影を見受けず、同七時半本署に引揚げた、この交戰に於て賊彈のため兒玉刑事は右大腿部に貫通銃創を負ひ倉田警部補は右人さし指を切斷され佐々木龍次郎巡査は掌に、釜巡捕は左手首に何れも負傷した重傷の兒玉刑事は直に滿鐵病院に收容手當中であるが急所をはづれたため生命に別條なき見込みである、賊は拳銃一挺彈丸數百發を遺棄して逃走した【撫順電話】

博義王妃殿下 王子御分娩

【東京二十六日發】伏見宮博義王妃朝子殿下は豫て御懷妊中であらせれたが一月二十六日午後二時七分第一王子を御分娩御母子とも御健勝に渡らせらるゝ旨宮内省より公表された

けふ殘留匪賊に 最後の一撃

室○師團錦州に引揚ぐ

【溝帮子廿六日發】溝帮子に司令部を移し北鎭を中心とする兵匪の大集團に對し二十二日未明から討伐を開始した室○師團は、昨日に至る四日間に空陸相呼應して極めて巧妙なる戰法により兵匪一千を斃し多大の損害を與へ略所期の目的を達したので、本日殘留匪賊に最後の一擊を加へ二十七日午前十一時溝帮子を引揚げ一先づ錦州に歸還することゝなつた

牛莊、田庄臺にも 大匪賊團襲來す

二十五日夜牛莊に約一千名の匪賊來襲し盛に掠奪中である、また同夜六時ごろ田庄臺西北方高家屯方面より約二百名の匪賊田庄臺北門から攻め入り同地の公安隊はこれと約一時間にわたり銃火を交へ遂に賊を撃退した、同夜は濃霧の爲め咫尺を辨ぜず敵狀不明した、徐機中の坪井聯隊は大いに緊張してゐるが近く某方面に出動する模樣である【營口電話】

歸順の匪賊頭目 三勝と長勝

馬賊頭目三勝は廿六日午前十時十分着輕油動車で奉天步兵第二十九聯隊名倉少佐、遼中縣自治指導委員、通譯吳金山附添ひ來遼、師團司令部を訪問したが司令部では上野參謀長、鯉登、細木兩參謀が面會し種々これまでの事情、歸順後の方針などにつき聽取、司令部で晝食を與へ午後一時二十分發輕油動車で奉天に赴き省政府に出頭、更に軍司令官を訪問することになつて居る【遼陽電話】

百餘名の部下を有する匪賊頭目長勝は二十五日大石橋日本警察署に出頭歸順の誠意を表明したので警察では守備隊に連行し繳械せしめた【大石橋電話】…（寫眞は前列右から齋藤憲兵隊長、岩田大隊長、歸順を申込んだ頭目長勝）

同胞六百名 丸裸で避難

日本軍の遼西匪賊討伐に依つて四散した匪賊團の一部は內蒙古に侵入し到る處で掠奪暴行を働いてゐるが、通遼の西方なる大倉組經營の內蒙華興公司農場も此等匪賊團の襲擊をうけ、同地に働いてゐた鮮人同胞約六百名は金品家財を始め着てゐる着物まで奪はれて文字通りの丸裸となり、この寒天にふるへ乍ら二十六日通遼にたどり着き同地駐屯の狗山支隊に救助を願ひ出たこの由を司令部から通知を受けた奉天大倉組出張所ではこれが救助方考究中である【奉天電話】

東方力士團も起ち 協會不信任を聲明

相撲の紛擾益々擴大

【東京二十六日發】二十六日回向院で協議した東方力士は更に淺草松清町尾張屋旅館に籠城、朝潮以下十四力士立て籠り西方力士の要求に對する協會の態度は何等の誠意なく協會の實力は此の難局を打開出來ず我等力士は協會と共に自滅せん茲に我等は熟慮の結果力士一同の力で之れを救ふ外なきを痛感し茲に我等に協會更生のため根本的解決を圖り光輝ある國技を守護し以て力士道發達のため一路邁進せんとす

この意味の聲明書を發した斯くて東方力士團は協會に對し反省を促すと共に同志の結束を固め一方能代潟は新興力士團と連絡を執つて猛かに活動を續けてゐる、なほ此の報を聞いた協會では大いに狼狽し東方の伊勢ノ濱、花籠、高田川三年寄が尾張屋に出張歸還方勸說したが力士側は之れを拒絶した

奉山沿線への 公衆通話開始

奉天郵便局では本月十九日より奉天錦州間市外公衆通話が開始されたが廿三日より更に奉天對打虎山及び溝帮子間の市外公衆通話を取扱ふことになつた

打虎山まで卅五錢（呼出料廿錢）
溝帮子まで五十錢（呼出料同上）
錦州まで六十錢（呼出料廿五錢）

尙打虎山、溝帮子局における呼出方法は錦州同樣で當分の間呼出料は不要であると【奉天電話】

三勝奉天へ

我が軍に歸順した頭目三勝は二十六日午後三時着輕油動車で河村勝及び通譯吳金三とゝもに來奉直に軍部に出頭歸順の意を表した後某氏宅に入つた【奉天電話】

二葉町の出火

二十六日午後四時三十五分市內二葉町十六番地茶商杉山又次方より出火したが消防署の敏速なる出動により同四十五分大事に至らずして鎭火した、原因はストーブの側で子供がもて遊んでゐた花火よりボロ布に引火したものである

八八はよいもの ダンスは戶外で

新聞には大いに理解がある 林新警務局長の氣焰

二十六日着任した林警務局長は午後一時四十分總督府に登廳を爲し各方面よりの祝電其他の報告を受け出入の記者團と會見して語る

滿洲へはそうだネ、丁度二度來た事がある、確か故伊集院長官の時だつたと思ふ、一度は秋でその後は春だつた、此處は大變暖かいので意外だ、寒い事は北海道へ二度も行つてゐた事があるから平氣だよ

警務局長と云ふ肩書があると思ふせゐか犯し難い底光りのする顏面に似合はぬ洒落味を混じへて尙も語る

僕も新聞方面には大分理解があるよ、丁度中學を卒業した頃かな、當時の二六新報社長秋山眞輔氏を好く知つてゐたので盛んに寄書した事があるがさうく

それが其筋の忌諱に觸れて發賣禁止をやられた、それは主として皇室中心から出發したので貴族院の改革論をやつたのだがそれがいけなかつたらしい、それから官吏生活に入つたことから

小學校時代から山川均、荒畑寒村、木山萩舟なぞもよく知つてゐる、趣味なんて別にない、然しこれでも昔はランニングもやつた、麻雀は嫌ひだが八八は大好きだ、君あれは數學的頭がゐるので一種の教育的競技だよ、だから僕は子供等に敎へてやつてゐる

嚴めしい顏に警務局長といふ人から八八禮讚の論議を聞かされ記者連中ド肝を拔かれ

ダンスなんか例のチャールストンや、タンゴなんかいけないよ、社交的方面のものなら好いと思ふ、大體その方法がいけないので競馬でも何んでもそうだ、ダンスなんかも寒い滿洲なんか大いに好いと思ふが、あの暗い處でやるなんかいけない、今は戶外へ〜と云ふのだからコンナ

帶一千本獻呈

純絹綿繻入り鯉瀧丸帶片側帶一千本贈呈の大懸賞が『婦人倶樂部』二月號で大評判です。葉書一本で當ります、奮つて御應募下さい

暖かい好い天氣の時なぞは外でやる樣にすれば好いと思ふ、家族は當分呼ばぬ方針だ、いろいろ子供の學校關係もあるのでネ丁度此時中谷前警務局長が這入つて來たので辭去したが後は二人で事務の引繼が行はれた

世界競技に送つた 我滿洲が誇る氷上使節 (上)

雪と氷のオリムピヤ

氷川丸にて　河村泰男

來る二月四日より米國レークプラシッドにおいて開催される第十回世界オリムピック氷上大會ならびに十七日より擧行される世界氷上選手權大會に參加する滿洲が生んだ世界的スケーター河村、木谷、石原の三選手は去る十二月二十四日橫濱解纜の氷川丸に乘船、日本スポーツ界の衆望と期待とを荷つて華々しく遠征の途につき一月九日無事目的地たるレークプラシッドに到着した、外電の報ずるところによれば三選手とも既に到着の外國一流選手に伍して練習を開始、堂々と好記錄を出し日本選手强しとの感を他國選手に與へてゐる、本社では特に右代表選手中の河村泰男選手に依囑して一行の動靜を中心に特別通信の寄贈を得ることになつたがその第一信は左の如くである【寫眞は河村選手】

十二月廿四日橫濱解纜フジヤマの白雪を遠くに眺め右に房總の島々を見て、遙ゆく故國にしばしの別れを惜まんとした今日の船出！生憎の重い霧のため僕の其の嬉しい瞬間は裏切られデッキに出てしていよく互に別れなければならない時を意識させ、赤、白、黃、青と亂れ飛ぶテープ！人々は皆我を忘れてゐたに違ひない。トップの方に聞ゆる歡聲、それはスキー選手の一行だ。デッキの中部に陣取つたスケーターへの歡聲は一番大きかつた。

「スケート選手頑張れ！」

お、今こそ勇ましく僕等は鹿島立つのだ。離れ行く日本のため小さな僕は選ばれたと云ふことをもう一度新らしくそして一層强く自覺した。切れ落ちて行く數條のテープをなほもかたく、高く、烈しく打振る日の丸の旗！その瞬間の感激……と、師走の波止場に强く吹く潮風に、大きく開いた僕の兩眼はかすみ、人々の顏、姿、群、岸壁は黑く去つて行つた。この時の僕は出船の汽笛もきゝえず氷川丸は橫濱港外へ出てしまつた、けれども埠頭の人は世界の檜舞臺に臨む僕達の勇姿を思ひ、そして大海原に乘り出すお城の樣な船艦を眞橫に眺め、つゝがなき船路を祈りつゝ滿足して歸つたであらう。人去つて後の岸壁に垂れた紅のテープ、右舷に結びつけた紅のテープ

一切れのパンとスープがやつと喉を通る位の者が多かつた。

二十四日の夜となつた。房總半島を迂廻して太平洋に僕等は出た。乘り空は荒れて船中最初の寂しかつた、ディナーの終つた頃より本船はゆれ出した。そして瀟氣味惡い船腹の軋む音を聞きつゝ一夜は明けたが、遂に氣分を損ねベッドから離れることが出來ず、覺悟はしてゐたが、それは、思ひのほか急激にノックダウンを見舞はされたのだ。勿論僕のみではない。無理をして、千鳥足で食堂へ行つた者もあつたが、氣持の惡いことは皆一樣だ、テーブルに向つて獻立表も見ぬ內にめまひがして、顏色を變へてキャビンのベッドに飛び込んだ。僕達より優勢だつたスキー選手も申し合せた樣にキャビンへ引込んでしまつた樣だ、スケート選手六人は頑張つて食つたものは決してあげなかつたが、三度の食事もボーイにベッドまで運んでもらつた

滿鐵小學校の 氷上體育會

來る三十一日奉天で

恒例による教育研究會第一部主催の第十一回沿線小學校氷上體育會はいよく來る三十一日午前九時より奉天國際運動場內リンクにおいて沿線小學校尋常科二十四校、高等科十四校五百餘名參加の下に開催されるが、本年度は昨年度の組合せを左記の如く變更することゝなつた、なほ從來本大會は滿洲における氷上大會唯一のもので例年好成績を收めてゐるが本年度も好結果を豫想されてゐる

尋常科
A組　撫順永安、安東大和、奉天彌生、鞍山、奉天春日
B組　長春室町、撫順千金、敎專附屬、安東朝日、遼陽
C組　長春西廣場、四平街、鐵嶺、本溪湖、營口
D組　奉天加茂、大石橋、開原、公主嶺、撫順新屯
E組　奉天敷島、吉林、海城、連山關

高等科
A組　撫順千金、奉天春日、安東朝日、鞍山、敎專附屬
B組　長春室町、遼陽、四平街、本溪湖、鐵嶺
C組　開原、營口、吉林、連山關

又競技種目は左の如くである
尋常科
▲男子五百米、千五百米、千六百米リレー
▲女子五百米、千六百米リレー
高等科
▲男子五百米、千五百米
▲女子五百米

滿蒙定期飛行に 客貨をも取扱ふ

大連チチハル間七十三圓

關東軍管理の下に行はれてゐる滿蒙軍用定期連絡飛行は奉天新義州間、奉天大連間の每週一回不定期の發着を除く外奉天長春間、長春ハルビン間、ハルビンチチハル間は上り火、木、土下り月、水、金の一週三往復となり奉天打虎山間打虎山錦州間は日曜を除く每週六往復となつてゐるが右飛行には軍部外の旅客、貨物をも乘せる事になり旅客乘車務は大連では伊勢町ジャパンツーリストビユウローに於て販賣することになつてゐる、なほ一般旅客、貨物の運賃表は左の通り決定した

一、各區間旅客運賃

區間	運賃
奉天新義州間	十四圓
奉天大連間	二十圓
奉天長春間	十五圓
長春哈爾濱間	二十圓
哈爾濱齊々哈爾間	十八圓
奉天打虎山間	八圓
打虎山錦州間	六圓

二、貨物運賃

▲滿洲內相互間（關東州及び新義州を含む）一吉瓦（二六六匁）每に一圓
▲滿鮮相互間（新義州を除く）一吉瓦每に二圓
▲滿洲と內地相互間同三圓

水神氏の追悼會

先きに上海市に於て新願修行中支那暴民のため暴行を受けた日蓮宗僧侶四名中水神秀雄師はその際の打撲傷が原因となり遂に去る二十四日午前九時福民病院にて死去したが上海居留民會では會葬として二十七日午後一時より懇ろに葬儀を營むので妙法寺に於ても同時刻二十七日午後一時より同志參集の上追悼會を營むことになつた、一般の參會燒香を希望すると

河野大尉の 慰靈祭

けふ旅順で執行

二十七日午後二時から旅順昭和園に於て擧行される步兵第三十聯隊の故河野大尉慰靈祭に際し入場し得ざるもの、爲め特にラウドスピーカーを設備し式場外の參列者にも讀經弔辭等を明瞭に聽取し得せしめることゝなつた、弔辭終了後渡邊中隊長から當時の戰鬪狀況より戰死の模樣を講話する事となつた

奇病調査の 一行歸る

吉敦沿線に發生した奇病調査のため廿四日朝吉林を出發した調查隊原野軍醫、滿鐵倉內、小儒兩氏、吉林省政府衛生醫正、吉敦鐵路醫院從醫師等の一行は無事調査を遂げそのうち大連から赴いた人々は廿六日朝歸連した、その報告によれば奇病の發生した地點は小姑家驛北東北村（七支里）塘坭河子（十五支里）亂柴頂子（十一支里）の部落で戶數三十八戶、人口約三百名の場所で舊臘六日から患者を發生し本月廿二日までの十七名の死亡者を出した、病狀は頭痛、胸內苦悶、嘔喉痛、嘔吐、脊痛、口渴等で發熱の有無は不明であり發疹淋巴線腫脹、咳嗽、血痰等は無いことが解つた、取敢へず一行は田王氏（二）張小女（五）兩名の死體を解剖前者から肺、脾臟、後者から心臟內血液をとつて檢査した結果塗抹標本におけるペスト菌は證明せず目下引つゞき滿鐵衛生研究所および長春細菌所において精查中で二、三日中には確定の筈である

七千圓也の 貴金屬を詐欺

兄弟がグルになつて

兄弟共謀でダイヤモンドや貴金屬約七千圓を詐取し店をたゝんで逃亡した貴金屬商がある——市內吉野町二三番地時計貴金屬卸商金陽堂こと鈴木仙太郎及び弟の岡田庫之助の兩名は市內東公園町コロンボ洋行から前後四回に亘りダイヤモンドその他貴金屬約七千圓を買求め舊臘十二月廿五日附先付小切手を振出してゐたが、取引銀行で不渡りとなり、金陽堂は店をたゝんで兄弟とも風の如く逃亡したのでコロンボ洋行では初めて詐欺にかゝつたと知り、代表者エス・エム・シーマンデンは小野辯護士を代理に大連署へ告訴を提出した、同署司法係で兄弟を搜査中、兄の岡田庫之助は去る廿四日門司署の手で逮捕され、近く大連へ押送されて來る筈

兼子政光氏

大連新聞廣告部長兼子政光氏は急性腦炎にて西田醫院に入院中の處養生叶はず二十六日午前六時三十分遂に死去した

氏は鹿兒島縣の人にして同地商業出身、渡滿後滿鐵その他の會社を經て大正十五年八月大連新聞社へ入社累進して廣告部長の重職に當つたもので享年三十七

遺族はヒロ子夫人との間に一男三女がある

葬儀は二十七日午後四時より若狹町東本願寺別院にて營まれる【寫眞は兼子氏】

古賀聯隊長と折重なつて戰死し天晴れ名副官よと稱へられてゐる米井聯隊副官は、絕えなんとする玉の緖に死の刹那の張りつめた氣魄一杯をたゝえて、救援隊の來るのを待つてゐた、そして星野機關銃隊長が到着して「遺言はないか」と淚と共に聽かれると

米井副官は莞爾として僕には何等遺言はない、然し聯隊長が戰死される際、アノ敵（錦西の西方稜上の敵）を殲滅しろッ、天皇陛下萬歲！と絕叫された、これは聯隊長の遺言だ亂戰の際だから僕だけしか聞かなかつたから僕が聯隊長の遺言を傳へなくては誰も傳へる者はない、副官としての僕の最後の任務は、この聯隊長の遺命を君に傳へる事によつて完うされたのだ

と云ふが早いか、任務を果たた氣安さにガックリとなり再び眼を開かなかつた

負傷の身を遼陽衛戍病院で養つてゐる星野大尉は訪れる人々に對してこの壯烈無比な米井副官の最後を傳へて泪にむせんでゐる

故岩瀨光男氏告別式の際は態々御參列被成下候段千萬難有乍略儀以紙上御禮申候
一月二十六日
帝國在鄉軍人鷄冠山分會

利根川熊作儀
豫て病氣入院中の處養生不相叶昨廿六日午後三時半死去致しました
追て葬儀は本二十七日午後三時半途中行列を廢し聖德街葬儀場に於て施行致します
昭和七年一月廿七日
男　二瓶明生
親戚總代　上坂治夫
友人總代　大竹卓逸　佐多茂春　彥美

曙の鐘（178）

倉田潮
河野想多畫

マリヤの死體（一）

よもぎはたえ子の苦む樣を見ると、氣の毒になつて、かう云ひ足した。

「初めにも云つておいた通り、これは參考までにお話ししましたことなのよ。しかも、壯三さんと結婚すれば果してあけみさんが救ひ出せるかどうか、それもはつきり解つてゐる譯ではないわ。で、實行は考へもんだわれ」

「さうですわれ」

とたえ子は答へたが、何か思ひあたる節があるやうに一人うなづいた。あけみは話題をかへ、

「それはさうと、たえ子さん、先夜私の家から歸る時、變な男に後をつけられはしなくて」

と、不思議な男が何時もよもぎにつきまとつてゐること、その男が先夜別れる時たえ子と同じ電車に乘つてゐたことを話した。と、たえ子は驚いて、

「私、その人を壯三さんと間違へてびつくりしましたわ」

と語りついだ。彼女は電車をおりる時まで、その男に氣がつかなかつたが、下りて暗い路に這入ると背後から名を呼ばれて吃驚した。しかも聲がそつくりそのまゝ壯三と同じなので、怖ろしくなつて逃げ出したと云ふのである。しかもその男はその後も幾度か家に面會したいと云つて來たが、怖ろしいので何時も留守をつかつてゐるとのことだつた。

「ほんとにあの男は何者でせうれ」

とたえ子は眉をひそめた。

「壯三さんぢやないんですか」

「違ひますわ。後で家に來た時障子のすきから見てやりましたが、姿や聲はほとんど同じでも、顔が全く違ひますわよ」

と壯三の寫眞を出して見せた。

成る程顔は大變ちがつてゐる。壯三の方が情熱的な顔で、それに眼鏡をかけてゐた。

「この寫眞を見ておけばもう何處で逢つても解るわれ」

とよもぎは寫眞をかへして、マリアが姿を隱した話をした。たえ子は別にそれを怪しむ樣子もなかつた。マリアとしてはやりさうな奇行であつたから。

たえ子の家から債權者の家を二軒廻つて、よもぎは午後の三時頃に電車で淺草に歸つて來た。急いで小舍の方に人波をわけて歩きながら停留場から三丁ばかり來た頃に、

「よもぎさん」

と背後から肩を叩く人があつた。見るとたえ子と話して來たばかりの不思議な男がそこに立つてゐた。先夜たえ子の後をつけて行つた時と同じく、外套の襟を立て、金の腕時計をはめてゐる。よもぎはむかくとして聲を荒らげた。

「あなたは一體何處の何者ですか」

「それは暫く云へません」

と、その男は沈んだ調子で答へた。

「それが云へなければ、私も輕率に話は出來ません」

よもぎはさう答へて、ずんずん先に歩き出したが、すると其の男も考へこみながら、首をうなだれて後をつけて來た。が、小舍の前まで來るとまた小走りに近づいて來て、

「よもぎさん、ではこれだけ云ひませう。私は强力なあなたの味方だと云ふことを、いや、駿太郎さんの味方だと云ふことを」

「味方……。味方なら名を名のる譯ではありませんか。そんなことを云つても、今の場合私には信じられません。名を名のりなさい」

「名を名のつたらあなたは驚くでせう。が、まあそれはやめませう。その代りにマリアさんの死體のある場所を教へて上げませう」

「死體」

とよもぎは白晝の往來に棒立ちになつた。

滿日勝繼碁戰

第卅七回

一、二級　湯淺唯二氏
先　二、三級　高本吉郎氏

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

●一一九（百五の處劫さる）　●一二一ヌ十七　○一二四ヘ八（の劫さる）　●一三一リ十三　●一三五リ十一
○一二二（百十二の劫さる）　●一二五ト八　○一二八ハ一　○一三三チ十三　○一三六チ十四
●一二三イ三　●一二七（百五）　○一三〇ル九　○一三四チ十四
○一二六チ七（百十二の劫さる）　●一二九リ十二　●一三二リ十四

▲百三十六手迄（湯淺氏中押勝）

—【7】—

新刊紹介

▲陸軍讀本（平田晋策著）本書は軍部が軍事研究家として令名ある平田晋策氏に囑し全陸軍協力の下に苦心一年に餘る大作だけに内容の豐富且つ精確なる點は申すまでもない、明快暢達な行文は一讀巻をおく能はざらしめる妙趣に富み、とかく無味におちいりやすい軍事書の通弊を完全に脱してゐるあたり流石に苦心の跡が窺はれる、陸軍の任務は今後愈々重大である、今や國民は一人殘らず陸軍を知らねばならぬ秋である、内容の一部を記るせば大日本帝國軍隊論極東を守る帝國陸軍、陸軍各兵科の現狀、世界陸軍の兵器、空中國防、世界陸軍の現狀、帝國陸軍の組織、我陸軍の國防力、國家總動員、附錄には軍事法規、滿蒙に關する統計解說その他などがある、加ふるに二十頁を算する口繪をはじめ、本文に挿入された豐富な寫眞は宛然一個の軍事畫廊を偲ばしめ、興ある本文と相俟つて讀者の理解を一段と容易ならしめてゐる、宇垣大將、荒木現陸相が相携へて卷頭に序し「無二の陸軍讀本」「昭和國民大讀本」と絕賞してゐるのも無理はない、現下の難局を打開すべく擧國一致勇進すべき有事の新春にあたり、畏くも軍人勅諭奉戴五十週年記念の事業たるこの卓越した好著を各位の机上に敢て一本をすゝむる所以である（菊大判四〇〇頁、定價一圓、東京市丸の内昭和ビル日本評論社）

けふの放送

大連 JQAK

一月廿七日午後六時五十分
▲ニユース
▲英語講座「テキスト」第三十八課大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン獨奏　一、主題と變奏曲、二、小夜曲、サルトリー作ギタ伴奏伊藤十五郎、市川昇
▲清元　明烏上下、清元研究會社中、唄石村金八、同牧初太郎、三、線清元延鶯富
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニユース
▲中國劇　解寶收威、連東倶樂部々員

東京 JOAK

自廿七日午後六時三十分
▲記念講演、故元帥久邇宮邦彦殿下の御高德を忍び奉りて、伯爵清浦奎吾 ▲連續講談笹野權三郎第三席大島伯鶴 ▲新内、嶋咲名殘命毛尾上伊太八、淨瑠璃富士松志津太夫同秀太夫、三　線同薩摩椽、上調子同遊佐之助 ▲ピアノと管絃樂一、ピアノ小協奏曲ウエバー作、二、圓舞曲藝術家の生活シュトラウス作、ピアノ高折宮次、日本放送交響樂團、指揮大塚淳

滿洲日報

發行人 ……　編輯人 ……　印刷人 ……
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢　郵稅 金十五錢　一部 壹 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

支那當局に誠意無く武力解決準備に着手
數日間支那側の態度を監視し反省せずば斷乎處置

【上海二十五日發】村井總領事は本日午後三時半市政府で吳鐵城氏と會見、四時五十分辭去したが總領事館では左の通り會見內容を發表した

村井總領事は日蓮宗僧侶殺害事件に關する**我申出に對する支那の回答を促がせるに吳鐵城は期限の猶豫を求めた、**村井總領事はこれに對し何時までも回答を待つことは出來ぬ、滿足なる回答を得られぬ時は我において**適當と認むる時期に必要と認むる自衞手段に出づるの已むなき旨を警告**し出來るだけ早く我提示條件に滿足なる回答をされん事を要望して引揚げた

右の如く吳鐵城市長が回答猶豫を申出たのはその間に支那軍隊を上海に集中し我に對抗せんとする意圖に基くもので一片の誠意の認むべきものなきこと明かとなつたので、**我軍部も最後の決意を固め支那を武力膺懲の正式準備に取かゝつた**

我は最大の寛大なる態度を執り數日間は鳴を鎭めて支那の態度を監視し反省の色見えぬ時は斷然膺懲の征矢を送ることに意を固めてゐる

(寫眞は村井氏下は吳市長)

一週間內に自衞行動

【上海二十五日發】本日村井總領事の吳鐵城氏に對する警告は期限こそないが支那回答遲るれば我國は適當と認むる時自衞行動に出づるはずで支那が回答しても滿足なるものでなければ同じく自衞行動を執るといふに在り實質は期限附よりも強きもので**交涉は實質的に最後通牒と見るべく而して我方の適當と認むる時期は一週間を出まい**と見られてゐる

上海の混亂免かれず
陳友仁一派が學生を煽動

【上海二十五日發】支那側は本日の吳市長と村井領事との會見で數日間の回答猶豫を申出でその間に抗日會にわたりをつけ何とかして日本の攻擊を避けんとし、若し抗日會の解散說得に失敗しても其間に軍隊警備の充實を得られるの肚を以て目下國民政府とも協議中であるが、最近の國民政府の情勢は孫科、陳友仁一派が、蔣介石一派にまた追ひ出された形となり、自己の主張が通らず辭表を出して來滬し盛んに**蔣一派の軟弱外交を攻擊し青年學生を煽動**しつゝある事實あり、當面の責任者吳市長は蔣派たりとはいへこれが廣東人であり、孫、蔣間の何れに組するか不明なる上、既に辭意を漏らしてゐるといはれ**抗日會を解散せしめても上海は民衆の反對で混亂の狀態に陷るやも知れず、**どちらにせよ日本軍の出動は絕對必要だと觀られる

日本軍に飽まで對抗
上海防備の蔡廷楷が豪語

【上海二十五日發】蔣介石氏は日本に對抗するを不得策なりとし、本日吳市長に對し村井總領事の要求全部を承認して事態の緩和を圖れと命令したと確聞す、しかし南京政府が讓步するとせば、民衆蜂起して日本に對抗運動を起すべく日支衝突は避くべからずと見らる一方一萬三千の兵を擁して上海防備に當る蔡廷楷は孫科、陳友仁に對し

余は軍人である、余の使命は國土を護るに在る、南京政府の無抵抗命令に服す能はず、日本の一兵たりとも支那領土(租界外)に入る時は即時武力を以て阻止すべく余は必ず戰ふ

と說明した

反日本部等
佛租界移轉か

【上海二十五日發】工部局は近々民國日報及び租界內の反日團の即時閉鎖を命ずるに決したが、右團體は佛租界に移轉するらしいが、佛當局も彈壓を下すものと觀らる理由は排外熱を煽動するものであり治安を紊すといふにある

南京政府の方針
上海占據に斷然抵抗

【南京二十五日發】二十五日夜の中央執行委員會緊急會議は對日方針を左の如く決定した

一、對日國交斷絕は當分宣布せぬ
二、對日積極方針を繼續し日本軍の上海占據に際して抵抗する
三、國民の愛國運動は抑壓せぬ、但し非合法及不正なる排日行爲運動は嚴重に彈壓取締る

燒打事件に吳市長不遜の言
我方強硬態度を表明

【上海廿六日發】廿五日村井總領事、吳市長と折衝の際村井總領事は昨夜の抗日救國會員の日本公使館燒打未遂事件につき口頭を以て抗議せるに、吳市長は本事件は未だ證據不充分である、或は日本浪人が事を釀すため殊更にやつたものかも知れぬ、この種の事は日支兩國官憲共同調查に待つべきだなど不遜の言辭を弄した、村井總[illegible]

けふ着任した林關東廳警務局長(寫眞は埠頭にて)

陳、孫辭職記事掲載禁止

【上海二十五日發】吳鐵城氏は今晚十時各新聞に對し陳、孫兩氏の辭職に關し一切その記事の掲載を禁止した

領事は支那側の誠意なき事斯くの如し日本は飽迄この種排日暴行が取締れぬ限り自由の處置を執らねばならぬと我強硬態度を表明した

邦人保護方針

【上海二十五日發】多數日本人の居住し居る租界における現在の陸戰隊の防備方針は西は鐵道線路迄東は狄思威路より虹口に至る間は現地保護、豐田紡績その他の紡績及び同文書院等は局地的保護、吳淞の日華紡工場は至急閉鎖せしめて避難引揚げの準備を命じあり以上の如くなるが鐵道線路以外の支那町にも多數邦人あり一般に之を非常に不安と見て居りその保護に就き考慮中

自衞權の發動を英米は諒解

【上海二十五日發】日本が自衞權を發動せしめた場合、共同租界內の警備は一九二七年の協定を復活し各國軍隊及び義勇軍が分擔警備をなすに決すべきが、上海杭州間及び上海南京間兩鐵道その他にたいする軍事的必要行動については既に投資國たる英米兩國と我軍憲との間に諒解成立せる模樣である

衝突の早きを外人は希望

【上海二十五日發】當地在住の英米その他各外人の大半は日支軍の衝突不可避と見て居り租界の治安回復上寧ろその早きを希望してゐる

支那側の防備

【上海二十五日發】支那側の既に準備せる敵對的防備設備は主として閘北方面に行はれゐるが我方に探查の結果によれば、江灣路方面に移動鐵條網二十五、土囊五百、同濟路十五と三百、東橫濱路土囊七百、寶山路十五と百、北停車場附近には八百と一千、その他龍華には既に二十小隊が防備を整へて出動し居る外同方面一帶の租界に近接せる要所々々に步哨が配備されてゐる

孫、陳一派強硬態度

【上海二十五日發】本日の中央常務會議が陳友仁氏の強硬策を否決し陳友仁氏の辭職を許可したので孫科氏も辭表を提出した、確聞するに孫、陳兩氏は陳銘樞の十九旅[illegible]軍の實力を以て上海の政權を獲得して南京と對立し孫科、陳友仁、陳銘樞の新政權は飽くまで對日強硬政策を執り日本軍が若し軍事行動を執れば飽くまで對抗する方針であると

解決申込
靑帮の手で

【上海廿六日發】支那の下層大衆の秘密結社である靑帮の首領杜月笙は二十五日日本當局に對し民國日報膺懲、抗日會解散その他日本側の要求全部を靑帮の手で決行する旨を申出でた

米官邊が重大關心

【ワシントン二十五日發】事態急を傳へられてゐる上海事件に對しアメリカ政府高官はアメリカの態度につき左の如く語つた

上海事件解決のため日本が單獨で軍事行動を起す事になればアメリカ政府は最大の關心を以つてこれを觀察する事にならう、上海公安局の警察力は豐富で在上海日本人の生命財產の保護その他起り得べき日本人襲擊に對し日本人を保護する事は公安局の手で十分に出來ると信ずる

新顏の日支兩國代表 支那時局の處女論戰
空氣意外に平靜、討議は後廻し
きのふの聯盟理事會

【ジュネーヴ二十五日發】第六十六回聯盟理事會は二十五日午前十一時(滿洲時間廿五日午後六時)フランス代表ボンクール氏議長の下に開會、イギリス代表セシル卿は

ブリアン氏が病氣のため外相の職を辭され、本日その雄姿を見る事の出來ぬのは遺憾である、一日も早く快癒を禱る

と述べ、日本の佐藤大使、支那の顏惠慶氏も亦同樣ブリアン氏の健康を禱つた、なほ顏惠慶氏は左の如く處女演說をなし午後一時一先づ散會した

十二月十日の理事會決議は一方において支那を援助すると共に聯盟自身の威信と存在を維持する二重の目的を有するものであるから聯盟としては速かに、而かも有效にこれを實行する義務がある、**理事會は又支那調查委員の滿洲よりの第一報を待って即時適切な行動に出づるものと確信す**

更に理事會は上海の形勢に鑑み支那代表顏惠慶氏の緊急要求を容れて午後五時半より日支問題公開會議を開き、事態の急を聞いて各國代表も全部出席新聞記者百二十名一般傍聽者百五十六名は早くから詰めかけて開會を待つた、午後五時四十分開會するや引退したブリアン氏に代りフランス代表ボンクール氏議長席に着き日支問題を緊急上程討議の結果、議長ボ氏は

ボンクール議長

上海の情勢極めて重大であり且つ同地には共同租界を控へてゐるので事態は一層複雜であるから、余は**理事會の名において日支兩國政府に對し上海において新なる衝突の勃發を阻止するやう**全力を盡されん事を要求する

と約二十分に亘り說明、通譯終るや、支那代表顏惠慶氏は前代表施肇基氏程の身振はしないが、首を振り振り雄辯な大聲で辯護演說十四分間に亘つて日本の非を鳴らす、次で我佐藤代表起ち聞き取れぬ程の低聲ではあるが、力強く顏代表の主張を反駁し滿場を傾聽させた、殊に顏代表が「日本は廣大なる滿洲全部を占領した」と述べたに對し、佐藤代表が「一萬五千の兵力を以て滿洲全部を占領等出來るものか、不可能である」と繰返し反駁するや、新聞記者席には成る程といつた樣な微笑のざわめきが起り顏代表は默然として頰杖を突いて俯いてゐた、會議は午後七時五十五分散會したが、議長ボンクール氏、支那代表顏惠慶氏、日本代表佐藤尙武大使はそれぞれ別項の如き演說をなしたが理事會の空氣は意外に平靜で、日支問題の討議は一般問題の討議後に廻される事となつた

規約以外の手段で事件解決必要
顏支那代表の演說

【ジュネーヴ二十五日發】ボンクール議長の日支問題に關する經過說明に引續き顏惠慶氏は直に起つて左の如く演說した

滿洲の形勢は今や遂に全世界の平和の機構を脅やかさんとする點に達した、支那國民二千萬が居住する二十萬平方哩の地域は占領され、理事會の三ケ月に亘る努力は全くその效なく、スチムソン氏が聲明せる如く滿洲における支那政權の最後の足場も遂に失はれ、日本軍は今や滿鐵より百哩を隔る熱河をも占領せんとし形勢は惡化しつゝある抑々聯盟に對する支那の訴へは聯盟規約及び國際法規上の諸權利に基くものであるが、これ等の訴へは總てその效なく、今や**聯盟としては仲裁的以外の手段に出でざる可からざる時機に到達した、**蓋し前理事會以來世界平和に對する脅威は日に增大し茲に聯盟として執るべき行動の第一線は全く失敗に歸した、この時に當り理事會により任命された**支那調查委員が日本への最も迅速たる旅程を執らずアメリカ經由の如き行程を執るに決した事は支那の頗る遺憾とする**處である、又今日迄の理事會の行動は本件に對する平和的解決の全機構に對し疑念を與へてゐる、今や何等か他の效果ある行動を執る事は最大の要緊事である、今日迄の聯盟の行動は日本が滿洲を併合し更に或は全支那をも併吞せんとする侵略的行動を阻止せんとして悉く失敗をなし、その結果支那政府をして事件解決のため**聯盟規約に規定されたる現在以外の手段に出ん事を要求するの必要に陷らしめてゐる**條約の義務を無視し世界の輿論に與へた言質を無視せる今回の如き皮肉なる行動は恐らく歷史始まつて以來その例を見ざる處である

顏惠慶支那代表

今次事變の責任は總て支那側にあり
佐藤日本代表反駁

佐藤日本代表

【ジュネーヴ二十五日發】日本代表佐藤大使は理事會にて滿洲事變その後の推移及上海事件につき左の聲明を發した

廣大なる滿洲を支那代表顏惠慶が非難する如く**僅か一萬五千の軍隊を以て占領することは絕對不可能**である、現に滿洲の支那人民は事變以來少しも移動せず今後も安住することが出來る、**現在の情勢は支那側が常に匪賊を驅つて滿鐵附屬地帶の擾亂を企てるために釀成されたもので**これ等の匪賊は屢々支那正規兵に依りて指揮されてゐるから正規兵と非正規兵との識別は逐日困難を加へてゐる、斯くの如き情勢の下にここは期限を定めて鐵道附屬地域內に撤退するの不可能な事實を說明してゐると思ふ、次に目下上海の事態が切迫してゐることは事實であるが、**その責任は全部支那側の負ふべきものである、**事件の發端は支那人が故なく日本の托鉢僧に暴行を加へ瀕死の重傷を負はせたに發するもので日本は屢々反日團體の取締を要求したにもかゝはらず支那側は誠意を示さぬのみならず本人に對する襲擊は依然として繰返された、茲に至つて**日本は已むなく自衞手段として若干の驅逐艦と陸戰隊を上海に派遣したが**今日までに支那側の執つた手段は依然不充分なものである、從來日本は到底信ぜられない位の忍耐を以て支那側の忍び難い侮蔑暴行及び滿洲における條約上の權益侵害を忍んで來たが支那側はこれに增長しその侮日態度は停止するところを知らず、日本國民も遂に斷然日本の權益擁護を決意したのである、しかしながら**日本の希望するところは滿洲の平和と門戶開放に在る**ことは屢々聲明した通りである、なほ錦州の占據は單に一時的のもので事態が平穩に歸しその永續性が保障された場合は日本は直に撤兵する用意を有す

顏支那代表は錦州占據に關する佐藤代表の聲明を反駁し左の如く述べた

日本政府が列強に對し錦州攻略の意思なきことを約束したにかゝはらず錦州が占領されたのは軍閥の再び勢力を擡頭したためである、日本の軍閥は支那の日貨ボイコットは武力によつて彈壓し得ると確信してゐるが、如何なる力も人民をしてその好まざる國の品を買はしむることは出來ない

けふ審議續行

【ジュネーヴ二十五日發】同會議は二十六日午前十時半(滿洲時間二十六日午後五時半)より審議を續行するに決定した

理事會議題

【ジュネーヴ二十五日發】今回の理事會議題は

一、第四回交通總會の事業報告
二、日支紛爭問題報告
三、世界經濟恐慌を支配する公私債問題
四、民間航空に關する情報公表に關する國際協定の件

等で右の內二、三は緊急に加へられたものである

事務總長辭表

【ジュネーヴ二十五日發】國際聯盟事務總長サー・エリック・ドラモンド氏は本日理事會に辭表を提出した理事會では氏を失ふを惜み留任慫慂中であるが、事務次長三氏も本年滿期につき近く事務局の改造が必要となつた

松平大使壽府へ

【ロンドン二十五日發】松平大使は二月二日よりジュネーヴで開催される軍縮會議出席のため今夜ジュネーヴに向け出發した

立候補氏名

【東京二十六日發】立候補者氏名

東京府第三區 駒井重次(民新)
大阪府第三區 內藤正剛(民前)
同 第四區 中山福藏(民新)
同 第四區 谷田國次郎(政新)
同 第五區 田中萬逸(民前)
同 第六區 川西榮之祐(政新)
奈良縣(全縣一區) 平岡啓道(政新)
大阪府第四區 本田彌市郎(民前)
同 第二區 犬養[illegible](政前)
同 第三區 賴母木桂吉(民前)
東京府第四區 森健[illegible](中新)
同 第四區 朴春琴(中新)
同 第六區 前田米藏(政新)
大阪府第二區 山本芳治(政元)
同 第五區 石田武太郎(政新)
兵庫縣第一區 川上丈太郎(勞大)
大阪府第五區 喜多孝治(政前)
宮城縣第二區 小山倉之助(民前)
東京府第三區 安藤正純(政前)
同 第五區 安藤博(政新)
愛知縣第一區 瀨川嘉助(政前)
鳥取縣(全縣一區) 矢野晋也(政元)
愛知縣第二區 西脇晋(民前)
岐阜縣第一區 山田道兄(民前)
長野縣第四區 坂西隆章(立憲養生會新)
愛知縣第六區 大口喜六(政前)
沖繩縣(全縣一區) 金城紀光(政新)
同 伊禮肇(民前)
同 仲井間宗一(民新)
愛媛縣第一區 崎山嗣朝(政前)
埼玉縣第三區 武智勇記(民前)
長崎縣第一區 野中徹也(民前)
鹿兒島縣第三區 志波安一郎(政前)　金井正夫(新)
三重縣第二區 濱池文平(政新)

松岡洋右氏
山口縣から出馬

前滿鐵副總裁松岡洋右氏は來るべき總選擧に山口縣の第二區である熊毛、大島、作波の三郡を根據として出馬することゝなつた旨前松岡氏後援會の世話役であつた藤田秀次氏に入電があつた、藤田氏等は前回同樣松岡氏のため後援會を作り大に應援する筈

森本氏政友入黨

【東京二十五日發】森本一雄(前國民同志會代議士)は二十五日政友會に入黨した

羅文幹氏が外交部長代理

【上海二十五日發】南京來電によれば外交部長の後任には羅文幹、餘日章兩氏が有力視されてゐるが政府は當分部長を置かず羅文幹氏を部長代理として事務を執らしめる筈

人事

▲林壽夫氏(關東廳警務局長)廿六日入港ばいかる丸にて來任
▲森本勝巳氏(關東廳警務課長)警務事務打合の爲上京中のところ同上歸連
▲泉文三氏(同警部)同上
▲納賀雅友氏(山下汽船大連支店長)同上
▲宮川一三郎氏(淺野セメント工場課長)同上來連
▲杉松鮮氏(大日本製氷大阪出張所長)同上
▲高木義枝氏(國防新聞社長)同上
▲山西恒郎氏(滿鐵理事)江口副總裁代理として二十六日午前赴旅山岡關東長官を訪問し答禮の挨拶を爲した

蛇角 1932

國際聯盟理事會、顏支那代表の演說例により概念的議論に終始す、繼續ながら支那及び滿洲の特殊性を知りかけた理事會だ、それでは最早動かぬ。

◇

上海問題は何れ國聯の問題になる。兩國に警告を發するは國聯の立場として尤もだ、但し國際間の良好なる了解を攪亂する支那側の行動に御注意。

◇

陳友仁、孫科等辭す、對日強硬論容れられぬからといふが、それは遁辭、實は蔣介石の勢力に壓迫されたのだ。

◇

不抵抗の馬賊に對日硬論を高唱する前に軟論者と見られた名譽回復の爲でもある。

◇

上海共同租界、民國日報と抗日團を逐はんとす、佛租界に逃げんとするも、そこでも彈壓を施き込む事に果して興味を持つや否や。

『東亞の謎』休載

丁超武力行動に出で哈市近郊混亂に陷る
部下四千の主力を南下せしめ吉林軍の哈市入阻止

于琛徵の率ゐる吉林剿匪軍は二十六日ハルビンに入城すべく北進中であつたが東支護路軍司令丁超は自己の地位を于琛徵に奪はれることを恐れて剿匪軍のハルビン入城を阻止すべく使を吉林に派遣して熙長官に交渉中であつたが交渉不調に終つたので武力を以つて阻止するに決し二十六日部下の主力四千を南下させた、之が爲めに傅家甸市中は人心極度に不安に陷り且市中治安は維持されず隨所に掠奪が行はれてゐる模樣であるが傅家甸とハルビンとの間は丁超の軍隊を以て交通を遮斷し且つ電話電信は切斷された、因に二十四日吉林を出發、ハルビンに向つた要人連も哈市に入ることが出來ず途中で立往生してゐる、傅家甸における在留邦人の安否氣づかはる【長春電話】

公安局その他占領
市民は續々と避難

【ハルビン二十五日發】吉林剿匪司令于琛徵氏は明日ハルビンに入り一大クーデターを斷行する事となつたが右と共に張景惠氏は特別區行政長官を辭し奉天に赴いて新政府の首腦に任じ于琛徵氏は護路軍總司令に任じ當分行政長官の事務を代行することゝなつた且つハルビンの警察署、電話局等の現幹部は全部罷免し吉林系軍人を以て之が後任に當て特別區も撤廢するに決した、護路軍副司令丁超、步兵第二十六旅邢占淸の兩人も辭職に決してゐるが今夜邢占淸の第二十六旅は突如兵變を起し目下盛んに掠奪中

【ハルビン二十六日發】反吉林軍はなだれを打つてハルビンの近郊傅家甸に入り込み公安局その他を占領した、かくて北滿動亂の氣運再燃し人心極度に動搖し有產階級は身邊の危險を恐れて續々避難しつゝあり

匪賊續々奉天潛入
我軍の討伐で影を潛めた反面に
警備手薄の機を窺ふ

わが軍數次の討伐に依つて沿線一帶に亘つて影を潛めるに至つた匪賊は昨今に至り窮鼠猫を嚙むの勢ひを以て密かに奉天附近に三々伍々集合し夜の警備手薄の機を窺つて魔手を伸ばし始めた

卽ち二十五日夜から二十六日朝にかけて跳梁した賊團四件あり二十五日夜十時半頃奉天大南門外に五六名の銃器所持の匪賊現はれたが急報に接した城內憲兵隊員の手で擊退さる、二十六日午前零時半頃奉天驛機關庫信號所に機關銃所持の强盜十名侵入日本人信號手を脅かして金二十七圓を强奪した、二十六日朝六時半頃城內迫擊砲廠に十數名の匪賊潛入したが守備隊に擊退された、二十六日朝九時頃大西邊門附近に四十名の匪賊現はれ公安分局巡警と交戰を始めたが急報に依り奉天守備隊より六十名の隊員三臺のトラックにてかけつけ巡警に應援、匪賊を擊退し賊數名を捕虜としたが

晝の日中に賊團の出沒したのは近來めづらしく奉天附近に潛入せる別働隊の尖兵でないかと云はれ物情騷然としてゐる【奉天電話】

奉天驛に二名の馬賊
給料を强奪

廿六日午前零時二十分ごろ奉天機關區合圖方詰所に二名の馬賊が現れ同所に勤務中の合圖方若林定義および支那人韓某を脅迫若林氏の給料二十六圓七十三錢、八十四錢在中の財布を强奪逃走した

田庄臺に匪賊

二十五日午後六時半田庄臺に約四百名の匪賊襲來した【營口電話】

石山站で我部隊匪賊と苦戰
井上二等兵ら負傷

二十五日午前二時三十分奉山線石山站住民三名が匪賊襲來を報じ來つたのでわが守備隊の大野曹長以下十二名の守備兵は直に戰鬪準備を整へたが之と同時刻に驛正面六十米突の人家に陣取つてゐた約百名の匪賊は早くも襲擊を開始し守備兵之に應戰し猛烈なる戰鬪が開始された、この時後方及び左右に在つた約百數十名の匪賊も驛舍に接近し四方より一齊に猛烈なる射擊を始め井上二等兵は肩胛部と顏面に盲貫銃創を受けた、通信機關は全部杜絕しわが軍は全く苦戰に陷り匪賊は窓際に肉薄して猛烈に襲擊し來つたので驛員、保線區員も死を決して各々手榴彈を持ち協力一致して驛を死守した、四時頃賊の殆ど全數が後方に集結し更に猛烈なる襲擊を行つたが六時半頃夜明と共に漸く之を擊退した、わが方の損害は

井上二等兵負傷の外滿鐵派遣の驛給員蘇平五及び朝鮮人二名、支那巡警一名、石山站住民一名計五名が賊に拉致せられ金錢物品の被害も相當にあり、鮮人一名は左手首に擦過傷、耳と大腿部に盲貫銃創を受け驛舍の窓硝子は目茶苦茶に破壞された

匪賊は死體四を遺棄し死體三と負傷十二、三名を連行し銃劍、拳銃各一、拳銃彈百五十小銃彈三百六十を遺棄した、なほ賊團は廿四日夕刻から密偵を派して石山站の守備狀況を偵察した上夜半襲擊し來つたものである、同驛には日本人驛員三名、同保線區員一、二名が在勤してゐる

警備力の充實には充分心掛ける積り
人事問題は政黨を度外視して
けふ林警務局長着任

新たに關東廳警務局長に任命を見た林壽夫氏は廿六日入港はいかる丸にてかねてより警務事務打合せの爲上京中の警務課長森本勝巳氏並に泉文三警部東道のもとに令姪同伴着任したが流石に警務關係の金帽金筋連の出迎へ賑やかなところを見せた、沖までは滿鐵小蒸汽で櫻井遞信局長、松田高等、有田保安、星子衛生各課長をはじめ市內各署長及び新聞通信記者が出迎へた、サロンにおいて夫々顏繫ぎ的な挨拶が交された後

新局長 は至極ゆつたりした氣持で記者團に語る、色の黑い點と是々非々なハッキリさす點、相手方に好感を持たするに充分である

內地とこちらは違ふだらうが自分位警察部長を永くやつたものは少いだらう

最初にこうボンと自信の程をほのめかす

滿洲には曾つて伊集院さんが長官時代に來たのと大正十二年に關東廳で外事警察打合會があつた折出席の爲來た記憶がある、丁度九月の大震災は奉天で聞いたよ、確かその時は中山佐之助氏が警務局長で外務省、內務省朝鮮總督府それに兵庫、山口、神奈川縣等から代表者が集つたのであつた、自分は曾つてこちらに來た時伊集院長官から色んな企畫を聞き方針について話されたが、今考へれば

非常に 參考になる事が多い樣に考へる、川越市長の方は疾くにやめてゐた、僅か九十二日間の市長さんさ、友人の縣會議員選擧に應援のため山口縣に行つてゐたので市會議員の連中が怒つてしまつたんださうだ、山岡新長官は前航で來任された相だが個人的に知つてゐる譯でなく警察部長當時長官が司法省に居られる時分會つたのである、中谷前局長もよく知つてゐる、あの人は學者だよ、新しい地位だつて?まだ何も考へてゐない內地の警察事務ならば少しは自信があるが又こちらはこちらで趣きが違ふだらう、何分自分は內地では警察部長を九年間やつたから、その點では自分程永くやつた人は少いと思つてゐる

警察官 が軍隊と共に國防の第一線に立つて生命を賭して働いてゐるには敬意を表する、森本課長よりも警察官の增員計畫について聽いたが頗る必要な事だらうれ、でも結局は金の問題さ金が無ければ何も出來ないよしかし警備の充實と云ふ點には心掛けるつもりだ、取敢ず急いで着任の上山岡長官とも御會ひして方針を立てる、次に人事の問題だが全然人間を知らないのだから動かし樣もなく具體的には考へてゐない、知つてゐるのは御影池學務課長位である、だがこの人事の問題に對しては自分は政黨だとか黨利なんてものを度外視して考へるつもりである、政府の命令なら仕方ないがとにかく今のところ考へてゐないと答へるより外ない、外勤加俸減額だとか

月俸減 の問題がこちらで働く人にとつて重大な事は解つてゐる、恐らく政友會內閣としては舊に戾す位の意向がある程だからこれ以上減するなんて事は無からう

かくて定期船着埠と共に一先づ待合所貴賓室に小憩、中谷前局長をはじめ關東廳各方面人士並に滿鐵山西、竹中兩理事等と新任挨拶を交し直に旅順に向つた

ダンスホールか
大連は靜かにして置いて皆旅順に移すさ

林新警務局長は沖迄出迎への記者團に對し別報の如く新任の挨拶を兼れ抱負の一端をのべたが柔かい方面に話題を轉換し

エロだつて多少は知つてゐるさダンスホールもよからう、併しホールだけは淸らかなものにしたいれ、享樂丈を求めると云ふ行き方は駄目だと思ふ、キャバレー邊りにそんなのは讓つてしまへば好いじやないか、何キャバレーは踊れないつて、そうかそれは困つたれ、だから云はない事じやない、自分はこちらはよく知らないからしやべらせるなと云ふんだ、とにかくダンスホールを運動の場所と解釋してゐてくれると好いのだがなあ、神戶や橫濱邊りある位の程度は國際都市大連としてはやむを得まい、しかし出來れば大連は靜かなところにしておいて皆旅順に移すさ、だけど戰跡地丈は昔のまゝ殘しておきたいれと際どいところで綺麗に逃げる

林新局長初登廳

林新警務局長は森本警務課長、泉警部、土屋屬を從へ大連まで出迎への各警務關係課長と共に二十六日午前十一時半特急で地の官邸に入り氷山市長、土屋法院長、安岡檢察官長、米內山民政署長その他出迎へ人一同の挨拶を受けた後樓上別室に於てシャンペンを拔き着任の祝杯を擧げた、尙警務關係各課長は一同玄關前まで出迎へた、局長は小憩の後泉警部の案內にて各室を一巡の後午後二時頃關東廳に初登廳した

電燈料値下
二月から實施か

既報の如く滿電は大連の電燈料値下を計畫し既に値下案を關東廳に提出中であるが認可あり次第發表實施することになつてゐるが今明日中に認可ある筈で滿電では値下實施手續の準備を整へてゐる、今明日中に認可來れば二月一日より値下實施される筈で全般に一割見當の値下である

氷上選手權大會中止

【上諏訪二十六日發】諏訪ノ湖で擧行中の第三回全日本氷上選手權大會はコンデション惡く二十六日の第三日目に至り遂に競技不能に陷り本年の競技は之で中止した

多久島一味の第二回公判

市內山縣通貿易商多久島六四及びヘンリー・バクリー一味の銃砲火藥違反、麻醉劑取締規則違反事件の第二回公判は二十六日大連地方法院小田判官係り開廷、多久島と密接な連絡を執つてゐたバクリーに就き審理が進められた

渡邊倉庫事件
判決言渡し

【東京二十六日發】渡邊倉庫乘取事件の判決は二十六日東京地方裁判所にて左の如く言渡された

懲役一年(求刑一年半)　乾　新兵衛

懲役八月(求刑一年半)　阿部　純隆

郵便貯金增加

客年末二千七百萬圓を突破したばかりの滿洲における郵便貯金は引續き一般の緊縮節約と出動軍人の記念貯金等によりますく增加する一方であつて二十五日には早くも二千七百六十五萬六千三百圓を算するの狀態である、この趨勢では遞信局豫ての目標たる三千萬圓も近く突破するであらうと觀測されてゐる

保證金を橫領

市內濱速町四十八番地利通錢莊方周蔚文(三二)は重要物產取引人たりし昭和四年一月から五年九月までの間に市內奧町五九番地吳星若の保證金一萬二千五百餘圓を橫領したこと被害者側の告訴により發覺大連署で拘引狀を發したが既に何處へか逃亡し目下探査中である

藤內巡査遺族香奠返し寄附

曩に安奉線高麗門驛警備中匪賊に襲擊され交戰中殉職した故巡査部長藤內晃二氏の遺族は二十六日忌明につき各方面より寄せられた同情に對し香奠返しとして時局柄軍隊及び警察官慰問金として沙河口署を通じ金三百圓を寄贈

白濱氏嚴父

南滿瓦斯會社專務白濱多次郞氏は先般嚴父危篤の報に接し急遽鄕里鹿兒島縣出水郡脇本村に歸省看護中であつたが嚴父權右衛門氏(七七)は二十五日藥石効なく逝去した

警官の活動實況を映畫に收めて公開
關東廳で撮影に着手

關東廳管下の警察官は關東軍各部隊と同じく滿洲事變突發以來民衆の保護治安の維持の爲め晝夜をわかたず寢食を忘れて活動を續けてゐるが全滿三千有餘名の警察官の活動狀況こそはわが國警察史上未曾有の歷史的事實であるので關東廳警務局ではこの畫期的な警察官の活動狀況を

永久 に記念する爲めこの實況をフィルムに收め全滿在留民に對し警察官の必死的活動狀況を再認識せしめ且內地にもこの活動振りを知らしめるため廣く公開することゝなり內務局附鴻野屬は去る一月十二日以來安奉線を振り出しに關東廳管下の警察官が配置されてゐる地方全部に涉つてその活動狀況を具にフィルムに收むべく活動を續けてゐるが匪賊の爲めに屢々襲擊を受けつゝある安奉沿線の鬼氣せまる狀況、僅か

數名 の身を以て百名の邦人を死地から救ひ出した新民府の悲壯なる活動及び中間驛に配置された警察官の妻女や子供までが自らも銃をとつて夫と共に賊に當る光景等內地では想像も及ばぬ在滿警察官の若勞が如實にフィルムに收めてあり之に日本軍隊の活躍をも織込んで長尺のフィルムとする豫定であるが之が完成の曉には軍司令部が滿鐵弘報係に依賴して撮影した皇軍の活躍のフィルムと共に滿洲事變の

實狀 を後世に殘す好箇の資料となるべく期待されてゐる【奉天電話】

御下附の御神寶けふ埠頭に到着
來る三十日傳達式

既報の如く廿六日入港はいかる丸にて伊勢大廟御神寶御弓、御靫、御鉾、御太刀、御楯が在滿各地神社宛送られて來たが關東廳學務課より衛藤屬宇治山田に拜受のため出張中だつたもので右に對し守護の重任にあつた衛藤氏は語る

廿二日に宇治山田を出發して神戶に一泊して來たのです、幸ひ沿道の警戒が充分だつたので重責を果し得た事を喜んで居ります、御神寶は各一體づゝ本溪湖安東、開原、遼陽の各神社、大連は金刀比羅神社に送られて來たものです

御神寶ははいかる丸着埠と共に日本人の手によつて恭しく卸され一先づ民政署に安置するところあつた、尙三十日傳達式を行ふと

けふ埠頭に着いた御神寶

裏切られて憤慨使用人を殺害す
華人職人警察に自首

廿六日午前二時五十五分市內西崗街一四五番地賦力職葛忠振(三二)が血みどろとなつて小崗子署に出頭し「只今使用人劉萬金を鐵棒で毆打し殺害しました」と自首して出でたので同署にて取調べた結果同人は廿五日午後六時ごろ妻と共に外出不在中留守居の長女代具(二)を保險せんとしたことを夫妻歸宅後娘が泣きながら訴へたので葛は八年間も使ひ片腕となつて働き相當信用せる劉が自分の不在中かゝる行爲をなして自分を裏切つたのを憤慨しカッとなつて隣家に居た劉萬金を追つかけ所持せる鐵棒で毆打せるため約一時間後午前二時半ごろ遂に絕命せることが判明したので同署では葛を傷害致死として目下留置取調中

質屋から盜む

二十五日午後七時三十分ごろ市內愛宕町十六番地質店富屋方へ三十歲前後の男が訪れ、質流れを買ふ風を裝ふて多くの物品を持ち出させて物色中、店員の隙を窺ひ黑サージ三揃洋服と茶色メルトンのオーバーを攫ひ逃走したが犯人は大概目星がついてゐるらしく大連署で搜査中

義金を募集して『滿洲號』を獻納
明日市役所に各代表者參集
義金募集の協議會

愛國號獻納の結果になつた愛國號二機の飛來に依りいたく刺戟された當地有志間にも豫て「滿洲號」と云つた樣な飛行機を作製し之れを關東軍に獻納したらと云ふ話が寄々進められてゐたが今回いよくこれが具體化し二十七日午後二時より大連市役所會議室に民政署、地方法院、遞信局、警察署、市役所、滿鐵會社、商工會議所、在鄕軍人聯合會、時局後援會、沙河口實業會、聖德實業會、青年聯盟、婦人團體聯盟、日刊新聞社の各代表參集し飛行機獻納義金募集の協議會を開く事になつた

西の風　晴一時曇
各地の溫度

二十七日　天氣豫報

	昨日最低	廿六日午前十一時
大連	零下〇・二	三・七
旅順	同〇・九	六・二
營口	同五・〇	零下二・七
奉天	同五・二	同二・五
長春	同九・九	同六・九

けふの小洋相場(正午)　金百圓は一七六圓九〇錢

父兼子政光儀豫て病氣入院中の處養生不相叶二十六日午前六時三十分死去致候に付此段生前辱知諸彥に謹告仕候
追て葬儀は二十七日午後四時東本願寺に於て相營申候
一月二十六日
嗣子　光一
妻　ヒロ
親戚總代　川上慶介　實性確成　三井爵水　向江寬次　松田彌三朗　鏡園喜衛門　前川良三　栗木榮太郞　原二六　今崎九十郞
友人總代　鹿兒島縣人會

御會葬御禮　相馬紀夫

武門血笑記 (35)

下村悅夫作　布施長春挿書

狂 及 (一)

源之丞は、石のやうに默つて、只一人、自分の居間で、坐つてゐた。

ほの暗い、燈の光に、照らされた彼の顏は、げつそりと、肉が落ちて、眼だけが、ギラ〱と鋭く光つてゐる。

今しがた、別れて來た父親の怒りに滿ちた訓戒、懇切な兄の言葉、涙に濡れた母親の繰言――これもこれも彼には堪へ難い、苦惱の笞であつた。が、彼の心を、今、八熱地獄の責苦に泣追ひ詰めてゐるのは、もうあと二日で、織馬とお梨花が、祝言の盃を、あげると云ふ事であつた。それにその織馬には。父親に當る大目附陣野長門の指圖で、非公式ではあつたが、彼の失踪に就いての取調べが、明日行はれる事になつてゐた。

（畜生奴、織馬の指金だ、俺に煮え湯を呑ました上に、根こそぎ叩き潰さうとするのだ！）

込み上げて來る憤怒に、今にも爆發しさうな心を、じつと押へて心の中で、叫び續けた。

（今に見ろ、今に見ろ、織馬の奴を蟾蜍のやうに踏み潰してやる。肉身が何だ、家內が何だ、自分の潔白を見せたさに、婿選びの席で俺を無視して、俺の一生を塗り潰してしまつたのは誰だ、家門の爲めに、この苦みを、一生持ちつゞけて行けと云ふのか、馬鹿な）

源之丞は、痙攣的に、全身を、わな〱と、顫はせて、

（やる、確にやる。誰が明日の日の取調べを、受けるものか）

と、思はず小聲で呟いて、つか〱と、立ち上つて、床の間の大刀を、取上げるさ、そのまますばりと、拔き放つて、燈にかざしながら、凝つと見入る。

伸びた月代、爛々たる眼、蠟のやうに蒼ざめた面――煌々たる白刃の鐔もさから、鋩まで打ち返し打ち返し見入つてゐる、源之丞の口の邊には、ほのかな笑ひが、鬼火のやうに漂つてゐる。

やがて、源之丞は、刀をぴつたり、鞘に納めて片膝を立てたまゝ家の中の樣子を覗つてゐたが、すつくり立上つて、ぐいと、襷を締め直し外出の支度をするさ、ふつと、燈を吹き消して足音を忍ばせながら、手探りで雨戸を開けて外へ出る。

間もなく自分の屋敷の塀から、ひらりと、通りへ飛び下りた源之丞は、何時の間にか、黑い布ぎれで面を包んでゐる。

雨模樣と見えて、月の光が、うつすらと灰色の雲に遮られて、靜かな夜の世界は、一面に霧がかゝつたやうにほの暗い。

遠くの方の夜廻りの拍子木の音が冴えて聞えるのは、もう眞夜中近い刻限であるらしい。

源之丞は、何時になく足音さへも聞えぬ程の靜かな足取りで、物陰を縫ふやうにして、歩いてゐたが、程なく鬱蒼と庭木の茂つた大きな屋敷の側まで來るさ、ぴたりと足を止めた。

織馬の父親、陣野長門の屋敷である。

豫じめ見當は附けて置いたのであらう。彼は長い海鼠塀の中程に松の大木が內側からにゆうつと枝を差し延ばした處まで來るさ、細引を取出してパラリと枝に絡ませそれを手頼りに塀を乘越え、屋敷の內側へ忍び込んだ。

さうして、庭木の中を、掻き分けて建物に近づくと、プッツリ、刀の鯉口を切り、猫のやうに足音を忍ばせて、勝手知つた織馬の寢所の方へ覗ひ寄る。

古賀聯隊の勇戰を 軍で映化計畫

一月九日錦西に於て壯烈な戰死を遂げた古賀聯隊長以下の最後の實況は勇猛果敢な騎兵部隊の精華とも言ふべく壯絕無比なものであつたが關東軍第四課では古賀聯隊が百餘の僅かな部隊を以て數千の兵匪に對して聯隊長以下軍旗の下に護國の鬼と化した壯烈さを始め古賀聯隊が最後の一兵まで倒れて止むの大和武士道の精髓を錦西の荒野にさらすに至るまでの經緯は誠に特科隊として騎兵科の威武を中外に示したのみならず千古の青史に傳へらるべき幾多の秘談秘事もあるので之等を特に戰史に編むべく松井科長が司査となつて臼田少佐及び尹大尉が掛りでこの實狀を示す資料を蒐集しこれを琵琶歌、浪花節に仕組んで世人に傳へる一方臼田少佐司査の下にキネマに作成することゝなり特に之が製作については古賀聯隊と日常を共にした室〇〇師團麾下部隊の特別援助を與へ近く撮影の運びとなる筈

在鄉軍人大連分會後援で 感激の軍事映畫 噫、南嶺三十八勇士 二十八日より常盤座で上映

東活映畫超弩級軍事映畫「噫南嶺三十八勇士」はいよ〱來る二十八日より帝國在鄉軍人會大連聯合分會後援の下に常盤座に於て華々しく上映されることになつた「噫南嶺三十八勇士」は既に知られてゐる如く人情中隊長故倉本少佐を中心とした物語りで、昨年九月十九日南嶺の丘を紅に染めた倉本少佐以下卅八勇士の榮譽を永久に讃へ併せて國民精神作興の一助とすべく獨立守備隊第一大隊並に在鄉軍人公主嶺分會の大々的應援を得て東活井手錦之助監督がメガホンをとり武村新、南光明が主演したものであるが、殊に獨立守備隊司令官森中將は自らキャメラに入ると同時に題字を揮毫し、一層この映畫の價値を高めてゐる、尚ほ併映のパラマウント發聲版、チャールス・ロジャース主演の猛闘「ローマンスの河」が併映され一層感興を深からしめる筈である【寫眞は噫南嶺三十八勇士の一場面で左端は南光明、左より四人目は特別出場の森獨立守備隊司令官】

くことゝなつたが▲アマチュア連合作のタイトルが非常に好評を博してゐる▲常盤座の小泉氏なども大いに乘氣になり、試寫を見た上相當なものであつたなれば、是非「噫南嶺三十八勇士」と併映したい希望である

大激戰を偲ぶ 勇士の遺品 常盤座に安置

二十八日より華々しく常盤座に上映される東活軍に映畫「噫南嶺三十八勇士」の主人公たる倉本中佐以下各勇士の尊き遺品は特に獨立守備隊の好意により大連憲兵分隊に移送され廿八日より常盤座表闘正面に安置されるが心ある人々の燒香を希望すると尚常盤座では二十七日正午より若草山西本願寺に於て追悼會を營むことになつたが一般の參列を希望すると

噂話

亞東印畫協會で成作した十六ミリ事變映畫「錦州を衝く」はこの程いよ〱完成したので、二十六日午後四時半より山縣通土建協會で關係者を招待の上試寫會を開

新棋戰 (其九)

角落　八段△土居市太郎　四段▲鈴木禎一

【圖は四三飛成迄の局面】▲鈴木氏「持駒」桂桂歩(六ツ)　△土居氏「持駒」金銀銀

【土居八段講評】△上手七三飛の成捨ては些か過激な樣に看ゆるが、白玉に危險が二手の餘裕あるを頼みに桂を利用して敵玉へ必至を掛けやうとの心算である。

【萩原六段解說】上手四一金打は以下四四飛と打つて駒得を圖り十分と見ての攻めであるが、此處四一銀と打つて敵二二玉なら四四銀、同龍、三二金、一二玉、二四飛でよく又四一銀に對し敵三二桂なら三三銀打、同桂、二四飛同歩、二三金打で必至となる下手の七七歩は手筋であるが何分駒損と手駒の少ないのを以て上手は自玉に寄りがない故、五三銀と進み下手三一金も已むを得ない。

神經痛の方 從軍者原價

此樣な妙藥を知らず今迄惱んで居たかと語るのを再三聞きましたに就て二三全快談を記し御參考に供します、御藥は澤山でなく只二三服お試しになれば直ぐ判りますから手が上下出來ぬとか腰、膝等針でさゝれる樣痛むとか、自然體がだるいと云ふ方は只の二三服御試し下さい。

新聞社員談　私は神經痛で惱んで種々と手當しましたが利目がなく永らく床に就て居ました、枕元の物も取る事も出來ません、悲觀中風車家藥を騙された氣で飲ませと教へられ其晩服用したら體の溫まる氣持がし枕元の物を手を延して取らんとせば常より手が届くので之れに力を得又服んだら次ぎの日は枕元の物が引寄せられるのと手足の自由になるのが日増にわかり遂に十日を出ず床揚をしたのです。

御用商人談　二週間來膝が兩方共キリ〱痛むのを堪へたが段々痛く床に就て仕舞つた、梅毒性リヨマチスだと兩膝に繃帶して風車家藥を疑ながら五十錢捨る積りで服で三服目に右の方は痛みがとれ又一圓のを買ひ五服のんだら全く治り藥が殘て不要になつたとの御話です。

會社員婦人談　私は半年前より神經痛病で注射二回致しましたが利きません尚再三注射を勸められたれど其氣になれず灸を一ヶ月すゑても思はしくなく右股の肉と骨とをスキ取られる如き痛みで殆んど七、八日眠れません、之では神經衰弱で痩れはせぬかと心配しながら御灸をすゑて居たのですが風車家の藥を教へられ直ぐ求めて服用しました、其晩スヤ〱と眠りました、痛がうすくなつたからです、其後一週間程のみ御陰で起きて居られ此樣に嬉しい事はありませんとの御話です。

此外民〻酒保の御老世樣は同病で入浴も出來ぬのが治り又惠比須町の七十三歲の梶原翁は二三月前より就床便器を用ゐ居たるに此藥の爲床拂をしたとの御令息の御話です。

地方は前金、送料當家持振替に葉書に、引替に、二日分五十錢

大連運動場北側　風車家　振替大連二四三四

景氣は芽ぐむ (E)

景氣は證券界から 滿鐵株の値上り

驚く勿れ一億二千百萬圓也 事變前と最近の比較

物 窮すれば必ず通ずると言ふが、過去數年に亘り殆ど瀕死状態に陥り、閑古鳥の鳴くやうな寂れ方だと冷笑された大連五品市場の昨今の復活振りはどうだ、昨秋まで只の七八圓臺に慘落してゐた五品株が昨今では二十八九圓臺で四倍方の奔騰となり、一日出來高四五百枚から一躍一萬枚を突破するといふ商内振り、五品代行會社が創立されると十圓以上のプレミアムがついて申込みは公募株數の千倍以上にもなるといふ盛況は恐らく何人と雖も昨年頃までは夢想も出來なかつた變化であらう

然 らば何がさうさせたか?全般的株式騰貴の材料としては、政友會内閣の出現とその傳統的積極政策に對する期待、金再禁止から爲替相場の崩落による物價高等を數へることが出來るが、その最も大きい原因は、多年に亘り世界的不景氣と、國内的行詰りから委靡沈滯した國民の人氣が、滿洲事變の勃發と皇軍の活躍により、一夜に作興して、更生される滿蒙の天地に新らしい希望と、輝かしい期待がかけられてゐるためとみるべきであらう——滿洲株が内地主力株以上に騰貴率を昂めてゐるのはそれがために外ならぬ

今 試みに最近における主なる滿洲地場株の相場を滿洲事變勃發直前昨年九月十八日と比較すれば左の通りである(單位圓)

銘柄	九月十八日	一月廿五日	比較
滿鐵舊	四七、〇	六四、〇	一七、〇高
滿鐵新	二三、五	三四、〇	一〇、五高
五品	八、〇	二九、〇	二一、〇高
豆信	四〇、〇	五三、〇	一三、〇高
新豆	一一、五	二四、〇	一二、五高
錢鈔	一三、五	二三、五	一〇、〇高

右 の如く滿鐵舊株は十七圓高、新株は十圓五十錢高、總株數の値上り高は舊株四百四十萬株で七千四百八十萬圓、新株四百四十萬株で四千六百二十萬圓合計一億二千百萬圓の値上りである、右の内在滿邦人の持株は新株二三十萬株とみられてゐるが假に二十五萬株として二百六十二萬五千圓の値上りとなりそれだけ在滿株主の懐ろが殖へた譯である、更に五品の總株數十萬株の値上りが二百十萬圓、豆信株三萬株で三十九萬圓、新豆株が二十一萬株で二百六十二萬五千圓、錢鈔株が十萬株で百萬圓であるが其他の事業株も殆ど二三割方の騰貴を示してゐるから全部を合算すれば在滿邦人の持株の値上りは恐らく一千萬圓以上に達し、それだけ個人の財産も殖ゆれば銀行の擔保力も增大したことになる

株 式市場は財界のバロメーターと稱されてゐるが、これは財界の現状を反映すると言ふよりも寧ろ將來を暗示すると言ふ重用なる意義を含むものである、然らば舊冬から最近にかけての諸株の昂騰は、爲替の崩落が齎した株式評價訂正の單なる一階梯と、漠然たる滿蒙の好轉見越しに過ぎない、滿蒙の發展も爲替安による株價の訂正も寧ろ今後に殘された問題であると考へねばなるまい、加之政友會内閣はその傳統的積極政策を振りかざして徐ろにこれを實施し、仍つて以て財界好轉に全力を注ぐべきことは見易い處であつて、既に公債の增發、日銀保證準備の擴張等にその片鱗を表してゐる、かるが故に政府の此のインフレーション政策を基調とし、更に一千億圓と稱せらるゝ滿蒙利權の開發、國力の伸張等を考ゆれば近き將來において株式界は大正九年以來の黄金時代を現出せんとも限らない

飜 つて世界經濟界を瞥見するも、往時の金偏重は一轉して物價尊重の時を迎へんとし賠償及び戰債の棒引も重大なる考慮を拂はれんとし、各國共インフレーション政策に一般の努力を致さんとするに至つてゐる、此の空氣は世界財界不況の打開に一歩を踏入れたものであつて、徐々景氣立直りに向ふことは想像に難くない、故に現内閣の通貨膨脹政策、爲替低落による物價高並に滿蒙利權の確保とは我財界好轉の三重奏をなすべく特に滿蒙資源の開發確保の如きは我國をして、世界經濟の上に斷然優位を占むべき一大強材料であつて世界景氣は我國より、我國の景氣は滿蒙よりの感を愈々深からしめざるを得ない、素より泡沫の如き空景氣の出現はこれを期待すべきでない、しかしながらあらゆる生産事業の活動は人氣の作興に動機づけられねばならない、しかして人氣の作興は先づ證券界の活躍によつて醞釀されなければならない、景氣は證券界より——殊に滿蒙の證券界より芽ぐみつゝあることは何と愉快なことではないか

南北滿洲の電氣事業統制 着々實現へ

滿鐵線以西の下準備殆ど成る 入江滿電專務歸連談

滿電は目下南北滿洲電氣事業統制のため又軍の委囑を受けた支那側電氣の委任經營の要務もあり事業範圍が非常に擴張されたので現在奉天に滿電時局事務所を置き高橋常務が所長格にて栗山電燈課長、前川技術課長が主となり事務に當つてゐるが、入江專務は先般來チチハル、ハルビン方面を同要務のため出張視察中のところ廿五日夜歸社した、滿蒙電氣事業統制について入江專務は語る

北滿電氣 は周知の如く東拓が多大の資本を投じてゐるし滿電は飽くまでも受身だ、向ふでも東拓の重役と會つたが昨今傳へられるが如く滿電が合併するなんて事實は未だない、錦州には當社から二人行つてゐるし八道溝には四人行つて軍の委囑によりそれぞれ管理してゐるが滿鐵線以西の各地電氣事業統制の下準備は大體出來た、未だ綏道以東に手のつけてないところがある、支那側電燈の施設をみると配線その他實に

亂暴粗雜 なもので、中には料金の安いところもあるがあの通りの施設なら安い料金で充分やつていける、特に今銀も相當の値だし滿電が委任經營しても料金その他從前通りのまゝでやつていける、今後統制の實愈よ具體化するとせば支那側から賣込みに來てるものもあるし買收するものもあり或は借款に應ずるものもあるが滿電も相當金が要る、今のところ五、六百萬圓を必要と思つてゐるがこれは借入れることにし既に成算がある

對米佛クレヂット 千五百萬磅

英蘭銀行償還を發表

【ロンドン二十五日發】イングランド銀行は來る二月一日滿期に達すべき紐育聯邦準備銀行及び佛國銀行よりのクレヂット額一千五百萬磅を償還すべき旨公式に發表した、これにより昨年八月磅爲替維持のために米佛兩國より借款せる五千萬磅の償還は全部完了する譯である、而してこの償還はイングランド銀行の金準備を減らす事なくして行はれる筈である

わが海運界 活況を呈す

繫船十五萬噸に減少 納賀山下汽船支店長歸任談

私用を兼れ店務打合せのため内地に行つてゐた山下汽船取締役大連支店長納賀雅友氏は廿六日入港のばいかる丸にて歸連したが最近の内地海運界の情勢につき語る

金輸出再禁止により爲替の下落は海運界にも好影響をもたらし一時は百萬噸を越すといはれた繫船もグッと減り今のところ十五萬噸位に過ぎず、大型船は何れも歐洲、印度方面の

遠洋に 就きそれぞれ好い成績を收めてゐる、このまゝ三月にでもなればドルの資金が無くなり愈々圓爲替が下るといはれてゐるから海運界はますぐ好くなるだらう、こゝもと一寸一息と云ふ形だ、今のところ近海は百十萬噸の船腹を要するが大型が出稼ぎに遠洋に就いてゐるので近海は足りない勝で……ほうだらう、それに米の收穫も五千五百萬石を豫想され例年より千萬石少い關係で少くも五百萬石は他から仰がねばならない現状にある、要するに内地の船舶業者は非常に

強氣で ある、問題になつてゐた補助金なんてどうでもよいなんて向もある、滿洲事變後ますぐ多忙になると思ふが商船會社が定期船を增やすといふ説も聞いたしわれぐもも一つと褌を締めてかゝる氣だ、尚遠洋貿易の旺んになると共に私の會社でも新たに紐育に出張所を設けた

内滿とも銑鐵の需要漸く增え

鞍山のストック漸減

内地銑鐵市場が打續く不況のため永らく實需不振を呈した影響を受けて昨年中の鞍山銑の内地輸出は極度に振はず昨秋十月末現在の滿鐵のストックは實に約十九萬噸に上り記錄的状態に達したが、その後政變を經て金輸出再禁止が實施せられた結果爲替關係より外國銑の輸入が不利となり印度銑等も著るしく割高となつたので本春に入つて以來の内地市場の状勢は漸次好轉し實需の擡頭を促しつゝあり、滿鐵のストックも其後漸減傾向を辿つて最近では約十六萬噸となり一時より約三萬噸を減ずるに至つたので海外方面の需要不振にも拘らず大體本年度豫算面の出銑高廿五萬七千噸までは漕ぎつけ得るものとして商事部では愁眉を開いた形である、地元の滿洲においても事變後の善後處置の進行するにつれ各種建築土木關係の平和的事業が勃興し水道鐵管其他の需要が必然的に擡頭し來るものと觀られ本年度においては漸く五年度來の沈衰期を脱して四年度同樣約二萬噸の實需高に復活するものとされてゐる

一日の滿鐵貨物收入 二十九萬圓を超過

ダイヤ面以外に臨時增發の計畫

久しく乘務員の不足で貨物輸送に苦い遣り繰をつゞけてゐた滿鐵々道部では漸く乘務員の充實に伴ひ長春鐵道事務所管内の積出旺盛となつたため廿五日四平街、奉天間上りは昨年十一月十五日のダイヤ改正以來初めてダイヤ面全箇列車(十一ケ列車)を運轉し鐵嶺押出は五百卅車に達して本輸送期の最高高を示し本輸送期これまでの最高四百九十二車に比し三十八車の增加を見た、而して鐵道部配車係では今後は絶對に輸送能力が今日以上に低下することはないものと見てをり、更に餘裕の生ずるのを待つてダイヤ面以外に臨時列車を增發の計畫で既に二十六日からは四平街發上り臨時列車一個の運轉を開始し、なほ貨車の充實について近來大連向の石炭輸送が激減しこれに準備された貨車に相當餘りが生ずるためこれ等石炭用貨車を特産輸送用に振向けることに決定着々その計畫を進めてゐる、何れにしても最近滿鐵々道部一日の貨物收入は次第に盛返して二十九萬圓を超過するの好況を示して來たが配車係では少くとも一日三十二萬以上の收入をあげんものと必死の努力をつゞけてゐる

大連商議役員會あす開催

二十七日午後三時半より大連商議役員會を開催されるが當日の協議事項は左の如くである

一、大連博多間航路に關する件
二、滿洲公共機關聯合會開催並に滿蒙根本對策決定の件

輸出入ともに振はなかつた

昭和六年一ケ年における 關東州海路貿易調べ

關東廳調査=昭和六年一箇年間における關東州海路貿易の總額は輸出一億九千二百八十七萬二千七百三十五圓、輸入九千七百九十三萬四千七百三十圓、輸出入合計二億九千八十萬七千四百六十五圓にして輸出超過九千四百九十三萬八千五百五十圓である、しかして之を前年に比較すれば輸出に於て三千九百五十萬四千六百六十五圓、輸入に於て七千百五十四萬二千八百八十九圓の減少で輸出入共に不振を示したが就中、輸入の激減は不況の程度甚だしかりしを立證してゐる、今各品別に價格を示せば左の如し(單位圓)

輸出

品目	價格
麥	一〇六、六二八
大豆	六二、一〇七、五六七
小豆	三、三九〇、二五三
高粱	二、六四八、四六三
玉蜀黍	七〇〇、四八二
落花生	四、三三三、九七三
小麥粉	一七七、五四四
煙草	七四二、七五五
綿織絲	五、三九八、〇〇〇
野蠶絲	一、七二〇、五八三
毛及毛絲	一、二五六、二七六
鐵及鋼鐵	三、八二一、五五七
皮革	二、五三七、四三六
豆油	一七、五六六、一七三
石炭	二八、五九一、二一四
豆粕	二九、七五五、四七一
セメント	八九五、四四二
その他	二七、一二〇、九一八
總計	一九二、八七二、七三五

輸入

品目	價格
米	一、七七三、八二三
小麥粉	五、〇一三、四九七
砂糖	三、二八九、七六五
煙草	三、〇七〇、九九〇
棉花	六、三二七、六四二
綿絲	三、五一二、九六四
綿織物	一一、〇五一、九六四
毛織物	一、六七六、三二六
麻袋	七、一三九、五八三
化粧品	一、一八八、四九九
車輛及部分品	一、四三七、〇七二
發動機電氣機械	四、〇六〇、二九三
鐵及鋼鐵	一、五一三、九一八
皮革	七八〇、一七七
紙	二、六〇二、一二八
油脂(豆油を除く)	一、六八六、二六八
藥品及藥材	三、八一〇、〇〇三
建築材料	四、五八五、二四二
石油	五三八、〇六三
其他	三二、八七六、五三二
總計	九七、九三四、七三〇

萬塵

◇…從來の滿蒙六十四鐵道計畫は不法暴戾なる舊東北軍閥の好餌となつて我國にとり甚だしく不利であつたが新政府の東北交通委員會では之を改めて理想的な交通網を計畫中である。

◇…新交通網は大連、葫蘆島、淸津を基點とするもので現在の滿蒙既成鐵道五千五百キロの外更に三千五百キロ乃至四千五百キロの新規鐵道が敷設されることになるらしい。

◇…營口は冬期凍結するのみならず河口港たる關係上その生命が長くないので之に代るべき海港として葫蘆島を活用せんとする意圖に見受けられる。

◇…而して大連を基點とする滿鐵と淸津を基點とする吉會線及び長洮線を根幹とし泰山、打通線方面の海港としては葫蘆島を利用するものゝやうだ。

◇…この三つを幹線として四方八方に交通網を張り各線の間に圓滿なる連絡協定を設けんとするにあるらしい。

◇…從つて今後特産物その他の輸送系統には一大變革が齎さるべく一般關係業者も之に對しては深甚な注意を拂ふ必要があらう

蓬萊無盡重役會

蓬萊無盡會社はこの程重役會に於て今期決算案を内定、來る廿七日の第廿五回定時總會に附議する筈(單位圓)

項目	金額
當期純益金	二二、九三五
前期繰越金	一四、三八八
合計	三七、三二四
▲此處分案	
法定積立金	二、五〇〇
重役賞與金	一、九〇〇
諸償却金	一、〇六七
退職基金	一、五〇〇
株主配當金	四、五〇〇
後期繰越金	一五、八三六

市場電報

銀塊及爲替

棉花

市況(廿六日)

特産

邦商の買進で 豆粕強調

今朝の定期は銀安で各品共示したがあさ仕手關係で大豆落を早し豆粕のみは買氣旺調を辿つた

◇定期前場

◇現物前場

錢鈔

仕手關係で 鈔票低落

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は十九片二分の一と(十六分の一高)先物十九片十六分の一と(十六分の一高)紐育は二十九仙二分の一と(同事)孟買銀塊は五十九留比十六分の一と(十六分の一高)大洋は百圓二十錢、匯申は七十三兩三二五、爲替は日米三十六弗五〇と(十仙安)日米は三十五弗四十四仙八分の一と(四分の一高)米支は三十二弗四分の三(八分の三安)上海標金は六百七十一兩五と寄り七十六兩丁度と止め當市の銀價は低落を辿つた

◇定期前場(銀建)

出來高(銀對金三十七萬圓 銀對洋四萬二千圓)

株式

内地株續騰 五品卅圓臺

商品

麻袋緩らす 綿糸小緩む

麻袋● 産地は織寄共に四分の一の安、爲替同事、當地は銀一圓漲安に買氣薄なるも氣配は綻り商狀であつた

綿糸● 米棉現五ポイント高、先四五高と小戻したると倫敦銀塊一ポイント高、米日爲替十ポイント安、大阪三品は期近物は呆やり先物九十錢乃至一圓四十錢安に寄り中限小一圓安、先四五十錢安に引け當市はマバラの賣物で小手合せなみた

銘柄	約定期	値段	棚渡
綿筋	四月限	一三九七	一〇

爲替相場

奧地市況

各地特産發送高

大連埠頭到着高

上海爲替情報

上海標金

手形交換高(廿六日)

大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 横濱生糸 / 印度麻袋

埠頭在庫貨物

1月19日 (單位瓲)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	180,918.9	158,115.8
大豆 非混保		
大豆 白眉豆	13,246.9	
大豆 靑豆	3,464.2	
大豆 合計	197,630.0	158,115.8
小豆	4,958.7	8,853.2
吉豆	2,273.4	2,480.8
高粱	28,338.8	9,903.5
包米	4,599.8	2,534.6
大米	3,564.2	47.6
小米	2,132.1	511.1
麥子		16.3
蕎麥	1,741.1	2,136.3
芝麻	170.6	80.9
大麻子	242.3	69.0
小麻子	1,141.1	159.5
蘇子	1,649.1	2,877.3
落花生	11,107.6	8,332.7
雜穀	807.9	2,165.6
豆粕	98,177.0	41,540.7
雜粕	421.3	102.8
獸骨	153.7	180.6
豆油	2,317.5	405.7
其他ノ油類		
麥粉	2,484.9	11,103.8
燐寸		
セメント	1,100.0	3,518.5
鐵子	4,922.1	519.3

滿洲日報

廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

日本の要求全部承認 抗日會の解散を斷行

中央常務會議で決定 上海の混亂遂に免れぬか

【上海二十六日發】昨日の中央常務會議は對日方策、上海事件を中心として重要協議を行つたが現在の狀勢よりして日本の要求を容れる他なしとて上海市政府に提出せる日本の要求は全部これを承認するに決した、然し若しこれを發表すれば一般の反對あり又如何なる事件が惹起するやも知れぬので抗日會の解散方法に就き討議中だが蔣介石は已むを得ざる場合は斷乎たる手段を執つて抗日會の解散を斷行する肚を極めてゐる

回答延引の事情說明

各國領事相手にせず

【上海二十六日發】日本の要求に依る抗日會の解散に就いて吳鐵城は日本に對する回答延引の事情を說明する爲め張學良の顧問たる英國人ドナルド氏を昨日來上海各國領事館を訪問させ、金曜日迄に抗日會解散を命ずる事に就き諒解を求めつゝあるが英米佛領事は何れも之に對して相手にならず當然解散す可きものだと一蹴してゐる、尙抗日會は佛租界內に本部を移さんとし既に事務の一部を移したが佛租界は本部設置を禁止した

抗日會本部等を封鎖

工部局外人市參事會決定

【上海二十五日發】共同租界工部局外國人市參事會は午前十一時五十分開會、民國日報手入れと排日運動取締に關するわが陸戰隊の要求に就き協議の結果

一、民國日報は不敬事件、陸戰隊侮辱事件は勿論その他排日を煽動し租界の治安維持を妨害する行爲多き故 **工部局をして自發的に同社を直ちに强制閉鎖せしむ**

二、租界內天后宮に在る **抗日會本部も租界の公安を害する行動を採り居れるを以て之も同樣强制閉鎖する**

といふに決定發表された、市參事會の態度は日本側の主張を悉く是認し、この際飽く迄わが陸戰隊と協力する方針で從來支那街から租界內に入込んでゐた支那軍警の租界入を嚴重禁止する事になり、民國日報と抗日會本部封鎖は陸戰隊と打合せの上今明日中に決行する筈

長江筋の邦人は現地保護

【上海二十六日發】我自衛權發動も早や時日の問題と見らるゝに至つたが其の際は蘇州、杭州、南京、蕪湖等長江筋の在留民は上海と漢口に集めて現地保護をなすべく其の筋より事前に引き揚げ命令を發せらるゝ事に決定した

わが陸戰隊本部に不敬、侮日的な投書

【上海廿六日發】今朝陸戰隊本部宛日本新聞の寫眞を切り拔き同封した怪しからぬ投書が舞ひ込んだ、御眞影に對しては民國日報がなしたと同樣の不敬文字を書き犬養首相芳澤外相協議の寫眞には「海賊の親玉次には何をするか」と書き陸戰隊上陸の寫眞には「海賊來襲」日本兒童の寫眞には「海賊の子供」と書いてゐる說明は英文で書いてゐるが其の筆蹟文章より見て明かに支那人の書いたもので重なる不敬と侮日行爲に對し本部では激怒してゐる

新滿蒙建設の私見（四）

昭和製鋼所の位置問題

難波勝治

歐洲大戰時の若い經驗が、鞍山製鐵業を急激に思ひ立たせたやうに、奉天事變後の滿蒙熱は、昭和製鋼所の建設を一層喫緊事として朝野の間に取扱はせて居ます、たゞ問題は該製鋼所の位置で、この懸案に就いては一昨年來屢々卑見を開陳しましたが、鞍山派に屬する所によれば、**現政府は新義州說に傾き、滿鐵會社當事者は大連說に傾いて居るとのこと**でありますが、私はその孰れにも相當理由あることを認めて居ますが、しかし今や國民の前に置かれた大なる滿蒙問題、殊にその開發と建設とを考慮するとき、新義州說にはどうしても贊意を表し兼ます、それは私は日本人が滿洲在住者としての地方的感情からでなく、前に概述した在住者の不安定狀態を見、その安定の要素たる一般產業の發展を力づけんと欲せば、先づ現地原料による中心工業を基礎附ければならぬ、斯くて該工業その者に要する技巧移植民は、直に日本目下の失職問題に資することも多いのみならず、かくて中心工業から漸次分生發育すべき、小工業の土壤を豐沃ならしめる所以だと信ずるからで在ます

滿蒙新建設に最も必要なのは、何よりも邦人の渡航安住者を多からしめる事であります、それは日本人のみの便宜を主とした議論ではなく、眞の共存共榮はこの現有の勢力と、外來の資力、智力、並に經驗との融和に依つて培養さるべきで、**製鋼所位置問題はこの道を開く爲に實に重大な關係を有して居る**からであります。

たゞ私は同じく滿洲を選定するにしても、果して大連（若くは關東州）が適當であるか、將た原料所在地にして且つ製鐵業の既存する鞍山が好いか、なほ其處に少からぬ考慮點があると思ひます、鞍山製鐵業に就いて、創立以來、一植民としての深い關心を私は續けて來た者であります、農家の點在するこの高粱畑の曠地に、巍然たる工場都市が出現し、二萬の人口を包擁哺育する迄の經過には、植民史上に特筆すべき幾多の變遷がありました、それは單なる資本的便宜主義から無視さるべきものでなく、新建設を思ふもの丶尊重すべき資料であります、私は製鐵鋼業の專門的技術的意見を述べる資格なく、またその智識も持合せて居ません、しかし**過去十餘年間の鞍山における史實を回顧して**、何が故にこの地から製鐵業を離して考へねばならぬか、その諒解に苦むものであります、勿論色々の長短論が沙汰されます、關稅問題だの、鐵滓捨場問題だの、水源問題だの、大小輕重取交ぜての議論をきゝます、しかし私の眼にはそのいづれもが根本問題たる植民的建設を閑却した丶內地で屢々見る候補地の奪ひ合のやうに映ります、鞍山が發達すればその利益の過半は吞吐港たる大連が受けますが、さうした基礎工業を關東州に集結するとなれば、沿線の各都市は何に基礎に安住の底力を養成し得ませうか、關東州の繁榮は滿蒙問題の一部に過ぎない、時局は殊にこの意義を明白ならしめました、從來沿線における邦人の數が殖えない、屢去燕來して少しも落つかないといふ聲が盛んである理由の一つに、沿線都市の不振があります、**沿線都市の不振は軈て海港大連の不利を意味します**、この相助的關係を深察すれば、製鋼所位置問題の如き、直に最も公平妥當な結論を發見し得ませう。

私は曩に交通機能の統制に就て從來の滿鐵線とその終端港との一元主義では行けない事を述べましたが、之は世間識者の既に氣づいて居る所でありますが、同時に滿鐵の方に依つて益々確的となつたことを認めます、それはこの綫路が一般的に產業開發の主力たることで奧地の原料輸送において、他線他港と對峙競爭する以外に、沿線都市の消化力と生產力とを深廣ならしめ、必然的に物資集散の勢ひを盛んならしめるだらうと考へます、それには工業施設の如きも、强て關東州の一地域に集中するに及ばぬ、寧ろ沿線都市の現有する形勝に從ひ、各々其處に獨自の事業的發達を遂げしめればならぬと思ひます、鞍山の製鐵鋼業がそれであり、また撫順に無限の包藏物とその利用などそれであります、交通機能の優劣は、必ずしも距離の長短や、サービスの善惡や、終端港の廣狹のみでなく、それの通過する沿道に物資を消化集散し得る產業都市が、數多く存在すると否とに依つて決定されます、煤鐵公司の鞍山は兎にも角にも本溪湖を人口一萬の山都たらしめ、更に安奉線の存在をヨリ明白ならしめて居ます、況んや**滿鐵本線の沿道都市を、普遍的に產業的底力あるものたらしむる**においてをやであります、それは軈て主權國民の文化を增進し、邦人の奧地進出力を旺盛ならしめる所以であつて、關東州はその結果を蒐集して、地方的繁榮の根柢を多角的に增進させ得ると信じます。

百武次長上海に引返す

【漢口二十六日發】百武軍令部次長は本日午後四時軍艦堅田で當地着の豫定の處本省よりの招電に依り急遽途中より引返し上海に向けて航した

福州東方新報不敬記事揭載

【南京二十五日發】福州日本領事館の報告に依れば同地にある東方新報は不敬記事を揭載したので我領事館より福建省政府に對し嚴重抗議をなし同新報の發行禁止並に謝罪を要求し四時間以內に回答を求めたるところ省當局は日本の要求を容れ同新報の發行を禁止した

交渉の餘地無し

陳友仁氏聲明書發表

【上海二十五日發】辭表を提出した外交部長陳友仁氏は左の如き聲明を發した

日支國交斷絕は列國が日支問題解決の會議を開くやうにないからである、日本が取締を要求する抗日救國會は愛國心の發露で政府は如何ともし得ず、日本が最後の通牒を突きつけたのは中央の分裂を來さしめんとする爲めで、日本との直接交渉の餘地は全然ない

支那軍續々上海集結

鐵道防備に當る

【上海二十五日發】上海附近の防備に當りつゝある支那軍は七十八師、六十一師の一部六個聯隊、工兵一聯隊約一萬三千名、それに市政府の公安隊六千名だが、南京上海間、上海杭州間の鐵道の防備を固め後援隊は各地より續々集りつゝある

緊急非公式軍事參議官會議

【東京二十六日發】海軍では上海事件が愈々紛糾し何時實力發動の已むなきに至るやも測り知れぬ狀態に立至つたので二十六日午前十一時より海相官邸に緊急非公式軍事參議官會議を召集し伏見大將宮殿下を初め奉り東鄉元帥、岡田、財部、加藤、安保、山本の各參議官、省部側から大角海相、左近司次官、豐田軍務局長、谷口軍令部長及川第一班長等出席し先づ豐田軍務局長より上海事件に就き詳細なる說明をなし谷口軍令部長より實力行使の場合のあらゆる對策を報告諒解を求め午後一時半散會した

支那軍は飽迄抵抗

【南京二十五日發】汪精衛氏は本日次の如く語つた

政府は上海の事態に深甚の注意を拂ひ居り、若し日本が同市を占領せば支那軍隊は飽く迄抵抗する

實力解決策協議

海軍省部聯合會で

【東京二十五日發】海軍省では二十五日午後四時より上海事件の處置に關し省部聯合協議會を開き特に外務省より谷亞細亞局長も出席協議の結果

一、外交機關に依る交渉成立せざる時は海軍の實力にて解決する

一、その際在上海兵員では不足するを以つて佐世保に待機中の第一水雷戰隊（巡洋艦一、驅逐艦十二）を出動せしめる

等の根本方針を決定實力發動の場合等につき協議午後六時散會した

內地部隊一部歸還

昨日御裁可を仰ぎ發令

【東京二十五日發】曩に滿洲に派遣された關東軍司令官の隷下にて活躍したる近衛及び第十二師團より派遣の野戰重砲兵部隊並に第一、第四師團より派遣の衛生勤務員は今回內地に歸還せしむる事となり本日御裁可の上發令せられた

支那情勢を御上奏

【東京二十五日發】閑院參謀總長宮殿下には二十五日午後二時參內別項の特科部隊の一部歸還に就き御裁可を仰がれた後、關東軍の匪賊討伐情況、最近における支那情勢、上海事件に關し委曲上聞に達した上午後三時御退下それ〴〵命令が發せられた

時局委員會

增兵を建議

【上海二十五日發】當地官民時局委員會は時局切迫に鑑み午後五時より會議を開き政府に左の建議を爲すに決し直に打電した

一、上海官民は支那側の不誠意及び戰備を整へ居る事

二、在留外人一般の輿論が日本の行動を是認し居る事

三、在留邦人の不安極度に增大しつゝある事

等に鑑みこの際政府は支那に對し期限附通牒を發すると共に陸軍をも含む我が兵力を至急增遣され度し

虹橋方面邦人避難準備

【上海二十五日發】時局切迫につれ虹橋方面に在る我居留邦人は何時暴戾なる支那人に危害を加へらるゝやも測り難いので本日午後より同方面の婦女子は續々避難し始めたので萬一の場合を慮り居留民會當局はその對策を協議中である

日華實業協會事情聽取

【東京二十五日發】上海一帶の時局惡化したので日華實業は二十五日午後四時幹事會を開き目下滯京中の重光公使を招き約二時間に亘り南支方面の情況を聽取したが重光公使は二十八日頃東京發歸任の豫定

燒打事件處置

【上海二十五日發】公使事務代理守屋一等書記官は公使館燒打事件に就き語る

今回の事件は一國の代表者及びその公館に危害を加へんとしたもので、普通の邦人の生命財產に危害を加へんとした事件とは異なり、非常に重大性を伴ふものである、而して上海に起つた事件故一應總領事の手で交渉すべきものと思ふが、明後日重光公使歸來すべきに依りその上にて正式抗議を見る事とならん

滿鐵七年度豫算案

監事會に報告、承認を得

【東京二十五日發】滿鐵では二十五日正午より麻布狸穴總裁邸で監事會を開き內田總裁、大橋、馬越、原三監事、木村理事、大淵支社長其他出席橋本經理課長より近く大藏省より認可さるべき七年度豫算案及びシンヂケート銀行團生命保險からの借入金に對する報告あり承認を得、內田總裁から滿蒙鐵道建設計畫につき座談的報告あつた

七年度收支豫算案

（單位千圓）

	收入	支出
鐵道	九一、四七〇	三一、四〇〇
旅館	一、一六〇	一、四一〇
港灣	八、五九〇	六、五五〇
工業	五九、五五〇	六二、七四〇
製油	三、四〇〇	三、二五〇
製鐵	八、五〇〇	一一、〇三〇
地方經營	四、〇四〇	一三、九六〇
其他	五、五一〇	三、五四九
計	一八二、二〇〇	一六五、八三〇

なほ純益金千六百二十七萬圓を計上してゐるが實行豫算で修正は免れぬと

吳佩孚氏包頭着

今月末迄に北平入り

【天津二十五日發】吳佩孚氏は二十四日午後五時二十分參謀長以下高級隨員二十餘名並に夫人と九歲の孫同伴、自動車で綏遠省包頭に到着した、部下全部の到着を待ち綏平線で月末北平入りする筈である

陳、孫兩氏の慰留に努む

【上海二十五日發】陳友仁、孫科の辭職問題に就き蔣介石、林森、汪精衛及び各中央執行常務委員等は本日午後長時間に亘り協議を行つた結果張繼、張靜江をして今夜發上海に赴かせ極力孫、陳の慰留に當らしむるに決し右兩氏は十一時發列車で赴滬した、尙蔣介石派は孫科が飽迄辭職を固持するならば宋子文を行政院長に羅文幹を外交部長に任命し各部に亘り大異動を行ふ豫定である

米總領事

カ氏意見

【上海二十五日發】米總領事カンニンガム氏は時局に就き左の意見を持つてゐる

一、日本軍が租界外支那街にて軍事行動を採るに對しては米國は何等云々すべき立場に無い

二、然し共同租界を中立地帶に爲す事は既に各國間に決められた事で米國は租界の中立は飽く迄擁護する

三、但し眞茹無電臺に就ては國際通信線の安全確保上日軍が之を攻擊破壞せぬ事を希望する

高射砲を設備

【上海二十五日發】支那側では日本が愈々二十四時間の期限附最後通牒を發し期限の切れるを待つて一氣に重要地點を占據するとの噂が傳はり、要所々々に高射砲を据えつけ飛行機の襲擊に備へ支那街一帶に多數の軍隊を配置する等戰時の如き警備をなしてゐる

陳孫辭意堅し

【上海二十五日發】中央よりの命により孫科、陳友仁の慰留の爲め赴滬せる張繼、張靜江は二十六日着滬直に孫、陳に面會し慰留しその結果を中央に傳へる筈であるが孫、陳の辭意堅く到底歸京の見込なく恐らく暫くして廣東に向ふ事となるだらうと觀らる

孫科、李文範辭表提出

【上海二十五日發】孫科氏は本日午前十一時國府に宛て辭職電を發し、陳友仁氏と共に辭職に關する聲明を發し陳友仁氏と進退を共にする理由を述べ蔣介石氏の消極的政策に基ける對日態度に反對する旨を發表した、尙內政部長李文範氏も本日午後五時半來滬、孫科氏と會見辭表を政府に提出した

無產黨の三巨頭

立候補斷念に決定

【東京二十五日發】東京第五區の大山郁夫、加藤勘十、松岡駒吉の三巨頭とも立候補を斷念、無產陣營選擧の悲鳴、第五區は斯くて無產派から全く放擲された

立候補黨派別

廿六日現在

【東京廿六日發】二十六日午後零時半現在立候補黨派別數左の如し

政友	八五	民政	七八
社民	八	大衆	五
革新	一	安達派	四
中立	八	合計	一八九

麻生氏出馬

【東京二十五日發】全國勞農黨は加藤勘十氏の立候補斷念にその代りとして麻生久氏を推すに決したが麻生氏も之を受諾した

藏相に立候補交渉

【盛岡二十五日發】岩手縣第一區では高橋是清翁の蹶起を求むるに決し委員を上京せしめ交渉する事となつた

伊集院氏出馬

【東京二十五日發】外務事務官伊集院兼清氏はもう一年で恩給もつき近く總領事になる筈であつたが今回の總選擧に官界からさらりと足を洗つて鄉里北海道旭川か鹿兒島第一區から花々しく打つて出る事になつた、床次鐵相が尻押しだといはれてゐる

尾崎氏立候補

【東京二十六日發】目下洋行中の尾崎行雄氏は旅行先より立候補に決定し令息行輝氏は目下父に代り立候補宣言をしてゐる

人事處置遺憾

同成會で決議

【東京二十五日發】貴族院同成會は二十五日午前十時例會を開き左の二項を決議し正午散會した

一、臺灣總督府の總務長官を總督の同意を得ざる前に休職したる事は遺憾である、今後右事情を愼重調查す

二、政府の一部では長谷川總監を氣狂ひ扱ひにしてゐるが、長谷川總監は警視廳をして政治警察の弊より脫出の上これを事務警察の本來の使命に立たすべく努力してゐる跡明瞭なり、從つて江木前鐵相の問題も愼重調查の結果に俟つべきなり

なほ右に依り江木前鐵相の行動を是認して長谷川總監を支持してゐる事は注目に價する

米海軍擴張案

審議を延期

【ワシントン二十五日發】アメリカ下院海軍委員長ヴインソン氏が一月十六日に提案した六億千六百萬弗百二十隻の十ケ年計畫海軍擴張案はジユネーヴ軍縮會議の終了する迄審議を延期するに決した

勞農軍縮全權

外相以下任命

【モスクワ二十五日發】二月二十七日から壽府に開催の一般國際軍縮會議に出席する勞農聯邦全權團は本日左の如く決定任命された

首席全權 マキシム・リトヴイノフ（外務人民委員長）

グリゴリー・ソコルニコフ（駐英大使）

アナトリ・ルナチヤルスキー（前聯科學アカデミー幹事）

オトセミオン・ベントゾフ（勞農及び國防會議組織準備委員會幹事長）

ランガボイ（前ペルシヤ駐剳勞農陸軍武官）

一行莫斯科發

【モスクワ二十五日發】二月二日から開會さるゝ一般軍縮會議の勞農代表リトヴイノフ氏以下一行は二十六日モスクワ發ジユネーヴに向ふ筈である

駐日米大使

グルー氏に決定

【ワシントン二十四日發】現駐土米大使ジヨーゼフ・グルー氏をフオーブス大使の後任として任命するの件に就きアメリカ政府より日本政府に對しアグレマンを求めてゐるが、既に日本政府はアグレマンを與へたものと諒解される、近く正式發表を見る筈

陸相樞相訪問

【東京廿六日發】荒木陸相は正午倉富樞府議長を訪ひ滿洲事變費支出緊急勅令案に關し懇談諒解を求めた

露芬不侵條約

【モスクワ二十五日發】ロシアとポーランドとの不侵略條約は本日當地に於て假調印を了した

社說

抗日會取締不能は遁辭のみ

公私混淆の理論擊破す可し

上海の反日行動は、愈々出で愈々險惡となりつゝある。既に不敬記事から日蓮信者襲擊、更に我總領事館襲擊の決議となり、重光公使の官邸の放火となつた。斯くの如き亡狀に對して在留邦人の到底默視する筈なく決議請願、さては直接行動等によりて、激越せる感情の發露を見るに至つたのは、實に據なき次第である。支那側の此等の反日亡狀は、其一々の事件に就て云へば、必ずしも抗日會の正式決議とか命令とかに依るものばかりでもあるまいが、團體的又は個人的に、夫々抗日會と關係を有するものなるは明白である曾つて滿洲事變以前に、滿洲を視察した森政友會總務が、宛として開戰前の如しと云つたことあるが、今日の上海の狀況は寧ろそれ以上である。民間の對立狀態の緊迫せるのみならず、我總領事館よりも公式に抗議を提出し、要求條件を提出するに至つた。

◇

我要求の主要部分は、抗日救國會の解散であるが、吾人は現在の國民黨其物が日支國交の病であると信ずる。故に日支國交回復は、國民黨の解散か、若しくは之が容共前の國民黨への改造を見るに非ざれば不可能と信ずる。併し當面解決の爲めには、抗日救國會の解散、又は嚴重な取締りが是非共必要である。國民黨は政府と異體同心であり、抗日會は實質に於て國民黨の別働隊であるから、政府が之れに解散を命じ、又は嚴重な取締を加ふる事は或は困難かも知れないが、それは云ふまでもなく支那の內部的關係である。

◇

外交部長陳友仁氏は、抗日救國會の行動は愛國行動であるが故に、取締りを加ふる能はずと云ふ。之れは支那當局の遁辭として從來からの慣用文句である王正廷氏なども、常に此言を用ゐて日本に對し來つた。吾人は之を以て、彼等の私情を吐露するものとして承認する。若し彼等が抗日會の意に反する行動を取らんか、彼等は忽ち國民黨內に於ける勢力を失墜し、現在の國民黨政府の下に於いて其立脚地を失ふからである。併しながら國家公務上の言としては、到底之れを容認する事が出來ない何となれば國家としては、假令國民の愛國心に出づる行動と雖も、其の國法に反し、又は國家に害あるものは、斷然之に對して彈壓を加へざる可らず、又國法上彈壓を加へる事が出來るのである。國民黨の解散ならば、國法上出來ないと云ふ事も出來るが、抗日會は法理的に國民黨とは別物であるから、取締りが出來ない筈はない。しかも其の取締りが出來ないと云ふのは、公務と私情とを混淆するからである。從來日本の外交が、彼等の私情に同情して、此の如き遁辭に對しても、敢て強硬なる追究を加へなかつた。其れは餘りに紳士的であつた。此の紳士的態度は、軟弱外交の譏りを招く所以であり、又往々にして支那側からも輕視せらるゝに至つた所以である。

◇

支那側では此道理を知つてか知らずにか、いつでも日本の抗議に對して此遁辭を弄する。多分日本は此れ以上に追究する事出來ないものと思ひ、諸外國も此れを是認するものと誤解してゐるのであらうか。今日に至りては、我國では最早斯くの如き遁辭を容認す可きでない。公務と私情とを混淆するの不公理なるは云ふまでもなく、今後は最早や彼等に對して、斯かる逃避の餘地を與へないやう爲すべきである。畢竟、斯くの如き支那の外交術は、其の自ら理論的錯誤を知らざるにあらざるも、知らざる爲して對手をも錯誤に陷らしめんとする狡猾手段に過ぎない。我國は最早や斯かる狡猾手段の爲めに愚弄せらるべきでない。

◇

陳外交部長が其の地位を犧牲にしてまでも、飽くまで對日強硬論を、主張するが如きも、亦彼れが曾つて廣東政府の爲めに日本に使し來り、其後も南京政府を攻擊したる爲めに、自然親日派として、反對派より攻擊せらるゝより、實は是を恐れ、態々強硬を裝ふものである。現今支那に於ける要人の強硬論は概ね此の如きものである。日本は決して彼等の強硬論に頓着するを要しない。抗日會の行爲を、南京政府が果して是認するや否や、端的に之を追究し、若し否認するならば、斷然之が解散を要求すべく、若し是認するならば、日本は直接に南京政府に對して相當の自衛行動を執る可きことを警告す可きである。

大連向の特定運賃 三月末迄は維持か

支那側の合理的步調に合せて 公正な運賃政策制定

滿鐵々道部では昨年三月一日以來奉天以遠國際運輸扱營口向貨物に對し銀建制を採用して事實上の運賃値下を行ひ更に三月十日からは同じく大連向貨物に對しても暫定特定運賃を設けて運賃の割引を行つてゐたが、その後周圍の事情の變化その他に伴ひ營口向貨物の銀建制は去る十二月を以てこれを

廢止

した、然るに營口における特產商人は漸く解氷期の近づくと共に自救策のうへから滿鐵に大連向特定運賃の廢止を請願することに決定先日營口商議會頭はじめ代表者が來連羽田鐵道部次長等と懇談を遂げたが滿鐵では速答を控へたもの、如く右問題は今後に殘されてゐる、この間の事情につき仄聞するところによれば大連向貨物の特定運賃は單純に支那側鐵道への對抗運賃と見ることは困難な事情にあり、またその運賃が突然に變化を來すことは外國市場に非常な影響を及ぼすことを考慮して特に三月十日まで規定されたほどで從つて三月卅日までにこれを廢止することは

多分

無いものと見られてゐる、唯然し昨年九月の事變以來滿蒙支那各鐵道は新らしい交通委員會に統制され事變前の如く採算を度外視した不合理な對抗運賃は全部これを廢止の方針の下に改革が進められてゐる結果滿鐵としても協調の立場から當然これ等と步調を一つにして公正な運賃政策を建てるに至る可きことは當然の理で、この意味において今後滿鐵の諸運賃が改正、制定せられるものと見られており大連向特定運賃に關してもこの主旨で處理せられるものと觀測されてゐる

公共機關聯合會の腹案審議

來る二月十一日大連滿鐵協和會館に於て開催される全滿公共機關聯合會の議案に關して大連商工會議所では二十七日午後三時半から同所に於て役員會を開催、左の腹案について審議すると

A、速に東北四省新獨立國家の出現を期待す

B、新獨立國家は三千萬民衆の慶福と東洋永遠の平和を基本とすべし

C、以上根本方針に基き本聯合會は徹底したる治安の維持と經濟の安定を期し左の施設方策を待望す

一、國防の安固と匪賊の掃蕩を期すること

二、交通機關の統制を期すること

三、機會均等門戶開放主義により內外人を平等たらしむること

四、法權は特殊の辨法を講じ外人に對する裁判を公正ならしむること

五、既存條約は絕對に之を尊重せしむること

六、幣制の確立と金融の暢達を期すること

七、關稅制度を改善すること

八、資源の開發と基礎工業を促進すること

九、四頭政治の積弊を打開し統制あらしむること

一〇、本邦金融機關の整備統制を圖り金利を低下せしむること

一一、滿鐵の運賃炭價を引下げしむること

投書歡迎　中傷はさらす　五十行以內

錯覺

凡太郎

◇「滿鐵消費組合」と「國策」とを一緒にして考へるのは錯覺である、滿鐵社員を「溫室育ち」だと言ふが「國策」の名に於て此の「溫室育ち」に寄生せんとする人々は之を何と稱するか？

◇從來の例に見るも滿鐵は諸君の爲に一見其の社員を犧牲にする事なしに可成りの援助をしてゐる、所が其の金たるや投資者及び社員の働いて得たものであり從つて間接には諸君の一部を援助した事になつてゐるのである、だが、此處には事新らしく之を論じて諸君の感慨を責め樣としてゐるのでない

◇現在でも滿鐵社員は其の必要品の一部を市中の商人より購つてゐる、また組合は外國品のみを賣つてゐるのではない、假に組合を諸君の言ふが如く、國策の名に於て、勇ましくも「打倒」し、滿鐵社員の細首を犧牲にして「大日本民族萬歲」を叫んで見ても果して幾程の在滿邦商がその爲に發展し得るであらうか國策は小さな煙火ではない

◇對策は諸君自らの問題である、余は曾て本欄にて「大連商人」の膝下に諸君が恰も國の依賴により滿洲に來れるが如く考ふる事の誤を說いたが、之が第一の錯覺である、而して此の錯覺を以て專ら公共機關の援助のみを求め、自分は華商に對抗し兼ねるものあるをも省みずして、同胞を罵り「打倒」を其の同胞の頭上に加へんとす、何が「國策」であるか何が「民族發展」であるか？

◇今や滿蒙は新しき形態を取りつゝある、此の際同胞の組織する一組合を對照として之を眼の上の敵の如く排擊し、之に由り吾國策或は民族發展が成し遂げらるゝが如く錯覺して眞の對策を講ぜざるは誠に大なる誤りであり、悲しむべき事である

十河滿鐵理事 昨朝東京發

【東京特電二十六日發】十河理事は今朝九時東京驛發特急にて歸任の途についたが驛頭には田總裁、松本秘書役、高崎鐵道省首腦部、大澤滿鐵支社長、田滿鐵顧問會社事務その他百名の見送りがあり十河理事は見違へる元氣さで出發の人とは見えぬ元氣さで出發

滿鐵兩理事 來る廿九日歸任

【東京特電二十五日發】昭和……の佐藤滿鐵理事は昨夜退京、所問題其他の要務を帶びて上途につく筈であるが、曩に滯京中の大森滿鐵理事も二十七日門司から同船する豫定である

大連で不渡手形 濫發甚だし

師走の無理算段が つひに一月に入つて暴露

深刻な不況のために最近に至つて大連で不渡手形の濫發が實に激しくなつて信用取引を阻害することが甚だしい、十二月既に金額一萬百九圓、枚數十三枚、人員九人の不渡を出し各方面を驚かしたが一月に入つて不渡手形は益々頻發し既に十二月以上の件數に上つてゐるが昨年一月の如きは不渡手形は僅か八百三十圓、七枚に過ぎず大體商內閑散なる一月には不渡手形少きを例とするに今春一月の如きは全く未曾有のことである、これは十二月に無理算段して支へてゐたものがつひに破綻を露はしたものとみられてゐる、因に昨年一年中の不渡手形の額は三萬八千七百三十六圓十七錢、枚數百五枚、人員六十人で各月別に擧げれば左の如し

月	人員	枚數	金額
一月	三	七	八三〇、〇〇
二月	五	五	七、〇六八、九三
三月	五	五	三、三五五、五一
四月	四	九	一、八〇〇、六〇
五月	六	二	一、八〇六、〇〇
六月	二	二	一、一一〇、四〇
七月	六	八	三、八〇一、〇〇
八月	七	一〇	三、四〇八、一〇四
九月	二	四	五八八、八〇
十月	六	三	三、三六八、九三
十一月	五	七	三、八六四、九三
十二月	九	一三	一〇、一〇九、〇〇

講演行脚を終へ 笠井重治氏歸る

滿洲問題を全米に說明

【東京特電二十六日發】母校シカゴ大學の招聘をうけ、主として滿洲問題解說のため昨冬渡米した笠井重治氏はシヤアトルにおいて講演行脚中議會解散說に急遽行李を纏めプレシデントエヂソン號に搭乘一昨日歸朝した、曩に南北支那、滿洲を視察し豐富なる新智識を以て渡滿した笠井氏は先づ布哇においてコロンビヤ放送局の希望により全米に對し「滿洲における日本の政策」を主題として三十分間熱烈なる講演をなし多大な感銘を與へた

支那側の惡宣傳により日本の滿蒙政策は悉く誤解されて居たが笠井氏の講演により日清、日露兩戰役後日本が二十億の投資をなし滿洲文化の建設をなし且つ動亂絕え間なき支那本部の戰火よりこれを遠ざけ今日まで平和を維持し來れる實情を述べ今日の支那が米國民の考ふるが如き國でなく一種の軍閥が國際的遊戲を無視し殊に日本に對し思想的經濟的に極端の侮蔑を與へ來れる事實を訴へ今回の事變は全く既得權益を保護する自衛權の發動に外ならず日本が米國干涉國際聯盟の干涉を顧ず斷乎匪賊の討伐を期しつゝあるは（正義が日本の國民と共にある）といふ信念の結果である、日本の滿洲に臨む態度はアメリカのメキシコ及びニカラガ等に臨むよう以上公明正大であると論斷せるに各地の米人は非常に喝采したとのことである

同氏はまた加州大學、商業會議所等にて講演の上ロスアンゼルス、シヤアトルにおける各大學、商工會議所、市長招待會において同樣滿洲問題を講演し多大の感銘を與へたが氏は語る

今度の旅行で愉快に感じたのは日米協會のホウルデン博士、お村博士で有名なスタール氏などが支那側の惡宣傳と戰つてわれくをあちらこちらに紹介し日本の立場を最も公平に知らしむることに努力して吳れたことです、スタール博士から江口副總裁に吳れぐくも宜敷と傳言を賴まれて來ました、私は鄕里山口縣から立候補するため講演を中止して歸つて來たわけです

大連市明年度豫算

銀價昂騰のために幾分增額か

來月中旬市會に提案

大連市役所では目下昭和七年度歲入歲出豫算の審議中であるが格別新らしい事業も見當らない、銀相場の昂騰により金額は六年度の百十四萬圓程度より幾分の增額は免れない模樣である、而して市理事會の審議は本月中に終り二月初旬參事會に附議し同月中旬頃市會に提案の運びとなるが右に就いて小川市長は左の如く語る

現在市として爲さればならぬ事業は澤山ある、市立商工學校、中央卸賣市場の兩改組問題など問題である、私は先づ第一にこの兩問題から解決して行かうと思ふ、從つて七年度豫算には新規事業費を計上しないつもりである焦眉の問題も片づけずに新規事業に手を出してもつまらないし又これからやらうと思ふ仕事は充分調査研究の上着手しても遲くはない、豫算等はまだ審査中ではつきりしないが六年度豫算等に銀相場の昂騰率を加へた位の程度であらう

ハルビン要人 大更迭斷行

舊軍閥退去の外無し

二十六日を以て吉林剿匪軍のため完全に占領されることゝなつて居るハルビンは舊軍閥系統要人の殆ど大半を更迭して空氣の一新を圖るもの、如く、殊に濱綏政府討伐に戰功あつた于深徵剿匪司令の護路軍總司令拔擢を筆頭として

ハルビン無電局長に前吉林無電局長馬樹棠、ハルビン市公安局長に元公安局長湯武涉、ハルビン電業公司總辦に吉林長官公署金世榮、ハルビン縣支合辦煤鑛公司督辦に吉林實業廳馬德恩、ハルビン電話電報局長に吉林電話局長高文垣、ハルビン松花江下游水上公安局長に劉寶源、濱江縣公安局長に王嘉毅、双城縣長に前全省警官學校教育長魏鐵華、扶餘縣長に陳之瑛

等をそれぐく就任せしめた、而してハルビン占領を前にして獵官運動は頻りに行はれて居るが、北滿一帶にかけて舊軍閥は一掃され、閉塞された彼等は結局滿蒙から退去の外あるまい【長春電話】

國粹運動に 相當注目

大谷段氏顧問談

段祺瑞氏顧問大谷武氏は二十五日出帆天潮丸にて天津に向つたが語る

大分天津方面に御無沙汰してゐるから今のところ時局がどう動いてゐるかはハツキリしない、安福系が動いてゐるのは事實だしかし自分の意見としては三民主義に對抗する樣な大義名分の判然としたものが出なければいけないと思ふ、その意味でファツシヨ的な運動を續けてゐる國家主義青年黨の連中の動きは相當注目しても好いと思ふ

十河理事 健康恢復

昨日東京發歸任

【東京特電二十五日發】曩に熱海溫泉、伊豆地方にて靜養中の十河滿鐵理事はやうやく健康を恢復し一昨日歸京、帝大病院にて診斷を受けたる結果「いくら活動しても健康に差支なし」と折紙をつけられ今日內田總裁と事務の打合を爲し、明朝九時東京驛發特急にて出發、大阪にて社用をはたし飛行機にて歸連することゝなつた、十河理事ははちきれるやうな元氣で語る

自分は一日も早く歸任して働くつもりであつたが、主治醫に制止されて今日まで靜養してゐた內田總裁も徹底的に治さればいかぬといつてくれたし在滿同志からも度々見舞狀を頂いて非常に喜ばしく感じた、お蔭樣でこのやうに元氣に恢復したから安心して貰ひたい、ちよつと大阪で用務を濟まして飛行機で……つもりである

內田滿鐵總裁 新聞記者招待

【東京特電二十六日發】內田總裁は今日正午東京各新聞通信經濟部記者、滿鮮記者を以てせる拓殖經濟記者俱樂部員を……

平津は重要土地

覺悟を決めて行く

菊池北支駐屯軍參謀長談

北支那駐屯軍においては新たに大佐級の參謀長を置く事になつたがこれが適任者として陸軍省切つての支那通菊池門也砲兵大佐が選ばれたは既報の如くだが、同大佐は砲兵少佐影佐禎昭氏と共々朝鮮經由來滿し奉天において本庄軍司令官等と協議を遂げ二十四日來連一泊の上二十五日午後出帆の天潮丸にて赴任の途についた、出帆にさきだち菊池新參謀長は語る

別に抱負なんて述べるわけではないが、相當重要な土地だけにある程度の覺悟を決めて行く、天津には三年前に北支那駐屯軍附として居つたことがあるから全く未知の土地に行くのぢやないだけにある懷しさを感ずる、上海方面も大分惡化したらしいれ、その餘波が又平津方面にも響いてくるんぢやないだらうかまあ一日も早く任に就くつもりで、奉天では本庄軍司令官その他要路の人達と會つて色々打合せをして來た

ランプソン氏 二十八日來連

駐支英國公使ランプソン氏は今回本國よりの命に接し任を辭し歸國する事になつたが廿八日入港天潮丸にて來連シベリヤ鐵道經由歸任するさ

東支留換算率

東支鐵道にては來る二月一日より留換算率を左の如く改正實施することゝなつた、現在の換算率は百留對百十三圓である

留百圓＝金百十八圓八十錢

產業視察團

來月上旬來滿

【東京二十五日發】日本商工會議所は滿蒙視察團募集に決定した、來る二月十日頃出發大連に上陸奉天を中心に約三週間の豫定で視察する筈

『滿洲と日本』記念 楢橋氏はその近著「滿洲と日本」……

古賀聯隊奮戰秘話

騎兵將校の步兵指揮、橘中佐に似た最後、蜂巢狀の創、軍旗の守護

特科隊性能の最高潮

關東軍第四課臼井少佐の手によつて戰史の卷頭を飾るべく資料蒐集中の古賀聯隊の壯絕無比な最後は「騎兵部隊の特科隊としての使命は歐洲大戰を境界に既に終つた、科學兵器の尖銳化した今日騎兵部隊は步兵部隊の領域に進出するか或は漸次その使命を終末期に導くかの二途だ」犀利な用兵家から悲觀的に見られてゐたその性能についての疑惑を美ン事一蹴して、華やかにも赤果敢無比な銀鞍上の武士の雄々しさを百パーセントに發揮し天晴れ騎士道の最後をあらはして「騎兵特科隊の眞面目は後世と雖もこれ程に發揮は出來まい」と用兵史家の再認識を促した程の活躍ぶりだつたが、その最後に絡る叫血裂膽のエピソード

▽──△

僅かに騎兵二ケ小隊と機關銃一ケ小隊、それに步兵の一ケ小隊をもつて唯一の戰鬪力ある部隊として錦西から約一里の西方上坡子の匪賊掃蕩を開始した古賀聯隊は、日の午前九時ごろ既に腹背四路、數千の賊匪に包圍された形勢だつた、進まんか全滅は必然、退かんか赫々たる騎兵部隊の面目を泥土に委するのみ、錦西城內に安置された軍旗をふし拜み双眼鏡裡に敵を睨んだ古賀聯隊長の肚裏にハツキリ刻みつけられた鐵の斷案「そびらを持たぬ騎兵隊の名譽のために！全滅を期しての突擊だ」かくて全滅による死の光榮を得て騎兵部隊の威信は揚がつたのだ。

▽──△

古賀聯隊の主力既に傷き龍王廟に向つた步兵小隊の石野中尉を失ひ蕩に古賀聯隊長の命を受けた丸山通信係中尉は、決然單騎を以て急角度の龍王廟を差して襲擊！そして石野中尉の遺骸に瞑目するや、敵匪に應戰する步兵部隊に大聲叱咤した「俺は騎兵隊の丸山中尉だ、石野小隊長に代つて只今からお前達を指揮するぞ」果然四挺の機關銃は猛然火を吐き銃身の燒けるところ血彈飛雨の如く敵を潰走せしめ、遂に血路を開いて軍旗守護の任務につくことが出來た特科隊の一中尉が步兵部隊を指揮號令してよく危急に應じた步、騎兩隊員の心身同體の前例は蓋し稀有のことであつた。

▽──△

賊匪に占據せられた錦西城壁の櫓下を去る三十米の地點に馬を止めた古賀聯隊長、飛彈一發右手の刀ふりかぶつた右手の付根から……腹へ拔けた「アノ櫓上の敵をしろ！天皇陛下萬歲」米井……

……る敵兵十數名を片つ端から薙倒す、敗殘兵遂に窮して櫓上から野口中尉めがけて一齊射擊し、野口中尉は頭部始め蜂巢狀の銃火を浴び戰死した。

▽──△

「軍旗を護れ」丸山騎兵中尉は步兵部隊を指揮して一路西門櫓下に馳せつけた、櫓下の敵を一刀に斬下げんとしたが、右手が痺れて刀をポトリと落して、アナヤと思ふ間もなく中尉は左手の步兵のポケットを探り手榴彈を摑み出すよと見る間に、一閃賊を木ツ葉みぢんに粉碎し、左手に軍刀を拾つて閃光縱橫敵匪をなぎ倒し……て右手を調べたところ振り上げた軍刀をかすめて賊彈の一發がその付根から入り旋回して手口に止まつてゐた（奉天支社森……）

小觀

……曾て政界革新の旗幟を揭げて業界から政界に打つて出た武藤山治氏▲こんどは何を思つたか會長自ら立候補を斷念し、それに從ふ國民同志會の面々また立候補を斷念するとあり▲それで政治道樂を念ひ切つたかと思へばさにあらず、これから本腰になつて政治教育に專念するといひ▲當選三回、代議士生活八年の武藤會長、この期に及んで宣言すらく「吾等の理想とする政界革新の實は愈々これからだ」と熱を揚ぐ▲政治家に代議士の「肩書」それは代議政治時代の今日死から彼の力士における「髷」の存在に等し▲その力士すらが相撲界革新の道程として既に「髷」を捨てた今日、政治家また政界革新の道程として「肩書」を捨てるなんの躊躇あらんや、さいふわけにはいかない……

市況

株式

奧地市況

後場

錢鈔

特產

商品

市場電報

現物後場

羽が生えて賣れる 時局關係の小冊子
見向きもされぬ小説や單行本 反面に斯んな現象

滿蒙問題、金輸出再禁止、議會解散、來るべき總選擧等々……内外共に多事多難なこのごろの世相が大連讀書人の頭にどうひゞいてゐるだらう?と一日記者は市中の本屋さんをのぞいて見ました

例年なら 冬が一番の讀書シーズンで單行本や小説がとぶやうに賣れるんですが、今年は時局に關係のあるものを除いてはからきしだめですね、あの菊池さんが力瘤を入れて書いた小説でさへほとんど見向く人もないのですからね、だが時局柄滿蒙問題や兵事に關するものは目ざましい賣行きで、評判のよいのになると仕入れても仕入れても追付かない位——さう千部や千五百位ぢやありませんでした

何がって ?一番賣れたのは上田恭輔氏の「滿蒙の善後策を日華兩民に語る」(定價一圓卅錢)と大谷光瑞さんの「支那事變と國民の覺悟」(定價三十錢)でせうか大谷さんのはパンフレットでやすいからでもあつたでせうが上田さんのは實によく出ましたれやつぱり滿鐵の生字引とまでいはれた程の人ですから信用があるんでせうね、その他松岡洋右氏の「動く滿蒙」「東亞全局の動搖」長野朗著「滿蒙併呑か獨立か」後藤朝太郎著「時局を繞らす支那の民情」板垣守正平野健共著「對支問題總決算」などどれも相當な賣行です が値段がやすくて簡單に要領が摑める所からどうしても單行本よりパンフレットの方がよく出ます

この時局 にならつてのパンフレットや單行本は内地では雨後の筍のやうに澤山出てるやうですが、現地にすんで實際に可なり深い認識を持つてゐる大連の人たちにはよほどしつかりしたのでないと見向きもされません軍事思想の反映と見えるのは平田晋策「陸軍讀本」と「最新武揚軍歌」の素晴らしい賣行きで軍歌は特に中學生や女學生にうれるやうです

地圖も俄に需要が殖えました、滿鐵調査課で調査した「滿蒙地圖」はよいにはよいのですが一圓ですからこのごろ

關東廳で 調査した「滿蒙新選地圖」(五十錢)に壓されるやうです、内地でも時局をあてこんだいろんな地圖が來ますがやはりこちらのにはかなわないし、全く賣れません、これ等の購讀者は主として滿鐵社員や銀行員、會社員などご相當インテリ階級で、其他の一般の人や婦人方にはあまり好まれないやうですしかし事變以來雜誌といふ雜誌が時局問題をのせてゐますし雜誌を讀めば大體のことはわかるやうになつてゐるため雜誌の需要が大變殖えました、又時局寫眞帖のやうなのも

一般受け がよく、滿洲日報社が支那側の逆宣傳を集めた「排日ポスター寫眞帖」(三十五錢)もちよつとの間に五六百部を賣りつくした有樣でした、金輸出禁止に關する著書も二三種來ましたが直ぐ賣切れたやうでこの方面の要求も相當あるものと思はれます、何しろ本がこちらに入るまでに相當日數がかゝりますので皆さんの讀書慾を充分滿たすことの出來ぬのが遺憾です、追つつけ

總選擧も あることですしこの方面の圖書も相當入つて來ることゝ思ひますが際物ですから或は案外一時受がするかもしれません、……最近の一傾向として若い人達に社交ダンスの本がよく出ることと、子供に漫畫が歡迎されることで、共に時代の一面をうかがふ事が出來るやうに思ひます

めつきり増えた 女給志願者
彼女らの懐中に響く このごろの不景氣風

大連警察署で取締つてゐるカフエーの女給、飲食店、料理屋、茶屋貸座敷の仲居、或は宿屋の女中さては最近許されたダンサー等々……各職業婦人の動きを大連署の保安係で調べて見ました、先づ大連署管内で公式に許可されたものは女給を筆頭に四百二十九人、飲食店百五十人、料理店、茶屋、貸座敷の仲居三百三十人、宿屋の女中八十人で凡そ千人の職業婦人が大連で働いてゐるわけです

彼女らの收入?

商人間を吹きまくる不景氣風!さてはサラリーマンの減俸!は間接に彼女らの懐中にも冷たくひゞいて最近の彼女らの收入はカフエーに働く人氣百パーセントの女給で百二、三十圓が最高、七、八十圓が普通で最低三、四十圓位だといふんです、がしかし彼女らは收入の多少に關せず衣裳、裝飾品などはこの中より購入いたしますから結局純收入はほんの僅になるわけです、料理屋、飲食店の仲居は女給收入に比しますとずつと落ちて四、五十圓が最高で、最低十四、五圓見當となつてゐます、次にポンペイあたりにゐる

外人ダンサー で三、四十圓の收入となつて居ります、右に藤井保安主任は斯う語つてゐます

めつきり増えて來たのは女給志願者です、女給志願者中にも近頃では女學校卒業生も混じつてゐますが大體は高等小學校、尋常卒業が主で數字の讀めぬといふ無學の者は古い仲居位のものです、彼女らの大多數は獨身者ですが中には有夫の婦もあります、女給を志願して來る女性が多くなつた今日では誰もを許すといふわけに行きませんから先づ身元調査を行つた上で素行の惡いもの、或は疑はしいものには絶體許可せぬ事になつて居ります、彼女らの女給を目差す原因を調べて見ますに貧困のため家庭補助の目的で志願するもの、或は

夫の失職のため 明日のパンのために餘儀なく志願するもの、或は不心得にも家を漫然と飛び出して轉々とカフエー、飲食店と鞍替して歩くもの又は自分の道樂で志願するもの淋れ行く花柳界に早く見切りをつけて女給を志願する藝妓或は宿屋の女中など志願する者の種類も色々ありますが、ダンスホールでも許可されたら又ダンサー志願者がうんと増加する事は豫想されてゐます

アサヒノボル (37)

① サル ハ ヨル デ モ メ ガ ミエル ノ デ ヤネ ノ カハラ ヲ ハガシテ ハ ボウズ ノ アタマ ヘ コツーン

② アット イツテ タホレル コンド ハ オツギダ ポーン コツーン アツ ポーン コツーン アツ ト ドンドン

③ ボウズ ガ ヒックリカヘル ネラヒ ノ ウマイ コト ニ ホンノ ヘイタイサン イジヤウ アア ユクワイ ユクワイ

④ アマリ ミンナ タホレル ノデ トシトツタ ボウズ ガ タイヘン ダ テン カラ イシ ガ フル ノ ハ オカシイゾ

ショップガール 志望が増えた
就職難も知らぬ態の 大連女子商業卒業生

適れ 職業婦人戰線の闘士として今春三月大連女子商業學校を巣立つ六十四名の生徒たちの就職口は?と樋口校長にお伺ひを立てました

「こちらはお陰様で例年引つ張り凧で昨年も全部卒業前に就職口がきまりました、今年ももう二十五六名は確定したやうです

六十四名の卒業生のうち自宅で職業の手傳ひをするものが二名病氣で暫く靜養するのが一名、女學校へ轉校して高等師範に進むのが一名居ますから、就職希望者は

全部 で六十名になるわけです、自家營業にわたるやうですがこの學校に入學する生徒は最初から職業婦人としての教育を授かるために來るのですから、その職業に對する意識と熱意とは到底女學校の生徒たちと比較になりません、ここに職業一般、算盤、タイプライター、簿記などは三年間みつしり勉強してゐますからタイピストとしても事務員としても或は職店員としても充分な自信を持つてゐる者ばかりです。先年までは大てい銀行や會社などを望んでゐましたが、近年はしつかりした職店のショップガールを志望するものが著るしく殖えて來ました、生徒の

家庭 から見ましても概して女學校の人たちより生活程度が低いため却つて仕事には熱心で「すなほでよく働いて重寶だ」と雇主の間にも好評を頂いてゐるらしく自然就職難の聲も知らずにすむわけです、待遇にしましても昨年卒業生は最低三十四五圓から四十圓前後で平均三十七八圓の月收になつてゐました、本年は多少わるいかもしれませんが既にきまりましたので三十圓といふやうなのは殆どなく

平均 三十五圓位にはなるだらうと見て居ります、大學等と違ひましてたゞ成績がよいからとてよい就職口があるといふわけでもなく、先方の條件と生徒の希望とが一致すれば假令學科の成績はあまりよくなくとも早く纏まります、雇主の條件といつてもいろいろあります、タイプのうまいもの、字のきれいなもの、おとなしいもの、テキパキする者など多種多様な注文があります。中でも

愛嬌 のよい少くとも感じの惡くない者といふのはほとんど全體を通じての注文で、從つてあまりむつつりした感じのよくないのは後まはしになる傾きがあります、一番困るのは「なるべく家庭の困らない順調に育つた者を」との註文ですが、學校側の希望としては家の貧しい複雜な事情のある者から先にきめてやりたいものですから自然この間に不自を來すわけです中には生徒自身で運動して就職するのもありますし個人的關係から雇はれて行くのもありますが、過去の經驗に照して見ますと、矢張り

雇主 の方から直接學校宛に申込みがあり、學校でその希望條件に從つて推薦したものゝ方が就職後の成績がよいやうです。學校では適所適材主義で極力生徒の仕合せと雇主の便宜を計つて居りますが、案ずるよりも産むがやすく今年も卒業までには全部それぞれ落つくことゝ先づ樂觀してゐます

滿日各地版

地主との關係改善 不當課稅撤廢要請
二十五日から奉天で開かれた 朝鮮人民會で討議

【奉天】在滿百萬の同胞保護と救濟のため全滿朝鮮人民會聯合大會の第一日は廿五日午前十時から奉天居留民會樓上に於て開催、出席者は

奉天、安東、撫順、鞍山、營口、鐵嶺、開原、鄭家屯、四平街、公主嶺、長春、吉林、哈爾濱、齊々哈爾、陶鹿、海龍、西安、一面坡

の各代表廿五名に達し野口民會長議長席に着き開會を宣し事務報告後民會管內の狀況報告あり各地持寄りの議案整理の討議に入つたが大體に於て奉天案に準じ各地方案は之に包含することになり午後五時半終了したが既報の五議案の外追加議案として左の如く決定し討議することになつた

▲第六號議案(奉天追加案)
一、鮮農と支那人地主との關係改善に關し要請の件
從來支那人地主等の鮮農に對する態度甚だ面白からざるものあり殊に滿洲事變勃發後は鮮農に對し借租地融資等を殊更らに拒絕せんとするの風あり右は滿洲に於て朝鮮人が水田を開發せし歷史に悖り著しく鮮農の生活を脅威するの恐れあるを以て此際速かに東四省の政府及び實業廳より將來右樣の事なく從來の通り借家租地融資は勿論從來よりも一層親善關係を結ぶ樣適切に要請すること

なるを告示を發し地方官をして是を一般民衆に公示せしめ更らに其の實行は各縣自治指導員等監察機關をして監視せしむる樣軍部に請願すること

▲第七號議案(奉天提出)
一、不當課稅撤廢要請の件
從來支那地方官は自國人民に曾て課せざる不當の苛稅を鮮農に課せる實例甚だ多かりしが將來は鮮農に對する斯る不當課稅は一切撤廢することを東北省の政府をして地方官に訓令せしむる樣軍部に請願すること

▲第八號議案(奉天追加案)
一、民會增設の件
此度避難鮮人集合に依りて其の分布の情勢を察し此の際至急開原、公主嶺、洮南、淸源、通遼の五ケ所に民會を增設し該方面における鮮農の發展を圖ること

▲第九號議案
一、警察署出張增設要請の件
鮮人集團部落に我が警察官署增設の件は客年十月二十日我全滿朝鮮人民會聯合會の決議に依り既に當局に請願せるところなるが吉林總領事館に於ては一月一日より敦化に又た一月九日より蛟河にそれ〲警察官署の派出所を設立せられたる事は誠に我が鮮人の該地方に散在し居るものにとりては保安上仕合せの次第なるが此の際民會增設地たる洮南、淸源、通遼等其の他必要の個所に警察官署の急設を當局に要請すること

少し改善したら 二千噸は出やう
西安炭坑の視察から歸つて 坂口課長一行語る

【撫順】撫順炭礦坂口採炭課長、佐藤文書係主任一行四名の時局後援會西安炭坑派遣員慰問使は瀋安二泊二十五日朝無事歸撫したが同氏の土產談に曰く

西安炭坑は瀋海線海龍驛の一驛手前梅花口驛より乘換へて二時間撫順から八時間で着くが、西安市街は人口約四萬炭坑もだが特產の集散地で却々立派な賑やかな町でした、炭坑はこの町から更にハンドカーで約三十分も行つたところで

斜坑と 露天掘採炭で現在一日約五百噸の出炭を見てゐるが埋藏量も炭質も相當なもので規模や技術を今少し改善すれば精々二千噸位迄の出炭が出來やう前大山坑內主任の安田君外十名の諸君は夫々專門の部署を引受けて指導改善に努力してゐるから追ひ〳〵と成績を擧げるでせう、西安炭は瀋海列車の燃料と兵工廠其他奉天に出廻つてゐたが今は北方にも相當送られてゐる、年產六、七十萬噸も出ることになれば撫順炭にも相當影響しはしないかつて、そんなにも出まいが滿洲のインダストリーが今後益々勃興隆盛に

赴けば 撫順への影響どころか頗る結構なことで我々は今後は內地炭でも滿洲に輸入されるやう滿洲工業の發展を切望してゐる、尚瀋海線は少し地盤が惡いので動搖するが、列車は滿員の盛況でまた沿線の淸源、山城鎭、磐盤等の諸驛には特產物の出廻り多く匪賊橫行の時代ですらあれくらゐだから平時はもつと〳〵盛んなるべく缺損ばかりの支那鐵道中瀋海線ばかりは利益を擧げてゐたのも尤もだと思つた

病死體を捨てゝ 家族は逃亡
吉敦沿線の奇病地を 調査中の一行歸る

【長春】吉敦線小姑家驛北方部落に於けるペスト樣の傳染病調査隊は二十五日歸長したが一行中の長春警察署衛生係村谷警部補は語る

調査隊の一行は原野關東軍一等軍醫、倉內、小橋滿鐵細菌檢查所員、中村吉林公所員、本田吉林領事館警察署員ほか二名、徐吉長鐵路醫師、壽吉林長官公署醫師に護衛として本間中尉指揮の軍隊十六名、吉林公安局巡警五名と僕まで三十名の

大掛り であつたが吉林から臨時列車を仕立て二十四日午前七時小姑家驛着九臺の橇を雇つて分乘、現地に向つたけれど積雪深く往復とも非常な行路難であつた、病源地は小姑家驛北方邦里一里半餘の北村から塘泥河子、太平溝の一帶で、太平溝では一行が到着後に五歲になる女兒が一名死亡した爲めその血液を採集し得たのは思ひ設けぬ幸ひであつた、この女兒は一行が到着した當時は泣いてゐるやうだつたが十五六分で死んだらしい、尚ほ研究

材料と しては土葬されてゐた二十一歲になる女の死體を掘りカチカチに凍結してゐるためこれを鑿で叩きくづし肝臟と脾臟その他を採集した、附近では病死を秘し一行の訪問を極度に恐れたが同病氣のため一家全滅したものが三戶、病死體を捨てゝ生き殘つた家族の逃走したものが三戶あり、太平溝は五十戶二百名餘の現在數だが病死者を出さぬ家は殆んどなき慘狀である、北村、塘泥河子方面の死者も相當あるが彼等は極秘にしてゐる關係上完全なる調査は不可能である、病名は前記材料により

研究後 でなければ不明なるもペストでなく何等かの奇病ではないかとも云はれてゐる、尚ほ吉林小白山(省城東方五里餘)にも數日前三十名餘が死亡した事實が昨日に至り判明したがこれも太平溝一帶の病系と同一でないかと見られてゐる

遼陽の盛宴 第二師團慰勞會
廿五日公會堂で開催

【遼陽】遼陽時局委員會主催で第二師團司令部第十五旅團司令部步兵第十六聯隊並に遼陽で待機中の駐兵第二聯隊工兵第二大隊の准士官以上を廿五日午後四時から公會堂に招待したが主客共に約三百名の多數に及び定刻一同着席關屋委員長主催者として第二師團の功績をたゝへ尚今後を囑望したのに對し多門第二師團長は左の挨拶を述べた次で山崎領事の發聲で第二師團の萬歲を三唱し閉宴遼陽紅卍連の斡旋時局委員會幹部の努力で頗る盛會裡に午後六時半過ぎ散會した多門師團長の挨拶左の如し

事變突發以來各地に轉戰したが其の都度在住民各位から多大の後援を得た事を感謝するが幸ひに其の間大なる損害もなかつたのである併しながら一月廿日現在に依れば關東軍の死傷者全部は九百一名で內第二師團は三百六十五名であつて全死傷者の半數近くを占めてゐる、此の外凍傷者約四百名あつて合計八百名近くの負傷者を出したといふ事は幹部の統率宜しきを得なかつたといふ事になりまして甚だざんきに堪へない次第であります

然るにも拘らず此の程來この種の宴を催したいからと再三御話がありましたが、兵卒の行動間に於ては將士のみが御受けをする事は御厚意は御厚意として受けらるべきものでないと云ふ考へから御斷りして居たのでありましたが大なる戰鬪も稍一段落を告げた樣に感ぜらるゝので此機會に於て在住者各位折角の御厚意を一度御受けしたいと云ふ事で罷出ました處斯くも多數御出席の上御盛宴を御張り下さつた事は感謝の外ありません、また昨日迄三日間に亘つて下士官も遼陽座で御慰安下さつた事に就て皆は非常に喜んで居りました茲に私から更めて諸君に厚く御禮申上げます

◇

師團の匪賊討伐に對する警備の範圍は實に擴大なものであつて日本の本土と同面積の地域であるのに對して從事して居るのである從つて部下は奔命に勞れて居ると云ふ次第である現在部下は遼中縣其他の方面に出動して居るのであるが從つて今後も亦度々出動するのであるから今後共在住民各位の多大なる御聲援と御後援を願ひ度いと思ひます(以下略)

職員等總出動し 流感豫防に奔走
大石橋小學校の活動

【大石橋】大石橋小學校に於ては各學級受持職員及衛生婦總出動にて各々自己擔任學級の家庭を戶別訪問し流感罹病者には校醫の調劑せる感冒藥を與へ病勢の重態なる者ある場合は滿鐵病院に診察方を注意し大事に至らざる前の處置を採り扁桃腺疾病患者にはルゴールを塗布し食鹽水含嗽及びマスクの使用を勵行せしむる方法に依り豫防警戒上の注意を與ふる等實に目覺ましくも晝夜兼行の活動を續けて居る、保護者父兄等は此の有難き御處置に感泣してゐる

海城縣村長會議
孫委員長より訓示

【大石橋】海城縣に於ては去廿二日午後一時より城內縣務會會議室に於て孫委員長以下財務教育處長其他各執行委員第一二三四八九十の各村長七十八名列席の上村長會議を開催し同四時二十分散會したるが孫委員長の訓示事項左の如し

一、昨年九月事件發生以來各地に匪賊橫行し各村長は委員長に代り種々盡力せられたる事は余の非常に感謝する處なるが只遺憾とする所は匪賊等の來村を知るや村長以下村民はこれに對抗せざるのみか却つて家畜を殺しこれを歡待し或は遠く迄歡迎に行くが如きは非理も亦甚だしいと謂ふべきである故に彼等の來村重ぬるに從つて所持金を失ふに至つた今後は各村協力一致し匪賊の侵入を防止せざるべからず殊に鐵道以東は未だ匪患なく以西に於ても未だ蹂躪せられざるものありと雖も各村は防備の萬全を期せねばならぬ

二、我が中國人は利己主義にして他を顧ず只管蓄財にのみ汲々として慈善心無く他人を欺瞞せんとするは實に憎むべき事である尚ほ事件發生以來匪賊の橫暴に人民は塗炭の苦しみを續け居るの秋舊習を改めず此の機會に前敵を報復せんとして捏造も甚だしき投書を郵送するものあるを遺憾とす今後被投書者の調査を嚴にすると共に發信者を調査し若し事實無根たること判明せるときは發信者を逮捕の上卽時死刑に處し以つて將來の戒となす

三、舊慣習を改め新時代に適する慣習に改むるには各村長は村務に對し眞面目ならざるべからず從來の如き曖昧なる行爲を爲すことなく本會より地方に調査員を派するが如き場合も從來の如く優遇するの必要なし調査員には相當の旅費を支給してある

四、各地農民等疲弊せるを以つて其の負擔を輕減すべく地租稅を半減す

五、打倒軍閥以つて民衆の幸福を圖る昨年九月事件發以來既に四個月を經過して居るが今次事變は張學良等東北軍閥の中村大尉謀殺事件及び我南滿洲鐵道破壞事件にその因を發し進展したるものにして思ふに張父子は在奉三十餘年其の間內亂終熄する事なく所謂自己權力の擁護及び地盤擴張の目的をもつて東北三千萬民衆膏血を絞り苛斂誅求の止むところなしは終日淫蕩に耽り東北の四省を累卵危きに置きながら更らに顧る處なかつたが今回の時局にて之れを除きたるを得たるは東北民衆の幸福に非ずして何ぞや今後各位は安心して生業に就くべきである

特產物輸送中 賊に襲はる

【撫順】撫順華工街派出所西原巡査は廿四日午後二時四十分頃管外機械工場北方渾河北岸に於て驛下小用屯農業黃慶之(二)外三名が撫順新驛へ特產物を運搬中拳銃所持二名組強盜に襲はれ所持金十九元五十錢を強奪された旨報告を受けたので直に本署と連絡捜査したるところ同四時頃に至り賊の足跡に依つて渾河北岸の柳林間前方約二千米附近を步行中の賊影を發見直に追跡したが賊は約五百米に接近したる頃之を感知し拳銃を發射しつゝ瀋海線を越えて城西方面に逃走を企てたので交戰しつゝ更に追跡したが薄暮となり遂に賊影を失ひ逮捕に至らなかつたと

板津守備大隊 匪賊と交戰
高家堡子の匪賊掃蕩

【安東】去る二十日深更安奉線石橋子驛附近に於て列車を襲擊したる敵匪集團討伐のため獨立守備○○大隊長板津中佐は自ら部下の精銳三百餘名を率ゐて出動、二十四日午前二時三十分大嶺子を發し零下二十餘度の酷寒を冒し峻嶮なる山地を突破して拂曉高家堡子に達し賊團と衝突激戰の後之を潰走せしめ引續き奚家堡子附近に追擊中であるが敵は多大の損害を受け四散した模樣である

三名組の匪賊

【長春】長春驛金錢堡(長春北方八支里)農杜鳴岐(三七)は二十五日午前七時頃正月用買物のため長春へ來る途中自宅を出て七支里餘を行つた際三名組の匪賊に襲はれ所持の吉林官帖七百帖を強奪されたが賊は杜の左手に一發貫通銃創を負はせ逃走した

法庫門に自治制
各界代表會議の結果 新政權治下に入る

【鐵嶺】田所守備大隊の入城によつて法庫門の治安維持は完全にされ橘澤大隊は市街警備に任じ田所大隊主力は二十四日より各地に出動兵匪の討伐に全力を盡しつゝあるが法庫門各界代表者は皇軍の駐屯期間內に東北軍閥と完全に關係を斷ち純然たる自治制を布き以て東北新政權の治下に安住せんと希望し二十四日午前十時より代表者會議を開催滿場一致を以て自治制實施に贊成し午後二時より委員詮衡の結果左記十氏が暫定的委員として自治機關の組織に着手した

元縣政府第一科長張樂山、教育局長陳文波、第三小學校長張孟俠、地方有力者任玉堂、農務會長關雲閣、縣政府第二科長韓銳五、財政局長王宋周、基督教青年會幹事李萬年、商務會長梁星任、商務會幹事梁煥一

掠奪した娘と 天下好の結婚
韓臺山で披露宴

【遼陽】頭目天下好は去る十五六日頃沙河西南方七十支里の蘇麻堡部落を襲擊し同村李某一家を悉く人質に拉去し其の娘と二十五日結婚式を擧行することになり頭目李芳林の部下約六百名を之が披露宴に招待したといふので招かれた匪賊は沙河驛西南方四十支里の韓山臺部落に參集しつゝありと之を傳聞した頭目要的好も祝儀として白米二石と豚二頭を贈つたと

邢占淸部出動

【長春】獨立步兵第二十六旅長邢占淸の部下五百名は張作舟軍の敗走兵武裝解除のため廿六日三家子地方に出動の豫定といふが同地方一帶は一千名餘の敗走兵散在し居り人心極度に不安に陷つてゐると

公安局長 王景全歸順

【鐵嶺】我軍法庫門入城に先だち部下二百餘名を率ゐて法庫門を脫出せる縣公安局長王景全は大勢斯の如く新政權の樹立は確定的となり到底抗し得べからざるを悟り二十四日遁走先より田所中佐にあて我軍並に新政權に對し絕對服從忠誠を盡すべく誓ひ歸順を嘆願し來れるが田所中佐は民意を尊重し歸順せしむることの可否を各界代表者に諮問せしところ何れも歸順せしめられたき旨希望せるを以て廿五日午前十時を期し公安隊は全部城內に集合し自ら武裝を解除し銃器彈藥は全部提供せしむることを條件として歸順を許すことになつた、但し王局長は濃厚なる排日人物で昨年十月熱河騎兵旅長より入法就任したる者であり從來排日思想烈しく殊に着任以來未だ三ケ月に滿たざるうち既に民衆より一萬數千元を搾取せる人物なる間にも信望薄く今後とも其行動には充分なる警戒を要するであらう

三勝歸順に 良民不滿

【遼陽】頭目三勝が歸順して奉天及遼陽の軍部に出頭せる風說に對し縣城良民の感想を綜合するに三勝の歸順は劉二堡の有力者紳及邦人某の運動功を奏したるものならんも三勝の如き遼陽縣の內外に於て多年匪賊を働き良民を苦めたる者を歸順せしめたる眞意が了解せざる一般は寧ろ驚異の念に驅られ種々取沙汰あるも結局何れも不滿の聲を漏らして居る

杉山曹長の 慰靈祭
安東にて執行

【安東】去る一月十八日湯山城に於て徐文海一派の匪賊と衝突し多大の損害を與へながら咽喉部に貫通銃創を受けて遂に護國の鬼となつた安東守備隊の步兵曹長故杉山英氏の慰靈祭は廿四日午後二時より安東公會堂に於て嚴肅に行はれた、此の日祭場に當てられたる同公會堂には定刻前より各團體及領事以下安東官民一般又遠くは高麗門、鷄冠山等の沿線各地よりの來會者が所狹い迄に並べられた各方面寄贈の花環の中に整然と着席、既に祭壇中央に飾られてある同曹長生前の寫眞は白なる布に蔽はれて收められ之に相對して今更の如く滿場の人に安東人としての深い感銘に打たれてゐた、式は定刻佛僧の讀經に依つて始められやがて肅條たる一別の喇叭の音が故人の部下より成る一隊の儀仗兵の捧げ銃の中に低くく吹奏されて人々の襟を正しく續いて藏重守備隊長以下同守備隊關係、又市民側よりは米澤領事以下各官衙代表、各團體代表等十數名の弔辭あり尚弔電に移れば本庄司令官、多門師團長、內田滿鐵總裁、山岡關東長官等名氏の弔電は次々に永遠さを如實に語るかの如くであつた

大石橋の同胞達 水田經營の計畫
蓋平縣下に好適地

【大石橋】當地在留朝鮮人等の當地警察署管內居住者を一丸とする朝鮮人會設立計畫に關しては既に本紙の報道せる處なるが目下會則の作成を爲しつゝあると共に會事務所として南八條街十二番地の支那家屋を借り上げこれを改修する等着々準備を急ぎつゝあるが一方發起人具泰仁外北龍外二名は附屬地外に於ける水田經營計畫を爲し先づ其の第一步として同地附近の調査を爲したる處大石橋東南約二十八丁を距る蓋平縣の江寨寺に現在水田約十天地あり(十年以前鮮人林某の開墾したるものなるも其後支那官憲の壓迫に依り其の權利を放棄し現在に及びたるもの)同所には多數の喫水池ありて之れを灌漑の用に供する時は夏家屯鐵道附近に約百天地の水田を開墾する事を得べく尚前記喫水池を完全なる貯水場となすときは約七百天地の水田を開墾し得べしとて同鮮人等は大いに將來を有望視し目下之れが租契約方法に就き各關係方面と協議奔走中である

沿線往來

▲村上滿鐵々道部長 廿五日連山關へ
▲古川奉天事務所鐵道課長 同上
▲首藤滿鐵理事 廿五日朝來奉
▲佐藤同鐵道部次長 同上
▲松木鞍山署長 廿五日急行で來連

豹變の公安隊

【鐵嶺】康平縣公安隊長は原籍た る熱河省義縣より來れる學良系趙 縣亭の煽動に乘ぜられ去る廿二日 第一、第二、第三中隊の部下全部 二百五十名を率ゐる兵匪に豹變康平 縣城附近及び哈拉沁屯一帶に勢力 を張りつゝあり康平縣長は警備機 關を失ひ且つ日本軍隊の康平進擊 說頻りに傳へらるゝを以てこれが 防禦の爲め蒙古博旅王に駐屯せる 統領の部下蒙古兵七百を臨時康平 に駐屯せしめつゝありと

掃匪遊擊隊

【撫順】奉天自治指導部では這般 來支那人の掃匪遊擊隊を編成すべ く各縣に其募集を命じてゐたので 撫順縣でも二週間前より之が募集 に着手し二十五日一先づ締切つた ところ五十人の募集に對し應募者 は三十六人の少數で之に對し身體 檢查、年齡等を調查したところ其 の大半は不適任者で僅に十六人を 合格者として二十六日奉天に送つ た次第で止むを得ず馬賊團に投ず る者は多くてもイザ命がけの馬賊 討伐軍といつた仕事にはいくら支 那人でも命が惜いと見えて頗る不 成績であつた

梨樹縣下匪賊

【長春】梨樹縣双城子(公主嶺西方二十三支里)居住張海方にては 二十一日午後六時頃頭目大老、狩 真、副頭目助國の率ゆる十二名の 騎馬賊襲擊馬匹四頭、衣類十數點 を強奪西方に向け逃走、頭目五省 の率ゆる十六名の騎馬賊は廿三日 午前三時頃朝陽坡東方大房身(公 主嶺北方三十五支里)王某及び孫 某兩所を襲ひ馬十四頭を強奪逃走 したが十四頭中七頭は途中より脫 走午後三時頃歸宅したと

長春　警察歲末警戒

舊正月も愈々接迫したので長春警 察では來る二十八日より二月五日 まで署內總動員の歲末警戒を實施 することになつた

鐵嶺　日本語の講習

鐵嶺縣自治委員會では日支提攜の 第一急務として支那人に日本語を 普及すべく全力を注ぐ事となり客 月下旬より青年會夜學部をして青 年に日本語を講習せしめ委員會吏 員も二年後には日本語で會話の出 來るやう二年計畫を以て毎日一時 間づゝ日本語を習得しつゝあるが 更に來る四月からは全縣下各學校 の授業科目に日本語の正科を加へ 大いに日本語を普及するると

舊政權の一派

日支事變勃發以來其行動を注視さ れてゐた舊鐵嶺縣政府第一科長尹 世怡、第二科長張彭齡、第三科長 黃縉之、縣長秘書劉天成、書記俞 成新の五名は自治委員會成立後自 由の行動を一切嚴禁されてゐたが 最近に至り何等策動せざること確 實となつた爲め二十四日以後自由 の行動を許され蘇生の思ひに喜ん でゐるが今後も城內に居て新生面 を拓くと

珠算競技出場

廿四日長春商業學校に催された全 滿學生珠算競技會に鐵嶺小學校か らも高二大町、宮下、高一田中、 尋六吉浦、村田、尋五女田中の六 名が參加した

慰問金を寄附

當地大矢組社員坂口龍之助氏岳父 [illegible]

山城子居住の渡邊幸一氏は亡妻の 三周忌に當り時局柄法要を取止め 法要費の豫算金七十圓を軍隊及警 察の慰問に寄附すべく鐵嶺警察署 に二十圓軍隊に五十圓を寄附した

撫順　婦人會創立

撫順聯合婦人會創立總會は三十一 日正午から時局後援會後援の下に 高女講堂に於て開催、左の如き行 事が行はるゝ筈であるが同會は在 撫二十の婦人各團隊が大同團結し た大會だけに當日は定めし盛況を 呈するであらうと

一、撫順聯合婦人會經過報告
一、規約協定
一、來賓演說
一、軍事講演(關東軍司令部矢崎少佐)

新米氷上大會

撫順體育協會では頻りにスケート の大衆化をはかり廿四日は中央リ ンクに於て新米スケート大會を催 して老頭兒、小兒を狩り出したと ころ六十餘名の參加者を見たので 炭礦事務所の宮澤庶務課長、石橋 經理課長を旗頭にして紅白リレー やチエーン競爭スプーン競爭等の 興味本位の競技に二百五十、五百 米競爭等を行つたが面白いことに は九十七對九十七で兩軍同點とな り飽くまで興味をそゝつた

軍事講演會

撫順時局後援會では關東軍司令部 臼田少佐を聘し廿九日公會堂に於 て軍事講演會開催の豫定

遼陽　御神寶御下付

遼陽神社に左記の如く御神寶御下 付の御沙汰あり二十六日午後一時 から社務所で總代會を開き拜受に 付協議したが平井神職と氏子總代 一名出連同地に於て關東廳から交 付を受け一日急行で捧持歸遼する ことになつた

△皇大神宮　革御鞆　一腰
△皇大神宮　御楯　一枚
△皇大神宮別宮瀧原宮　銅黑造御太刀　一柄
△豐受大神宮別宮土宮　御弓　一張
△皇大神宮別宮伊雜宮　御櫛笥　一合

自治委員會

遼陽縣自治執行委員會では二十四 日午前十一時から委員會開催楊委 員長以下委員指導員十名出席左記 事項を協議したと

▲自衞團費を公債募集に依り支辨 する事其の金額四十五萬元で募 集方法は全縣三十萬天地として 一天地一元五角の割で應募せし め十二月から二月迄に募入償還 は民國廿一年十二月から三ケ年 に償還初年無利息二年目は七厘 三年目は一分四厘の割である又 城內商工民に對しても前同樣の 割合で五萬元を應募せしめ自衞 團の被服費、銃器購入費に充當 すと

▲軍用自動車及遞送用自動車各一 輛購入の件以上二項共に可決直 ちに實行すと

署員の慰勞

長山遼陽署長は全署員が昨年九月 事變勃發以來全く文字通り不眠不 休で治安の維持在住民の保護に任 じ今日迄事なきを得たので聊か其 の勞を犒ふ意味に於て二十六、七 兩日の定期召集を利用して構內に 於てジンギスカン鍋を饗應する處 があつた

鞍山　市場會社總會

鞍山市場株式會社第三回の定時總 會は二十五日午後一時より實業協 會堂に於て開催され昭和六年度下 半期の營業報告、貸借對照表、財 [illegible]

大石橋

産目錄、損益計算書等の承認を決 議し今期純益金の一割配當を決行 した重役に對しては今期の約一割 程度を以て第四期より給與するこ とに決定し役員改選は近く臨時總 會を開く由である

鄉軍服裝統一

當地在鄉軍人分會に於ては先般來 時局の重大性に鑑み附屬地警備に 關する各種の計畫を爲す處ありた るが更に有事に際し警備團員とし ての充分の機能を發揮し或はこれ を遺憾なく統制するには齊しく服裝 の統一緊要なるものあるべしと爲 し首腦者等協議の結果客年十二月 大連工業會社に褐色外被百着を注 文調製すると共に關東軍經理部に 對し軍帽及び卷脚袢の拂下げを請 求し居たる處今回朝鮮第二十師團 經理部より軍帽百三十着卷脚袢百 三十着何れも第三裝用品を送附し 來りたるを以て去る二十二日之れ を受領近く一般會員へ配布すると

財務辦事處

營口縣財務處に於ける大石橋辦事 處開設計畫に關しては既に本紙の 報道せる所なるが愈々當地支那街 民家を借り上げ改修中なりしが竣 工せるを以て去る二十日該所 主任として王鴻驛なる者正式任命 され去る二十二日着任と同時に一 般事務を開始した

適齡者の注意

昭和七年度在留地徵兵身體檢查受 檢該當者は書類を二月末日限り大 石橋警察署長經由關東軍司令官宛 提出すべきにつき詳細の書式及び 其他に關しては警察署寺師兵事係 へ直接御照會すればよいと

旅順　昨年の火災數

旅順署管內に於ける昨年中の火災 數は總計二十件を算し失火の原因 中一番多いのは燐寸の五件で油 類より引火、竈、煙突の各二件宛 煙草吸殼、焚火、ランプ等から各 一件宛其の他が三件で損害金額二 萬五百五十二圓であるがその內動 產に依るものが一七、七八三圓、 建物が二、七六九圓であつた

本年學齡兒童

來る四月一日から旅順小學校へ入 學する兒童は總計三百〇七名にて 昨年と大差なく內譯は第一小學校 へ一七二名、第二小學校へ一三五 名なるが入學當日迄には轉出其他 に依り多少の異動を見るであらう

上京委員報告

對時局旅順市民會では過般上京各 要路方面を訪問中なりし市會議員 竹中延太郎氏過日歸旅せるを以て 廿八日午後一時から市役所に於て 市民會委員其他に對し經過報告會 を開催する事となつた

御めでた

▲桃園町八　堀山研作氏次男健二君十三日出生
▲明治町五八　菅野今朝治氏二男榮二君十四日同上

追悼

▲八島町　相馬啓介(四五)氏二十五日死去

兎耳鷲目

◇在旅古物商組合では二十五日午後三時から德元居に於て定期總會を開催した

◇某方面出動中の驅逐艦若竹は二十五日午後二時四十分旅順へ歸港

◇中谷前民政部務局長に對し關東廳各課高等官一同は二十五日夜寄乘に於て送別會を開催した

◇大連市役所衞生課長に轉じた元關東廳衞生技師武田守人氏は二十八日午後一時三十分旅順驛發列車にて出發する

◇關東州水產會書記相馬啓介(四五)氏は豫て腎臟病にて關東廳醫院へ入院中二十五日午前八時三十五分遂に死去葬儀は二十六日午後四時東本願寺に於て執行さる

第二の反抗 (134)

三宅やす子

阿部金剛畫

喜美の其後(九)

「でもあんたはいゝわ。そんない ゝ奧さんの事考へてれやいゝんだ もの。あたしなんか。ほんとにつ まんない」

「あたしだつて、考へたつてしよ うがないから思ひ出さないだけだ わ。せめて、ほら、いつか話した でせう。子供でも無事に育つたら かうして働いても、里子に出すな り、何なりして、成長さくして、 さきの樂しみもあるんだけど」

「そんなに、子供がほしかつた の?」

「それやれ――好きな人の子です もの。せめて子供でも育てたい わ」

喜美は、寮一と親くして居たあ のお孃さんのことを、思ひ浮べて 話して居るのだ。

あの人は仕合せだ。あゝして自 分の好きな人と自由に、遊んで、 自由に、一緒になつて――それを 世間では立派な淑女と云ふのだ、 しとやかな奧樣だと、ほめたゝへ るのだ。

私のやうに――喜美はしよんぼ り考へる。

自分の身の程を思つて、身を退 いてしまつたあとの、この寂しさ ――こんなだと知つたら、あの時 何が何でも、あのお孃さんとはり あつて、私こそ、嶺さんの奧さん になる女です、つて、がんばつて しまへばよかつた。

喜美には深い悔ひがある。

「何考へてんの。いやに默つちや つたのね」

「……あたし、世の中が莫迦ら しくなつちやつたのよ」

「ホヽヽ。そんなこと、今更初 まつたことぢやありやしないぢや ないの?莫迦らしい世の中だから 莫迦な男を相手にして、其日、其 日を送つてりや可いのよ」

「つまんないわ。そいぢや」

「あら、このひと、のろけてる氣 ?、そんなに逢ひたきや、呼び出 しかけりやいゝのに」

「ひとのことだと思つて、靜ち やん、ひやかしてばかり、いやあ れ」

「あたし、一肌ぬいであげやう か」

「駄目よ」

「役所に電話かけりや、明日にも 來るのに、何故さうしないの?」

「諦めたひさに、電話かけたつて その聲でも聞くと決心がにぶるか ら駄目なの」

――やつぱり、あたしは、あのひ

「まあ――そんなものかしら」

喜美は嘆息をついて

「私には、さういふこと。わから ないけど――でもそんなものなの ?大變ねえ」

「何が大變なのよ、ホヽヽ。女つ てそんなものよ。浮氣らしくはし やいでるときは、それや、私だつ て、女給らしくやつてるけど」

喜美は頷いて

「それや、さうね。私たちを浮氣 ものだと思ふ人達の氣がしれない わ、ほんとは、浮氣なことないへ ば、そこらに綺麗な着物を着て、 遊びまはつてるお孃さんたちの方 が、どんなに浮氣かしれないわれ え」

「左樣よ。ほんとよ」

お靜は我が意を得たといふやう に

「親が大切に育てゝ、我儘させて くれるから、立派なお孃さんです ましてられるんだわ。それで、ど こでも、いゝところにお嫁にゆけ て」

「好きな人とだつて、自由に結婚 出來るんだわれえ」

SANTE

肺結核の革命的治療藥

サンテ

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、**一號**（有熱用）、**二號**（無熱用）、**三號**（虚弱質用）、の三種がある。これも創見者藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有效に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徴としてゐるから、他の藥物と併用する場合があつても何等妨げないのである。

【適應症】 肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管枝加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」**一號**＝有熱期に適す
「サンテ」**二號**＝無熱期に適す
「サンテ」**三號**＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虚弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」二號	一二〇錠 二圓八十錢	三六〇錠 八圓十錢
「サンテ」三號	一二〇錠 二圓五十錢	三六〇錠 七圓二十錢

◉別に醫家調劑用粉末あり

◉先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

臨床大家四十餘博士が

「サンテ」を各種の結核性疾患に應用せられて

その藥效を推奬せらる

醫學博士 岩井登門氏　醫學博士 生地憲氏　醫學博士 石山暢昂氏　醫學博士 飯島近治氏　醫學博士 濱田良輔氏　醫學博士 半田久雄氏　醫學博士 西田宗一氏　醫學博士 豊田正達氏　醫學博士 大國二郎氏　醫學博士 渡邊貞惠氏　醫學博士 川上理作氏　醫學博士 川村六郎氏　醫學博士 高橋三千彦氏　醫學博士 高島俊治氏　醫學博士 竹島光藏氏　醫學博士 竹森啓祐氏　醫學博士 内藤業太郎氏　醫學博士 中村和雄氏　醫學博士 内田謙益氏　醫學博士 内野淺次郎氏　醫學博士 上森虎之助氏　醫學博士 黒岩文一氏

醫學博士 栗原基氏　醫學博士 松崎香住氏　醫學博士 増田貞一氏　醫學博士 小竹政吉氏　醫學博士 小松原謙三氏　醫學博士 盧名泰氏　醫學博士 齋藤齊氏　醫學博士 佐藤弘氏　醫學博士 澤田四郎作氏　醫學博士 木崎正美氏　醫學博士 木許寛氏　醫學博士 百合野順太郎氏　醫學博士 三好毅一氏　醫學博士 宮井茂吉氏　醫學博士 宮崎正一氏　醫學博士 宮本博人氏　醫學博士 志賀費氏　醫學博士 弘田茂富氏　醫學博士 森本正好氏　醫學博士 勝呂慄氏　醫學博士 杉田貞之氏

【イロハ順】

全國臨床醫家に急告

＝品切れ中の粉末の用意成る＝

「サンテ錠劑」御注文殺到の爲め「サンテ粉末」製造の暇なく、永らく品切れにて御迷惑を掛けて居りましたが、工場設備の擴張に伴ひ「粉末」の用意も充分に調ひましたから、今後品切れの爲め御迷惑を掛ける事はない積りであります
御諒承の上弊社又は藥品問屋へ御用命を願ひます

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

結核に多くの場合隨伴し來る發熱、食慾不進、盗汗、下痢、咳嗽、血痰、頭痛、心悸亢進、疲勞感等の症狀に對して、先づその症狀を抑へんとあせるのは人情の止むを得ざる所であるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の效を爲さないのである。

又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絶滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。

斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「**サンテ**」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上效果あるべしと稱せられたもので、臨床上の效果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい效果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せらるる所である。

正しき治療に目覺めよ

悲しむべき統計は我國に於て年々約十二萬の人が結核の爲めに**死亡**して行く事である。

而もその八割は十六歳から三十五歳までの年齢で、斯くも多數の前途有爲の青年や、一家の柱石を爲す壯年が、雄圖空しく恨みを呑んで結核の犧牲となりつゝある事は、小にしては一家、大にしては國家の大損失である。

故に、結核の治療に就ては、患者自身にとつても、家族の人にとつても、最も細心の注意を以て、對策を誤まらざる樣に考慮すべきであるに拘はらず、多くの人は何等深く考へる事なく、たゞ漫然とその日暮しの一時的治療に甘んじ、又は食慾も無いのに無暗に榮養食を詰め込む事のみに骨を折るといふ有樣であるから、病狀は益々惡化する許りである。

云ふまでもなく、結核は結核菌の傳染に因るものであるから、菌の繁殖を抑制せず、毒素の排除も講せずして、徒らに榮養食を多く食べたとて、毒素のために弱められた胃腸は到底その負擔に堪へ得ず、不測の下痢など起して却つて身體を衰弱させる位が關の山である。榮養を盛んにする事は、先づ結核に對する根本處置を講じてから後でなければ無駄が多い。

正しき治療は、是非とも結核菌の殺菌と毒素の排除に第一目標を置かねばならない。

即ち、その見地に立つ新發見藥「**サンテ**」が各知名大家によつて競つて推奬せられ、日々多數患者の感謝の的となりつゝあるのも、決して偶然ではないのである。

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわづらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す效力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制止するとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる筈がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は自分自ら

治る希望を捨てた人 と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか——

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理效果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ゆるやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして 單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その效果の手近な證明は、「**サンテ**」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

——食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
——徴熱去り、平溫となる
——ねあせ止み、夜間安眠する事を得
——胸痛去り、頭痛、全身倦怠去る
——咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
——肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
——ラッセル消失す
——下痢頓挫す

斯くの如き著名な症狀の減退が「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃 からメキメキと現はれ來る事屢々であつて患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、歩一歩全快への堅實な歩みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その效果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り、「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直ぐ樣作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する事は妨げなけれどもその必要は更になく（併用の必要なし）唯一劑のみにて充分各種の効果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せらるる所である。

御注文方法

◉御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◉御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用が御便利、前金の御注文には送料を要せず
◉代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

各地著名藥店及び百貨店藥品部にて取次せらる

大阪市東區北濱一丁目

參天堂株式會社學術部

振替貯金大阪三五七番

田堡子方面匪賊の根據地を粉碎
わが軍空陸協力して

二十五日朝第○○師團の主力は三家子、牽馬嶺、田堡子、李家屯の線に進出し一部を王家屯附近に殘して賊團の退路を扼し兵匪の行動を監視すると共に、主力は匪賊團に進擊に移つた、同部隊前面の匪賊は田堡子南方山地に潜入しつゝあり、關東軍飛行隊は主力を擧げて第○○師團に應援し二十五日早朝より田堡子地方山岳地帶の敵情及び西河流域の退路狀況を搜査すると共に同地の匪賊の根據地を爆擊し之を粉碎して引き揚げた【奉天電話】

殆ど全滅の損害に六百の兵匪潰走す
伊通縣大孤山附近に於る討伐で 阪本上等兵が手創

二十五日午前十時公主嶺の南方二十支里房上溝に六百名の兵匪現れ伊通縣大孤山附近に進出して來たので討伐に出動中の公主嶺獨立守備隊第○大隊、騎兵第○聯隊第○隊は一時間にわたつて激戰後擊退しこれを燒火溝に追擊し、折から伊通縣公安隊の討伐隊に退路を斷たれ賊を包圍攻擊しわが軍の猛擊に賊は全滅に近き損害を蒙り逃走した、この戰鬪に於て守備隊第○中隊阪本上等兵は右大腿部に貫通銃創を蒙りたるも賊十五名を斃し迫擊砲一門、彈藥若干を鹵獲し人質一名を奪還し午後六時意氣揚々公主嶺に引揚て來た【公主嶺電話】

牛莊、田庄臺にも大匪賊團襲來す

二十五日夜牛莊に約一千名の匪賊來襲し盛に掠奪中である、また同夜六時ごろ田庄臺西北方高家屯方面より約二百名の匪賊田庄臺北門から攻め入り同地の公安隊はこれと約一時間にわたり銃火を交へ遂に賊を擊退した、同夜は濃霧の爲め咫尺を辨ぜず徹宵警戒した、待機中の坪井聯隊は大いに緊張してゐるが近く某方面に出動する模樣である【營口電話】

歸順の匪賊頭目 三勝と長勝

馬賊頭目三勝は廿六日午前十時十分着輕油動車で奉天步兵第二十九聯隊名倉少佐、遼中縣自治指導委員、通譯吳金山附添ひ來遼、師團司令部を訪問したが司令部では上野參謀長、鯉登、細木兩參謀が面會し種々これまでの事情、歸順後の方針などにつき聽取、司令部で晝食を與へ午後一時二十分發輕油動車で奉天に赴き省政府に出頭、更に軍司令官を訪問することになつて居る【遼陽電話】

◇

百餘名の部下を有する匪賊頭目長勝は二十五日大石橋日本警察署に出頭歸順の誠意を表明したので警察では守備隊に連行し警紆せしめた【大石橋電話】…(寫眞は前列右から齋藤憲兵隊長、岩田大隊長、歸順を申込んだ頭目長勝)

けふ殘留匪賊に最後の一擊
室○師團錦州に引揚ぐ

【溝帮子二十六日發】溝帮子に司令部を移し北鎭を中心とする兵匪の大集團に對し二十二日未明から大討伐を開始した室○師團は、昨日に至る四日間に空陸相呼應して極めて巧妙なる戰法により兵匪一千を斃し多大の損害を與へ略所期の目的を達したので、本日殘留匪賊に最後の一擊を加へ二十七日午前十一時溝帮子を引揚げ一先づ錦州に歸還することゝなつた

大凌河站匪賊 襲擊確報

關東軍發表＝二十四日以來不穩なりし大凌河站にては二十五日午前四時頃約六百の兵匪、山地方面から突如襲擊し同驛員一名腹部に貫通銃創を受け卽死した、同中隊を指揮した中村大尉も輕七時頃頭部貫通銃創を受けて戰死し、わが兵二名負傷した、わが錦州部隊から急派された增援隊は敵を攻擊、敵に多大の損害を與へたが詳細不明、尙大凌河鐵橋レール十本取りはづされ電柱を切斷された【奉天電話】

河野大尉慰靈祭

故河野基英大尉の旅順市主催慰靈祭は二十七日午後二時から昭和園にて執行すべく式は佛式祭典委員長は大谷要塞司令官各係委員長は永山市長、其他の委員を決定したが、當日は靴又は草履と定め參列者は定刻十五分前に入場し場內へ入場し得ざる向は午後四時から同五時迄隨意燒香を爲す事となり細目打合せの爲め二十五日午後二時から市役所にて各方面代表者參集協議した

森川一等兵の戰死

打虎山西北地區の匪賊討伐に參加した第○○聯隊森川正五郎一等兵は二十三日朝三時溝帮子を距る東北約四里の關山家子の戰鬪において頭部貫通銃創を受けて戰死した【奉天電話】

戰死兩勇士の出身地

關東軍發表＝打虎山西北方一帶の匪賊討伐軍に協力せしめられたる獨立飛行隊第十中隊偵察機一機は二十四日匪賊討伐の任務を以て奉天飛行場出發四堡子附近に到り數百の匪賊を發見、之を攻擊中敵彈を受け西安堡西方約一キロの地點に墜落し機體を大破し搭乘者花澤友雄大尉、田中鐵太曹長は名譽の戰死を遂げた、花澤大尉は滋賀縣彥根町芹橋の生れ、田中曹長は熊本縣鹿本郡田原の生れである

飛行兩勇士遺骸 山中で發見
廿五日夕打虎山で通夜

二十四日打虎山方面の匪賊討伐に出動し華々しい活躍の後賊彈を受けて名譽の戰死を遂げた獨立飛行隊第十中隊花澤大尉、田中曹長の死體に關しては同日偵機搜査に赴いたが時恰も暮色周圍に迫つたので同夜第七十九聯隊が徹宵搜査の結果二十五日早朝西安堡西方一キロの山中においてやうやく發見し直に打虎山より自動車を出し之に收容して二十五日夕打虎山着、同夜は打虎山部隊においてしめやかな通夜を行ひ二十六日正午打虎山發の奉山線列車にて出發同日夕奉天に到着の豫定【奉天電話】

奉山沿線への公衆通話開始

奉天郵便局では本月十九日より奉天錦州間市外公衆通話が開始されたが廿三日より更に奉天對打虎山及び溝帮子間の市外公衆通話を取扱ふことになつた

打虎山まで卅五錢(呼出料廿錢)
溝帮子まで五十錢(呼出料同上)
錦州まで六十錢(呼出料廿五錢)

尙打虎山、溝帮子局における呼出方法は錦州同樣で當分の間呼出料は不要であると【奉天電話】

滿蒙定期飛行に客貨をも取扱ふ
大連チチハル間七十三圓

關東軍管理の下に行はれてゐる滿蒙軍用定期連絡飛行は奉天新義州間、奉天大連間の每週一回不定期の發着を除く外奉天長春間、長春ハルビン間、ハルビンチチハル間は上り火、木、土下り月、水、金の一週三往復となり奉天打虎山間打虎山錦州間は日曜を除く每週六往復となつてゐるが右飛行には軍部外の旅客、貨物をも乘せる事になり旅客乘車券は大連では伊勢町ジャパンツーリストビユウローに於て販賣することになつてゐる、なほ一般旅客、貨物の運賃表は左の通り決定した

一、各區間旅客運賃

區間	運賃
奉天新義州間	十四圓
奉天大連間	二十圓
奉天長春間	十五圓
長春哈爾濱間	二十圓
哈爾濱齊々哈爾間	十八圓
奉天打虎山間	八圓
打虎山錦州間	六圓

二、貨物運賃
▲滿洲內相互間(關東州及び新義州を含む)一吉瓦(二六六匁)每に一圓
▲滿鮮相互間(新義州を除く)一吉瓦每に二圓
▲滿洲と內地相互間同三圓

世界競技に送つた 我滿洲が誇る氷上使節 (上)

來る二月四日より米國レークプラシッドにおいて開催される第十回世界オリムピック氷上大會ならびに十七日より擧行される世界氷上選手權大會に榮ある日本代表選手として參加する滿洲が生んだ世界的スケーター河村、木谷、石原の三選手は去る十二月二十四日橫濱解纜の氷川丸に乘船、日本スポーツ界の衆望と期待とを荷つて華々しく遠征の途につき一月九日無事目的地たるレークプラシッドに到着した、外電の報ずるところによれば三選手とも既に到着の外國一流選手に伍して練習を開始、堂々と好記錄を出し日本選手強しとの感を他國選手に與へてゐる、本社では特に右代表選手中の河村泰男選手に依囑して一行の動靜を中心に特別通信の寄贈を得ることになつたがその第一信は左の如くである【寫眞は河村選手】

雪と氷のオリムピヤ
氷川丸にて 河村泰男

十二月廿四日橫濱解纜 フジヤマの白雪を遠くに眺め右に房總の島々を見て、遠ゆく故國にしばしの別れを惜まんとした今日の船出！生憎の重い曇のため僕の其の感激は裏切られデッキに出てゐる氣にもなれず、既定のツーリスト・キャビンへもぐり込んでしまつた。

そして今別れて來た多くの方々の姿と其の時の光景を思ひ出した。昨シーズンは隨分華やかな見送りをうけて北歐へ旅立つたのだつたが、それはシベリヤへ行く細長い汽車の上であつた。こんどは太平洋通ひの大きなお船だ。

午後二時半……デッキの上には見送る人、見送られる人で一杯だ。けれどもやがて打鳴らすドラの音に、人數は去り僕達渡航者のみとなつてしまつた。そして五色のテープを左手に握り、右に日章旗を振り、數刻の後に迫つてくる別離のシーンに引き込まれて行つた。ドラの響きは變つてビクター・ラヂイオから流れ出る美しい曲！「ほたるの光」の音律こそその時、その場に居た人々の心をキャッチしていよく互に別れなければならない時を意識させ、赤、白、黄、に靑と亂れ飛ぶテープ！人々は皆我を忘れてゐるに違ひない。

トップの方に聞ゆる歡聲、それはスキー選手の一行だ。デッキの中央部に陣取つたスケーターへの歡聲は一番大きかつた。「スケート選手頑張れ！」おゝ今こそ勇ましく僕等は鹿島立つのだ。離れ行く日本のため小さな僕は選ばれたと云ふことをもう一度新らしくそして一層強く自覺した。切れ落ちて行く數條のテープをなほもかたく、高く、烈しく打振る日の丸の旗！その瞬間の感激……と、師走の波止場に強く吹く潮風に、大きく開いた僕の兩眼はかすみ、人々の顏、姿、群、岸壁は黑く去つて行つた。この時の僕は出船の汽笛もきこえず氷川丸は橫濱港外へ出てしまつた、けれども埠頭の人は世界の檜舞臺に臨む僕達の勇姿を思ひ、そして大海原に乘り出すお城の樣な船體を眞樣に眺め、つゝがなき船路を祈りつゝ、滿足して歸つたであらう、人去つて後の岸壁に垂れた紅のテープ、右舷に結びつけた紅のテープも何時の間にか無くなつてゐた。

太平洋橫斷異狀あり。

二十四日の夜となつた。房總半島を迂廻して太平洋に僕等は出た。曇り空は荒れて船中最初の樂しかつた、ディナーの終つた頃より本船はゆれ出した。そして薄氣味惡い船腹の軋ぐ音を聞きつゝ一夜は明けたが、遂に氣分を損ねベッドから離れることが出來ず、覺悟はしてゐたが、それは、思ひのほか急激にノックダウンを見舞はされたのだ、勿論僕のみではない。無理をして、千鳥足で食堂へ行つた者もあつたが、氣持の惡いことは皆一樣だ、テーブルに向つて獻立表を見ぬ內にめまひがして、顏の色を變へてキャビンのベッドに飛び込んだ。

僕達より優勢だつたスキー選手も申し合せた樣にキャビンへ張込んでしまつた樣だ、スケート選手六人は頑張つて食つたものは決してあげなかつたが、三度の食事もボーイにベッドまで運んでもらつた一切れのパンとスープがやつと咽喉を通る位の者が多かつた。

滿鐵小學校の氷上體育會
來る三十一日奉天で

恒例による教育研究會第一部主催の第十一回沿線小學校氷上體育會はいよく來る三十一日午前九時より奉天國際運動場內リンクにおいて沿線小學校尋常科二十四校、高等科十四校五百餘名參加の下に開催されるが、本年度は昨年度の組合せを左記の如く變更することゝなつた、なほ從來本大會は滿洲における氷上大會唯一のもので例年好成績を收めてゐるが本年度も好結果を豫想されてゐる

尋常科
A組 撫順永安、安東大和、奉天彌生、鞍山、奉天春日
B組 長春室町、撫順千金、教專附屬、安東朝日、遼陽
C組 長春西廣場、四平街、鐵嶺、本溪湖、營口
D組 奉天加茂、大石橋、開原、公主嶺、撫順新屯
E組 奉天敷島、吉林、海城、連山關

高等科
A組 撫順千金、奉天春日、安東朝日、鞍山、教專附屬
B組 長春室町、遼陽、四平街、本溪湖、鐵嶺
C組 開原、營口、吉林、連山關

又競技種目は左の如くである
尋常科
▲男子五百米、千五百米、千六百米リレー
▲女子五百米、千六百米リレー
高等科
▲男子五百米、千五百米
▲女子五百米

鐵路警備司令を任命し匪賊掃蕩
軍費十萬元を支出

弁般來奉中の王田仲、張海鵬、于芷山三氏は臧省長と各鐵路警備につき協議中であつたが、省政府では愈々三氏を鐵路警備司令に任じ、匪賊掃蕩に當らしめることを決定した、張海鵬氏は洮南を根據に四洮、洮昂線を警備し于芷山氏は奉海、吉海線を又王田仲氏は奉山、打通線を警備するもので省政府は三氏に軍費十萬元の支出を承認した、張海鵬氏は要務を終へ蓋式毅、于沖漢兩氏に挨拶を終へて二十五日午後三時三十六分四十名の護衞を從へて洮南へ歸つた【奉天電話】

四百羽の傳書鳩
勇ましく東京を出發

【東京二十五日發】民間から滿洲派遣軍に贈られた傳書鳩四百羽は日本傳書鳩協會荒井理事等附添ひのもとに二十五日東京驛から勇ましく出發した、彼女等の出發を見送るため民間の千五百羽の鳩が一齊に空に放たれその行を盛んにした

滿洲の民間航空に貢獻
兒玉航空大佐

【東京二十五日發】我民間航空界の恩人遞信省航空局技術課長兒玉大佐は今回關東軍に轉じ滿洲を中心に民間航空に貢獻する事となり後任は現航空少佐新井三郎氏に決定二十六日發令の筈尙同氏は工兵課出身の優秀なる機械通である

女子五百米榮冠 滿洲選手が獲得
全日本氷滑大會成績

【上諏訪二十五日發】全日本スケート選手權大會の第二日は廿五日午前九時より上諏訪町蓼の海リンクに擧行、晴快ながら氷のコンデションは惡し參加選手四十餘名、成績左の如し

男子五百米
一着 李成德(朝鮮)
二着 潤間正見(白鳥)
三着 崔龍良(朝鮮)
今井喜七(慶應)
小池富治(白鳥)

尙滿洲の神越は五十二秒八で五着におちた

女子五百米決勝
一着 瀧三七子、一分四秒
二着 井上和歌子、一分四秒六
三着 井上浩子、一分八秒五
(以上滿洲)

五千米決勝
一着 行田和(上諏訪)十分十一秒六
二着 潤間正見(白鳥)
三着 李成德(朝鮮)

辻強盜共犯者捕はる

去る十一日小崗子露天市場にて芝居見物中小崗子署員が逮捕した周水子小野田セメント會社裏辻強盜鄒文成(二五)の共犯者山東省生れ住所不定董學環(二〇)は市內各署に手配嚴探中であつたところ廿四日午後十一時ごろ市內福星街一六番地支那宿仁成店に潛伏中を沙河口署員が發見逮捕したが取調べの結果自轉車泥棒その他餘罪多數あると

東方力士も相撲協會脫退か
きのふ回向院で協議

【東京二十六日發】今回の相撲紛擾以來東方力士は靜觀の態度を以て協會の出方を注視し來つたが協會の態度依然として反省を見ず且つ此の重大な事態に對し全く無方針、無方策なるを見て遂に東方力士も此の儘協會に留まるは將來自分等の生活上自殺を抱くも同樣なりとし汐ケ濱、寶川、太郎山、鏡洋、玉錦等東方力士、幕內並に十兩三十二名は二十六日午後二時より回向院に力士會を開き協會脫退に就いて協議を續けつゝあり成行如何に依つては協會は全く潰滅の悲運に陷るものと觀らる

御慰問使着津

【天津二十五日發】支那駐屯軍御慰問使石田侍從武官は今日午後五時半天津着、明日天津各部隊に聖旨、令旨傳達明後日北平、山海關秦皇島の各部隊を御慰問二月一日塘沽發歸京の筈である

國松特派員入院

大朝大連特派員國松文雄氏は風邪發熱し廿五日大連病院第一病棟六號に入院目下加養中

七千圓也の貴金屬を詐欺
兄弟がグルになつて

兄弟共謀でダイヤモンドや貴金屬約七千圓を詐取し店をたゝんで逃亡した貴金屬商がある――市內吉野町二二番地時計貴金屬卸商金陽堂こと鈴木仙太郎及び弟の岡田庫之助の兩名は市內東公園町コロンボ洋行から前後四回に亘りダイヤモンドその他貴金屬約七千圓を買求め舊臘十二月廿五日附先付小切手を振出してゐたが、取引銀行で不渡りとなり、金陽堂は店を疊んで兄弟とも風の如く逃亡したのでコロンボ洋行では初めて詐欺にかゝつたと知り、代表者エス・エム・シーマンデンは小野辯護士を代理に大連署へ告訴を提出した、爾來同署司法係で兄弟を搜査中、弟の岡田庫之助は去る廿四日門司警察署の手で逮捕され、近く大連へ押送されて來る筈

香爐礁に土堤築造

滿鐵々道部港灣課では昭和七年度事業の一つとして約十萬圓の豫算を以て香爐礁海岸の一部に締切土堤を築造することに決定年度明と共に工事に着手の豫定である、元來この香爐礁一帶の海岸約三十萬坪は滿鐵が遠い將來にこの全面を埋立てその一帶を材木、石材等の建築材料置場およびそれ等諸材料の取扱ひ店舖設地に充當する理想を有してゐる場所であるが今回の同所一部の築堤は大連港內浚渫の泥土の塞場所を造ることが第一目的として築造決定したもので此れでこの築堤內部の埋立のみでも底本年中には完成困難と見られてゐる、なほこの土地の埋立に使はれる港內の浚渫は滿鐵が七年度豫算五十萬圓を計上して計畫してゐるもので石油棧橋下の浚渫(現在の六米を八米程度に深める)その他である

安樂椅子

今回の事變に際し第一線に立つ軍隊を援助してその行動を敏速ならしめた滿鐵社員の功勞に對しては一般に認むる處であるが世上に知られてゐない、功勞者として滿洲土建協會員の血のにじむやうな獻身的努力を忘れてはならぬ

◇

土建協會員は長岡書記を引率者として加藤會社から百六十六名の軍役夫を遼西方面に送り敵前に曝され乍ら寢食を忘れて活動したがその內の福昌公司社員十二名に對しては相生社長が特に各一萬圓づゝの保險を附したので社員何れも後顧の憂ひなく勇敢に活動し得たと云ふ。

◇

他の軍役夫が何れも滿鐵から借用した身體に合はない防寒具で我慢したのに福昌の十二名だけは防寒服や防寒靴など會社側から手廻しよく支給したので大いに感激してゐた。

◇

相生社長の徹底したこの溫情主義は非常に評判がよいと。

曙の鐘 (178)

倉田潮
河野想多畫

マリヤの死體（一）

よもぎはたえ子の苦む樣を見ると、氣の毒になつて、かう云ひ足した。

「初めにも云つておいた通り、これは參擧までにお話ししましたことなのよ。しかも、壯三さんと結婚すれば果してあけみさんが秘密をばくろして春木さんを救ひ出すか何うか、それもはつきり解つてゐる譯ではないわ。で、實行は考へもんだわれ」

「さうですわれ」

とたえ子は答へたが、何か思ひあたる節があるやうに一人うなづいた。あけみは話題をかへ、

「それはさうと、たえ子さん、先夜私の家から歸る時、變な男に後をつけられはしなくて」

と、不思議な男が何時もよもぎにつきまとつてゐることを、その男が先夜別れる時たえ子と同じ電車に乘つてゐたことを話した。と、たえ子は驚いて、

「私、その人を壯三さんと間違へてびつくりしましたわ」

と語りついだ。彼女は電車をおりる時まで、その男に氣がつかなかつたが、下りて暗い路に這入ると背後から名を呼ばれて吃驚した。しかも聲がそつくりそのまゝ壯三と同じなので、怖ろしくなつて逃げ出したと云ふのである。しかもその男はその後も幾度か家に面會したいと云つて來たが、怖ろしいので何時も留守をつかつてゐるとのことだつた。

「ほんとにあの男は何者でせうね」

とたえ子は眉をひそめた。

「壯三さんぢやないんですか」

「違ひますわ。後で家に來た時障子のすきから見てやりましたが、姿や聲はほとんど同じでも、顏が全く違ひますわよ」

と壯三の寫眞を出して見せた。

成る程顏は大變ちがつてゐる。壯三の方が情熱的な顏で、それに眼鏡をかけてゐた。

「この寫眞を見ておけばもう何處で逢つても解るわれ」

とよもぎは寫眞をかへして、マリアが姿を隱した話をした。たえ子は別にそれを怪しむ樣子もなかつた。マリアとしてはやりさうな奇行であつたから。

たえ子の家から債權者の家を二軒廻つて、よもぎは午後の三時頃に電車で淺草に歸つて來た。急いで小舍の方に人波をわけて歩きながら停留場から三丁ばかり來た頃に、

「よもぎさん」

と背後から肩を叩く人があつたので見るとたえ子と話して來たばかりの不思議な男がそこに立つてゐた。先夜たえ子の後をつけて行つた時と同じく、外套の襟を立て、金の腕時計をはめてゐる。よもぎはむかくとして聲を荒らげた。

「あなたは一體何處の何者ですか」

「それは暫く云へません」

と、その男は沈んだ調子で答へた。

「それが云へなければ、私も絶對に話は出來ません」

よもぎはさう答へて、すんくと先に歩き出したが、すると其の男も考へこみながら、首をうなだれて後をつけて來た。が、小舍の前まで來るとまた小走りに近づいて來て、

「よもぎさん、ではこれだけ云ひませう。私は强力なあなたの味方だと云ふことを、いや、駒太郎さんの味方だと云ふことを」

「味方……。味方なら名を名のる譯ではありませんか。そんなことを云つても、今の場合私には信じられません。名を名のりなさい」

「名を名のつたらあなたは驚くでせう。が、まあそれはやめませう。その代りにマリアさんの死體のある場所を教へて上げませう」

「死體」

とよもぎは白晝の往來に棒立ちになつた。

滿日勝繼碁戰

第卅七回

先　二、三級　高本吉郎氏
　　一、二級　湯淺唯二氏

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

●一一九（百五の處劫さる）　●一二一ヌ十七　○一二四へ　八　●一三一リ十三　●一三五リ十一
○一二二（百十二の劫さる）　●一二五ト　八　○一二八ハ　一　○一三二チ十三　○一三六チ十四
○一二六チ　七　●一二九リ十二　●一三三リ十四
●一二三イ　三　●一二七（百五の劫さる）　○一三〇ル　九　○一三四チ十四

▲百三十六手迄（湯淺氏中押勝）

—【7】—

新刊紹介

▲**陸軍讀本**（平田晋策著）本書は軍部が軍事研究家として令名ある平田晋策氏に囑し全陸軍協力の下に苦心一年に餘る大作だけに内容の豐富且つ精確なる點は申すまでもない、明快暢達な行文は一讀卷をおく能はざらしめる妙趣に富み、さかく無味におちいりやすい軍事書の通弊を完全に脱してゐるあたり流石に苦心の跡が窺はれる、陸軍の任務は今後愈々重大である、今や國民は一人殘らず陸軍を知らねばならぬ秋である、内容の一部を記るせば大日本帝國軍隊論極東を守る帝國陸軍、陸軍各兵科の現狀、陸軍の兵器、空中國防、世界陸軍の現狀、帝國陸軍の組織、我陸軍の國防力、國家總動員、附錄には軍事法規、滿蒙に關する統計解說その他などがある、加ふるに二十頁を算する口繪をはじめ、本文に挿入された豐富な寫眞は宛然一個の軍事畫廊を偲ばしめ、興味ある本文と相俟つて讀者の理解を一段と容易ならしめてゐる、宇垣大將、荒木現陸相が相携へて卷頭に序し「無二の陸軍讀本」と絶賞してゐるのも無理はない、現下の難局を打開すべく擧國一致勇進すべき有事の新春にあたり、畏くも軍人勅諭奉戴五十週年記念の事業たるこの卓越した好著を各位の机上に敢て一本をすゝむる所以である（菊大判四〇〇頁、定價一圓、東京市丸の内昭和ビル日本評論社）

けふの放送

大連 JQAK

一月廿七日午後六時五十分
▲ニュース
▲英語講座「テキスト」第三十八課大連神明高等女學校山田長三郎
▲マンドリン獨奏　一、主題と變奏曲、二、小夜曲、サルトリー作ギタ伴奏伊藤十五郎、市川昇
▲清元　明烏上下、清元研究會社中、唄石村金八、同牧初太郎、三味線清元延斎富
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース
▲中國劇　解寶收威、連東俱樂部々員

東京 JOAK

自廿七日午後六時三十分
▲記念講演、故元帥久邇宮邦彥殿下の御高德を忍び奉りて、伯爵清浦奎吾▲連續講談笹野權三郎第三席大島伯鶴▲新內、嶋咲名殘命毛尾上伊太八、淨瑠璃富士松志津太夫同秀太夫、三　絃同薩摩櫞、上調子同遊佐之助▲ピアノと管絃樂一、ピアノ小協奏曲ウエバー作、二、圓舞曲藝術家の生活シユトラウス作、ピアノ高折宮次、日本放送交響樂團、指揮大塚淳

滿洲日報
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ケ月 金一圓二十錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

支那當局に誠意無く武力解決準備に着手

數日間支那側の態度を監視し反省せずば斷乎處置

【上海二十五日發】村井總領事は本日午後三時半市政府で吳鐵城氏と會見、四時五十分辭去したが總領事館では左の通り會見內容を發表した

村井總領事は日蓮宗僧侶殺害事件に關する**我申出に對する支那の回答を促がせるに吳鐵城は期限の猶豫を求めた、**村井總領事はこれに對し何時までも回答を待つことは出來ぬ、滿足なる回答を得られぬ時は我において**適當と認むる時期に必要と認むる自衛手段に出づるの已むなき旨を警告**し出來るだけ早く我提示條件に滿足なる回答をされん事を要望して引揚げた

右の如く吳鐵城市長が回答猶豫を申出たのはその間に支那軍隊を上海に集中し我に對抗せんとする意肚に基くもので一片の誠意の認むべきものなきこと明かとなつたので、**我軍部も最後の決意を固め支那を武力膺懲の正式準備に取かゝつた**

我は最大の寬大なる態度を執り數日間は鳴を鎭めて支那の態度を監視し反省の色見えぬ時は斷然膺懲の征矢を送ることに意を固めてゐる

(寫眞は村井氏下は吳市長)

一週間內に自衛行動

【上海二十五日發】本日村井總領事の吳鐵城氏に對する警告は期限こそないが支那回答遲るれば我國は適當と認むる時自衛行動に出づるはずで支那が回答しても滿足なるものでなければ同じく自衛行動を執るといふに在り實質は最後通牒よりも強きもので**交渉は實質的に最後通牒と見るべく而して我方の適當と認むる時期は一週間を出まい**と見られてゐる

上海の混亂免かれず 陳友仁一派が學生を煽動

【上海二十五日發】支那側は本日の吳市長と村井領事との會見で數日間の回答猶豫を申出でその間に抗日會にわたりをつけ何とかして日本の攻擊を避けんとし、若し抗日會の解散說得に失敗しても其間に軍隊警備の充實を得られるの肚を以て目下國民政府とも協議中であるが、最近の國民政府の情勢は孫科、陳友仁一派が、蔣介石一派にまた追ひ出された形となり、自己の主張が通らず辭表を出して來滬し盛んに**蔣一派の軟弱外交を攻擊し青年學生を煽動**しつゝある事實あり、當面の責任者吳市長は蔣派たりとはいへこれが廣東人であり、孫、蔣間の何れに組するか不明なる上、既に辭意を漏らしてゐるといはれ**抗日會を解散せしめても上海は民衆の反對で混亂の狀態に陷るやも知れず、**どちらにせよ日本軍の出動は絕對必要だと觀られる

日本軍に飽まで對抗 上海防備の蔡廷楷が豪語

【上海二十五日發】蔣介石氏は日本に對抗するを不得策なりとし、本日吳市長に對し村井總領事の要求全部を承認して事態の緩和を圖れと命令したと確聞す、しかし南京政府が讓歩するとせば、民衆蜂起して日本に對抗運動を起すべく日支衝突は避くべからずと見らる一方一萬三千の兵を擁して上海防備に當る蔡廷楷は孫科、陳友仁に對し

余は軍人である、余の使命は國土を護るに在る、南京政府の無抵抗命令に服す能はず、日本の一兵たりとも支那領土(租界外)に入る時は卽時武力を以て阻止すべく余は必ず戰ふ

と言明した

反日本部等 佛租界移轉か

【上海二十五日發】工部局は愈々民國日報及び租界內の反日團の卽時閉鎖を命ずるに決したが、右團體者は佛租界に移轉するらしいが、佛當局も彈壓を下すものと觀らる理由は排外熱を煽動するものであり治安を紊すといふにある

南京政府の方針 上海占據に斷然抵抗

【南京二十五日發】二十五日夜の中央執行委員會緊急會議は對日方針を左の如く決定した

一、對日國交斷絕は當分宣布せぬ
二、對日積極方針を徹頭し日本軍の上海占據に斷じて抵抗する
三、國民の愛國運動は抑壓せぬ、但し非合法及不正なる排日行爲運動は嚴重に彈壓取締る

燒打事件に 吳市長不遜の言 我方強硬態度を表明

【上海廿六日發】廿五日村井總領事、吳市長と折衝の際村井總領事は昨夜の抗日救國會員の日本公使官邸燒打未遂事件につき口頭を以て抗議せるに、吳市長は本事件は未だ證據不充分である、或は日本浪人が事を釀すため殊更にやつたものかも知れぬ、この種の事は日支兩國官憲共同調査に待つべきだなど不遜の言辭を弄した、村井總領事は支那側の誠意なき事斯くの如し日本は飽迄この種排日暴行が取締られぬ限り自由の處置を執らねばならぬと我強硬態度を表明した

陳、孫辭職記事 掲載禁止

【上海二十五日發】吳鐵城氏は今晚十時各新聞に對し陳、孫兩氏の辭職に關し一切その記事の掲載を禁止した

邦人保護方針

【上海二十五日發】多數日本人の居住し居る租界における現在の陸戰隊の防備方針は西は鐵道線路迄は狄思威路より虹口に至る間は現地保護、豐田紡織その他の紡織及び同文書院等は局地的保護、吳淞の日華紡工場は至急閉鎖せしめて避難引揚げの準備を命じあり以上の如くなるが鐵道線路以外の支那町にも多數邦人あり一般にこれを非常に不安と見て居りその保護に就き考慮中

自衛權の發動を英米は諒解

【上海二十五日發】日本が自衛權發動せしめた場合、共同租界內の警備は一九二七年の協定を復活し各國軍隊及び義勇軍が分擔警備をなすに決すべきが、上海杭州間及び上海南京間鐵道その他にたいする軍事的必要行動については既に投資國たる英米兩國と我軍憲との間に諒解成立せる模樣である

衝突の早きを外人は希望

【上海二十五日發】當地在住の英米その他各外人の大半は日支軍の衝突不可避と見て居り租界の治安回復上寧ろその早きを希望してゐる

支那側の防備

【上海二十五日發】支那側の既に準備せる敵對的防備設備は主として閘北方面に行はれゐるが我方に探査の結果によれば、江灣路方面に移動鐵條網二十五、土嚢五百、同濟路十五と三百、寶山路十五と百、北停車場附近には八百と一千、その他閘北には既に二十小隊が戰備を整へて出動し居る外同方面一帶の租界に近接せる要所々々に步哨が配備されてゐる

孫、陳一派強硬態度

【上海二十五日發】本日の中央常務會議が陳友仁氏の強硬策を否決し陳友仁氏の辭職を許可したので孫科氏も辭表を提出した、確聞するに孫、陳兩氏は陳銘樞の十九路軍の實力を以て上海の政權を獲得して南京と對立し孫科、陳友仁、陳銘樞の新政權は飽くまで對日強硬政策を執り日本軍が若し軍事行動を執れば飽くまで對抗する方針であると

青幫の手で解決申込

【上海廿六日發】支那の下層大衆の秘密結社である青幫の首領杜月笙は二十五日日本當局に對し民國日報膺懲、抗日會解散その他日本側の要求全部を青幫の手で決行する旨を申出でた

米官邊が重大關心

【ワシントン二十五日發】事態急を傳へられてゐる上海事件に對しアメリカ政府高官はアメリカの態度につき左の如く語つた

上海事件解決のため日本が單獨で軍事行動を起す事になればアメリカ政府は最大の關心を以つてこれを觀察する事にならう、上海公安局の警察力は豐富で在上海日本人の生命財產の保護その他起り得べき日本人襲擊に對し日本人を保護する事は公安局の手で十分に出來ると信ずる

新顏の日支兩國代表 支那時局の處女論戰

空氣意外に平靜、討議は後廻し きのふの聯盟理事會

【ジユネーヴ二十五日發】第六十六回聯盟理事會は二十五日午前十一時(滿洲時間廿五日午後六時)フランス代表ボンクール氏議長の下に開會、イギリス代表セシル卿は

ブリアン氏が病氣のため外相職を辭され、本日その雄姿を見る事の出來ぬのは遺憾である、一日も早く快癒を禱る

と述べ、日本の佐藤大使、支那の顏慶惠氏も亦同樣ブリアン氏の健康を禱つた、なほ顏慶惠氏は左の如く處女演說をなし午後一時一先づ散會した

十二月十日の理事會決議は一方において支那を援助すると共に聯盟自身の威信と存在を維持する二重の目的を有するものであるから聯盟としては速かに、而かも有效にこれを實行する義務がある、**理事會は又支那調査委員の滿洲よりの第一報を待つて卽時適切な行動に出づるものと確信す**

更に理事會は上海の形勢に鑑み支那代表顏慶惠氏の緊急要求を容れて午後五時半より日支問題公開會議を開會、事態の急を聞いて各國代表も全部出席新聞記者百二十名一般傍聽者百五六十名は早くから詰めかけて開會を待つた、午後五時四十分開會するや引退したブリアン氏に代りフランス代表ボンクール氏議長席に着き日支問題を緊急上程討議の結果、議長ボ氏は

ボンクール議長

上海の情勢極めて重大であり且つ同地には共同租界を控へてゐるので事態は一層複雜であるから、余は**理事會の名において日支兩國政府に對し上海において新なる衝突の勃發を阻止するやう**全力を盡されん事を要望する

と約二十分に亘り說明、通譯終るや、支那代表顏慶惠氏は前代表施肇基氏程の身振はしないが、首を振々抑揚巧な大聲で熱辯演說十四分間に亘つて日本の非を鳴らす、次で我佐藤代表起ち聞き取れぬ程の低聲ではあるが、力強く顏代表の主張を反駁し滿場を傾聽させた

殊に顏代表が「日本は廣大なる滿洲全部を占領した」と述べたに對し、佐藤代表が「一萬五千の兵力を以て滿洲全部を占領等出來るものか、不可能である」と繰返し反駁するや、新聞記者席には成る程といつた樣な微笑のざわめきが起り顏代表は默然として頰杖を突いて俯いてゐた、會議は午後七時五十五分散會したが、議長ボンクール氏、支那代表顏慶惠氏、日本代表佐藤尙武大使はそれぞれ別項の如き演說をなしたが理事會の空氣は意外に平靜で、日支問題の討議は一般問題の討議後に廻される事となつた

規約以外の手段で事件解決必要 顏支那代表の演說

【ジユネーヴ二十五日發】ボンクール議長の日支問題に關する經過說明に引續き顏慶惠氏は直に起つて左の如く演說した

滿洲の形勢は今や遂に全世界の平和の機構を脅やかさんとする點に達した、支那國民三千萬が居住する二十萬平方哩の地域は占領され、理事會の三ケ月に亘る努力は全くその效なく、スチムソン氏が聲明せる如く滿洲における支那政權の最後の足場も遂に失はれ、日本軍は今や滿鐵より數百哩を隔る熱河をも占領せんとし形勢は惡化しつゝある抑々聯盟に對する支那の愬へは聯盟規約及び國際法規上の諸權利に基くものであるが、これ等の愬へは總てその效なく、今や**聯盟としては仲裁的以外の手段に出でざる可からざる時機に到達した、**蓋し前理事會以來世界平和に對する脅威は日に增大し玆に聯盟として執るべき行動の第一線は全く失敗に歸した、この時に當り理事會により任命された支那調査委員が日本への最も迅速[illegible]る旅程を執ら[illegible]メカ經由の如き行程を執るに決した事は支那の頗る遺憾とする處である、又今日迄の理事會の行動は本件に對する平和的解決の全機構に對し疑念を輿へてゐる、今や何等か他の效果ある行動を執る事は最大の喫緊事である、今日迄の聯盟の行動は日本が滿洲を併合し更に或は全支那をも併呑せんとする侵略的行動を阻止せんとして悉く失敗となり、その結果支那政府をして事件解決のため**聯盟規約に規定されたる現在以外の手段に出ん事を要求するの必要に陷らしめてゐる**條約の義務を無視し世界の輿論に輿へた言質を無視せる今回の如き皮肉なる行動は恐らく歷史始まつて以來その例を見ざる處である

顏慶惠支那代表

今次事變の責任は總て支那側にあり 佐藤日本代表反駁

【ジユネーヴ二十五日發】日本代表佐藤大使は理事會にて滿洲事變その後の推移及上海事件につき左の聲明を發した

廣大なる滿洲を支那代表顏慶惠が非難する如く**僅か一萬五千の軍隊を以て占領することは絕對不可能**である、現に滿洲の支那人民は事變以來少しも移動せず今後も安住することが出來る、**現在の情勢は支那側が常に匪賊を驅つて滿鐵附屬地帶の攪亂を企てるために釀成されたもので**これ等の匪賊は屢々支那正規兵に依りて指揮されてゐるから正規兵と非正規兵との識別は逐日困難を加へてゐる、斯くの如き情勢の下に常に匪賊掃蕩の必要が存在することは期限を定めて鐵道附屬地域內に撤退するの不可能な事實を說明してゐると思ふ、次に目下上海の事態が切迫してゐるとは事實であるが、**その責任は全部支那側の負ふべきものである、**事件の發端は支那人が故なくして日本の托鉢僧に暴行を加へ瀕死の重傷を負はせたに發するもので日本は屢々反日團體の取締を要求したにもかゝはらず支那側は誠意を示さぬのみならず、日本人に對する襲擊は依然として繰返された、玆に至つて**日本は已むなく自衛手段として若干の驅逐艦と陸戰隊を上海に派遣したが**今日までに支那側の執つた手段は依然不充分なものである、從來日本は到底信ぜられない位の忍耐を以て支那側の忍び難い侮蔑暴行及び滿洲における條約上の權益侵害を忍んで來たが支那側はこれに增長しその侮日態度は停止するところを知らず、日本國民も遂に斷然日本の權益擁護を決意したのである、しかしながら**日本の希望するところは滿洲の平和と門戶開放に在る**ことは屢々聲明した通りである、なほ錦州の占據は單に一時的のもので事態が平穩に歸しその永續性が保障された場合は日本は直に撤兵する用意を有す

佐藤日本代表

顏支那代表は錦州占據に關する佐藤代表の聲明を反駁し左の如く述べた

日本政府が列強に對し錦州攻略の意肚なきことを約束したにかゝはらず錦州が占領されたのは軍閥の再び勢力を擡頭したためである、日本の軍閥は支那の日貨ボイコットは武力によつて彈壓し得ると確信してゐるが、如何なる力も人民をしてその好まざる國の品を買はしむることは出來ない

けふ審議續行

【ジユネーヴ二十五日發】同會議は二十六日午前十時半(滿洲時間二十六日午後五時半)より審議を續行するに決定した

理事會議題

【ジユネーヴ二十五日發】今回の理事會議題は

一、第四回交通總會の事業報告
二、日支紛爭問題報告
三、世界經濟恐慌を支配する公私債問題
四、民間航空に關する情報公表に關する國際協定の件

等で右の內二、三は緊急に加へられたものである

事務總長辭表

【ジユネーヴ二十五日發】國際聯盟事務總長サー・エリック・ドラモンド氏は本日理事會に辭表を提出した理事會では氏を失ふを惜み留任を懇請中であるが、本年滿期につき近く事務局の改造が必要となつた

松平大使壽府へ

【ロンドン二十五日發】松平大使は二月二日よりジユネーヴで開催される軍縮會議出席のため今夜ジユネーヴに向け出發した

立候補氏名

【東京二十六日發】立候補者氏名

東京府第三區 駒井重次(民新)
大阪府第三區 內藤正剛(民前)
同 第四區 中山福藏(民新)
同 第四區 谷田國次郎(政新)
同 第五區 田中萬逸(民前)
同 第六區 川西榮之祐(政新)
奈良縣(全縣一區) 平岡啓道(政新)
大阪府第四區 本田彌市郎(民前)
同 第二區 犬養[illegible](政前)
同 第三區 細井木桂吉(民前)
東京府第四區 森健吾(中新)
同 第四區 朴春琴(中新)
同 第六區 前田米藏(政新)
大阪府第二區 山本芳治(政元)
同 第五區 石田武太郎(政新)
兵庫縣第一區 川上丈太郎(勞大)
大阪府第五區 喜多孝治(政前)
宮城縣第二區 小山庫之助(民前)
東京府第三區 安藤正純(政前)
同 第五區 安藤博(政新)
愛知縣第一區 瀨川嘉助(政前)
鳥取縣(全縣一區) 矢野晋也(政元)
愛知縣第二區 西脇晋(民前)
岐阜縣第一區 山田道兄(民前)
長野縣第四區 坂西隆東(立憲養生會新)
愛知縣第六區 大口喜六(政前)
沖繩縣(全縣一區) 金城紀光(政新)
同 伊禮肇(民前)
同 仲井間宗一(民新)
崎山嗣朝(政前)
愛媛縣第一區 武智勇記(民前)
埼玉縣第三區 野中徹也(民前)
長崎縣第一區 志波安一郎(政前)
鹿兒島縣第三區 金井正夫(新)
三重縣第二區 濱地文平(政新)

松岡洋右氏 山口縣から出馬

前滿鐵副總裁松岡洋右氏は來るべき總選擧に山口縣の第二區である熊毛、大島、作波の三郡を根據として出馬することとなつた旨前松岡氏後援會の世話役であつた藤田秀次氏に入電があつた、藤田氏等は前回同樣松岡氏のため後援會を作り大に當選を期する筈

森本氏政友入黨

【東京二十五日發】森本一雄(前國民同志會代議士)は二十五日政友會に入黨した

羅文幹氏が外交部長代理

【上海二十五日發】南京來電によれば外交部長の後任には羅文幹、餘日章兩氏が有力視されてゐるが政府は當分部長を置かず羅文幹氏を部長代理として事務を執らしめる筈

人事

▲林壽夫氏(關東廳警務局長) 廿六日入港ばいかる丸にて來任
▲森本勝巳氏(關東廳警務課長) 警務事務打合の爲上京中のところ同上歸連
▲泉文三氏(同警部) 同上
▲納賀雅友氏(山下汽船大連支店長) 同上
▲宮川三郎氏(淺野セメント工場課長) 同上來連
▲枝松群氏(大日本製氷大阪出張所長) 同上
▲高木義枝氏(國防新聞社長) 同上
▲山西恒郎氏(滿鐵理事) 江口副總裁代理として二十六日午前赴旅山岡關東長官を訪問し警備の挨拶を爲した

1932

國際聯盟理事會、顏支那代表の演說例によつて概念的議論に終始す、臘氣ながら支那及び滿洲の特殊性を知りかけた理事會だ、それでは最早動かぬ。

◇

上海問題は何れ國聯の問題になる。兩國に警告を發するは國聯の立場として御尤も、但し國際間の良好な了解を攪亂する支那側の行動に御注意。

◇

陳友仁、孫科等辭す、對日強硬論容れられぬからといふが、それは通辭、實は蔣介石の勢力に壓迫されたのだ。

◇

行掛の駄賃に對日硬論を高唱す前に軟論者と見られた名譽回復の策でもある。

◇

上海共同租界、民國日報と抗日團を逐はんとするも、佛租界に逃げんとする、そこでも爆彈を抱き込む事に果して興味を持つや否や。

『東亞の謎』休載

けふ着任した林關東廳警務局長(寫眞は埠頭にて)

丁超武力行動に出で 哈市近郊混亂に陷る

部下四千の主力を南下せしめ 吉林軍の哈市入阻止

于琛澂の率ゐる吉林剿匪軍は二十六日ハルビンに入城すべく北進中であつたが東支護路軍司令丁超は自己の地位を于琛澂に奪はれることを恐れて剿匪軍のハルビン入城を阻止すべく使を吉林に派遣して熙長官に交渉中であつたが交渉不調に終つたので武力を以つて阻止するに決し二十六日部下の主力四千を南下させた、之が爲めに傅家甸市中は人心極度に不安に陷り且市中治安は維持されず隨所に掠奪が行はれてゐる模樣であるが傅家甸とハルビンとの間は丁超の軍隊を以て交通を遮斷し且つ電話電信は切斷された、因に二十四日吉林を出發、ハルビンに向つた要人連も哈市に入ることが出來ず途中で立往生してゐる、傅家甸における在留邦人の安否氣づかはる【長春電話】

公安局その他占領 市民は續々と避難

【ハルビン二十五日發】吉林剿匪司令于琛澂氏は明日ハルビンに入り一大クーデーターを斷行する事となつたが右と共に張景惠氏は特別區行政長官を辭し奉天に赴いて新政府の首腦に任じ于琛澂氏は護路軍總司令に任じ當分行政長官の事務を代行することゝなつた且つハルビンの警察署、電話局等の現幹部は全部罷免し吉林系軍人を以て之が後任に當て特別區も撤廢するに決した、護路軍副司令丁超、步兵第二十六旅邢占淸の兩人も辭職に決してゐるが今夜邢占淸の第二十六旅は突如兵變を起し目下盛んに掠奪中

【ハルビン二十六日發】反吉林軍はなだれを打つてハルビンの近郊傅家甸に入り込み公安局その他を占領した、かくて北滿動亂の氣運再燃し人心極度に動搖し有產階級は身邊の危險を恐れて續々避難しつゝあり

匪賊續々奉天潛入

我軍の討伐で影を潛めた反面に 警備手薄の機を窺ふ

わが軍數次の討伐に依つて沿線一帶に亘つて影を潛めるに至つた匪賊は昨今に至り窮鼠猫を嚙むの勢ひを以て窃かに奉天附近に三々伍々集合し夜の警備手薄の機を窺つて魔手を伸ばし始めた

即ち二十五日夜から二十六日朝にかけて跳梁した賊團四件あり二十五日夜十時半頃奉天大南門外に五六名の銃器所持の匪賊現はれたが急報に接した城內憲兵隊員の手で擊退さる、二十六日午前零時半頃奉天驛機關庫信號所に機關銃所持の强盜六名侵入日本人信號手を脅かして金二十七圓を强奪した、二十六日朝六時半城內迫擊砲廠に十數名の匪賊潛入したが守備隊に擊退された、二十六日朝九時頃大西邊門附近に四十名の匪賊現はれ公安分局巡警と交戰を始めたが急報に依り奉天守備隊より六十名の隊員三臺のトラックにてかけつけ巡警に應援、匪賊を擊退し賊數名を捕虜としたが

晝の日中に賊團の出沒したのは近來めづらしく奉天附近に潛入せる別働隊の尖兵でないかと云はれ物情騷然としてゐる【奉天電話】

奉天驛に二名の馬賊

給料を强奪

廿六日午前零時二十分ごろ奉天機關區合圖方詰所に二名の馬賊が現れ同所に勤務中の合圖方若林定義および支那人韓某を脅迫若林氏の給料二十六圓七十三錢、八十四錢在中の財布を强奪逃走した

田庄臺に匪賊

二十五日午後六時半田庄臺に約四百名の匪賊襲來した【營口電話】

石山站で我部隊 匪賊と苦戰

井上二等兵ら負傷

二十五日午前二時三十分奉山線石山站住民三名が匪賊襲來を報じ來つたのでわが守備隊の大野曹長以下十二名の守備兵は直に戰鬪準備を整へたが之と同時刻に驛正面六十米突の人家に陣取つてゐた約百名の匪賊は早くも襲擊を開始し守備兵之に應戰し猛烈なる戰鬪が開始された、この時後方及び左右に在つた約百數十名の匪賊も驛舍に接近し四方より一齊に猛烈なる射擊を始め井上二等兵は肩胛部と顏面に盲貫銃創を受けた、通信機關は全部杜絕しわが軍は全く苦戰に陷り匪賊は窓際に肉薄して猛烈に襲擊し來つたので驛員、保線區員も死を決して各々手榴彈を持ち協力一致して驛を死守した、四時頃賊の殆ど全數が後方に集結し更に猛烈なる襲擊を行つたが六時半頃夜明と共に漸く之を擊退した、わが方の損害は

井上二等兵負傷の外滿鐵派遣の聯絡員蘇平五及び朝鮮人二名、支那巡警一名、石山站住民一名計五名が賊に拉致せられ金錢物品の被害も相當にあり、鮮人一名は左手首に擦過傷、耳と大腿部に盲貫銃創を受け驛舍の窓硝子は目茶苦茶に破壞された

匪賊は死體四を遺棄し死傷三と負傷十二、三名を連行し銃劍、拳銃長銃各一、拳銃彈百五十小銃彈三百六十を遺棄した、なほ賊團は廿四日夕刻から密偵を派して石山站の守備狀況を偵察した上夜半襲擊し來つたものである、同驛には日本人驛員三名、同保線區員一、二名が在勤してゐる

警備力の充實には充分心掛ける積り

人事問題は政黨を度外視して けふ林警務局長着任

新たに關東廳警務局長に任命を見た林壽夫氏は廿六日入港はいかる丸にてかねてより警務事務打合せの爲め上京中の警務課長森本勝巳氏並に泉文三警部東道のもとに令姪同伴着任したが流石に警務關係の金帽金筋連の出迎へ賑やかなところを見せた、沖までは滿鐵小蒸汽で櫻井遞信局長、松田高等、有田保安、星子衞生各課長をはじめ市內各署長及び新聞通信記者が出迎へた、サロンにおいて夫々顏繋ぎ的な挨拶が交された後

新局長 は至極ゆつたりした氣持で記者團に語る、色の黑い點と是々非々をハッキリさす點、相手方に好感を持たするに充分である

內地とこちらは違ふだらうが自分位警察部長を永くやつたものは少いだらう

最初にこうポンと自信の程をほのめかす

滿洲には曾つて伊集院さんが長官時代に來たのと大正十二年に關東廳で外事警察打合會があつた折出席の爲來た記憶がある、丁度九月の大震災は奉天で聞いたよ、確かその時は中山佐之助氏が警務局長で外務省、內務省朝鮮總督府それに兵庫、山口、神奈川縣等から代表者が集つたのであつた、自分は曾つてこちらに來た時伊集院長官から色んな企畫を聞き方針について話されたが、今考へれば

非常に 參考になる事が多い樣に考へる、川越市長の方は疾くにやめてゐた、僅か九十二日間の市長さんさ、友人の縣會議員選擧に應援のため山口縣に行つてゐたので市會議員の連中が怒つてしまつたんださうだ、山岡新長官は前航で來任された相だが個人的に知つてゐる譯でなく警察部長當時長官が司法省に居られる時分會つたのである、中谷前局長もよく知つてゐる、あの人は學者だよ、新しい抱負だつて?まだ何も考へてゐない

內地の警察事務ならば少しは自信があるが又こちらはこちらで趣きが違ふだらう、何分自分は內地では警察部長を九年間やつたからね、その點では自分程永くやつた人は少いと思つてゐる

警察官 が軍隊と共に國防の第一線に立つて生命を賭して働いてゐるには敬意を表する、森本課長よりも警察官の增員計畫について聽いたが頗る必要な事だらうね、でも結局は金の問題さ金が無ければ何も出來ないよしかし警備の充實と云ふ點には心掛けるつもりだ、取敢ず急いで着任の上山岡長官とも御會ひして方針を立てる、次に人事の問題だが全然人間を知らないのだから動かし樣もなく具體的には考へてゐない、知つてゐるのは御影池學務課長位である、だがこの人事の問題に對しては自分は政黨だとか黨利なんてものを度外視して考へるつもりである、政府の命令なら仕方ないがとにかく今のところ考へてゐないとお答するより外ない、外勤

月俸減 の問題がこちらで働く人にとつて重大な事は解つてゐる、恐らく政友會內閣として は舊に戾す位の意向がある程だからこれ以上減するなんて事は無からう

かくて定期船着埠と共に一先づ待合所貴賓室に小憩、中谷前局長をはじめ關東廳各方面人士並に滿鐵山西、竹中兩理事等と新任挨拶を交し直に旅順に向つた

ダンスホールか皆旅順に移すさ

大連は靜かにして置いて

林新警務局長は沖迄出迎への記者團に對し別報の如く新任の挨拶を兼ね抱負の一端をのべたが柔かい方面に話題を轉換し

エロだつて多少は知つてゐるさダンスホールもよからう、併しホールだけは淸らかなものにしたいね、享樂丈を求めると云ふ行き方は駄目だと思ふ、キャバレー邊りにそんなのは讓つてしまへば好いじやないか、何キャバレーは踊れないつて、さうかそれは困つたね、だから云はない事じやない、自分はこちらはよく知らないからしやべらせるなと云ふんだ、とにかくダンスホールを運動の場所と解釋してゐてくれると好いのだがなあ、神戶や橫濱邊りある位の程度は國際都市大連としてはやむを得まい、しかし出來れば大連は靜かなところにしておいて皆旅順に移すさ、だけど戰跡地丈は皆

林新局長 初登廳

林新警務局長は森本警務課長、泉警部、土居屬を從へ大連まで出迎への各警務關係課長と共に二十六日午前十一時半特急地の官邸に入り永山市長、土屋法院長、安岡檢察官長、米內山民政署長その他出迎へ人一同の挨拶を受けた後櫻上別室に於てシャンペンを拔き一同の祝杯を擧げた、尙警務關係各局長は一同玄關前まで出迎へた、局長は小憩の後泉警部の案內にて各室を一巡の後午後二時頃關東廳に初登廳した

警官の活動實況を映畫に收めて公開

關東廳で撮影に着手

關東廳管下の警察官は關東軍各部隊と同じく滿洲事變突發以來民衆の保護治安の維持の爲め晝夜をわかたず寢食を忘れて活動を續けてゐるが全滿三千有餘名の警察官の活動狀況こそはわが國警察史上未曾有の歷史的事實であるので關東廳警務局ではこの畫期的な警察官の活動狀況を

永久 に記念する爲めこの實況をフイルムに收め全滿在留民に對し警察官の必死的活動狀況を再認識せしめ且內地にもこの活動振りを知らしめるため廣く公開することゝなり內務局附鴻野屬は去る一月十二日以來安奉線を振り出しに關東廳管下の警察官が配置されてゐる地方全部に涉つてその活動狀況を既にフイルムに收むべく活動を續けてゐるが匪賊の爲めに屢々襲擊を受けつゝある安奉沿線

鬼氣せまる狀況、僅か數名の身を以て百名の邦人を死地から救ひ出した新民府の悲壯なる活動及び中間驛に配置された警察官の妻女や子供までが自らも銃をとつて夫と共に賊に當る光景等內地では想像も及ばぬ在滿警察官の苦勞が如實にフイルムに收めてあり之に日本軍隊の活躍をも織込んで長尺のフイルムとする豫定であるが之が完成の曉には襲擊に軍司令部が滿鐵と關係に依賴して撮影した皇軍の活躍のフイルムと共に滿洲事變の

實狀 を後世に殘す好箇の資料となるべく期待されてゐる【奉天電話】

御下附の御神寳けふ埠頭に到着

來る三十日傳達式

既報の如く廿六日入港はいかる丸にて伊勢大廟御神寳御弓、御靱、御鉾筒、御太刀、御楯が在滿各地神社宛送られて來たが關東廳學務課より衞藤屬宇治山田に拜受のため出張中だつたもので右に對し守護の重任にあつた衞藤氏は語る

廿二日に宇治山田を出發して神戶に一泊して來たのです、幸ひ沿道の警戒が充分だつたので重責を果し得た事を喜んで居ります、御神寳は各一體づゝ本溪湖、安東、開原、遼陽の各神社、大連は金刀比羅神社に送られて來たものです

御神寳ははいかる丸着埠と共に日本人の手によつて恭しく卸され一先づ民政署に安置するところあつた、尙三十日傳達式を行ふと

けふ埠頭に着いた御神寳

義金を募集して『滿洲號』を獻納

明日市役所に各代表者參集 義金募集の協議會

愛國號の續篇になつた愛國號二機の飛來に依りいたく刺戟された當地有志間にも率で「滿洲號」と云つた樣な飛行機を作製し之れを關東軍に獻納したらと云ふ話が寄々進められてゐたが今回いよいよこれが具體化し二十七日午後二時より大連市役所會議室に民政署、地方法院、遞信局、警察署、市役所、滿鐵會社、商工會議所、在鄉軍人聯合會、時局後援會、沙河口實業會、聖德實業會、青年聯盟、婦人團體聯盟、日刊新聞社の各代表參集し飛行機獻納義金募集の協議會を開く事になつた

裏切られて憤慨 使用人を殺害す

華人職人警察に自首

廿六日午前二時五十五分市內西崗街一四五番地賦力職葛思振(三二)が血みどろとなつて小崗子署に出頭し「只今使用人孫萬金を鐵棒で毆打し殺害しました」と自首して出たので同署にて取調べた結果同人は廿五日午後六時ごろ妻と共に外出不在中留守居の長女代甚(一)に對し前日孫萬金が無理矢理に關係せんとしたとのことを夫妻歸宅後娘が涙ながら訴へたので葛は八年間も使ひ片腕となつて働き相當信用せる孫が自分の不在中かゝる行爲をなして自分を裏切つたのを憤慨しカッとなつて隣家に居た孫萬全を追つかけ所持せる鐵棒で毆打せるため約一時間後午前二時半ごろ遂に絕命せることが判明したので同署では葛を傷害致死として目下留置取調中

質屋から盜む

二十五日午後七時三十分ごろ市內愛宕町十六番地質店富屋方へ三十歲前後の男が訪れ、質流れを買ふ風を裝ふて多くの物品を持ち出させて物色中、店員の隙を窺ひ黑サージ三揃洋服と茶色メルトンのオーバーを擾拂ひ逃走したが犯人は大體目星がついてゐるらしく大連署で搜査中

電燈料値下

二月から實施か

既報の如く滿電は大連の電燈料値下を計畫し既に値下案を關東廳に提出中であるが認可あり次第發表實施することになつてゐるが今明日中に認可ある筈で滿電では値下實施手續の準備を整へてゐる、今明日中に認可來れば二月一日より値下實施される筈で全般に一割見當の値下である

氷上選手權大會中止

【上諏訪二十六日發】諏ノ湖で擧行中の第三回全日本氷上選手權大會はコンデション惡く二十六日の第三日目に至り遂に競技不能に陷り本年の競技は之で中止した

多久島一味の第二回公判

市內山縣通貿易商多久島六四及びヘンリー・バクリー一味の銃砲火藥違反、麻醉劑取締規則違反事件の第二回公判は二十六日大連地方法院小田判官係り開廷、多久島と密接な連絡を執つてゐたバクリーに就き審理が進められた

渡邊倉庫事件

判決言渡し

【東京二十六日發】渡邊倉庫乘取事件の判決は二十六日東京地方裁判所にて左の如く言渡された

懲役一年(求刑一年半) 乾 新兵衞
懲役八月(求刑一年半) 阿部 綱隆

郵便貯金增加

客年末二千七百萬圓を突破したばかりの滿洲における郵便貯金は引續き一般の緊縮節約と出動軍人の記念貯金等によりますます增加する一方であつて二十五日には早くも二千七百六十五萬六千三百圓を算するの狀態である、この趨勢では遞信局豫ての目標たる三千萬圓も近く突破するであらうと觀測されてゐる

保證金を橫領

市內濱速町四十八番地利通錢莊方周蔚文(三二)は重要物產取引人たりし昭和四年一月から五年九月までの間に市內奧町五九番地吳星若の保證金一萬二千五百餘圓を橫領したこと被害者側の告訴により發覺し大連署で拘引狀を發したが既に何處へか逃亡し目下搜査中である

藤內巡查遺族 香奠返し寄附

曩に安奉線高麗門驛警備中匪賊に襲擊され交戰中殉職した故巡查部長藤內晃二氏の遺族は二十六日忌明につき各方面より寄せられた同情に對し香奠返しとして時局柄軍隊及び警察官慰問金として沙河口署を通じ金三百圓を寄贈

白濱氏嚴父

南滿瓦斯會社專務白濱多次郎氏は先般嚴父危篤の報に接し急遽郷里鹿兒島縣出水郡脇本村に歸省看護中であつたが嚴父權右衞門氏(七七)は二十五日藥石効なく逝去した

天氣豫報

二十七日 西の風 晴一時曇

各地の溫度

	昨日最低	廿六日午前十一時
大連	零下〇・二	三・七
旅順	同 〇・九	六・二
營口	同 五・〇	零下二・七
奉天	同 五・二	同 二・五
長春	同 九・九	同 六・九

けふの小洋相場(正午) 金百圓は一七六圓九〇錢

武門血笑記 (35)

下村悦夫作　布施長春挿畫

狂乃（一）

源之丞は、石のやうに默つて、只一人、自分の居間で、坐つてゐた。

ほの暗い、燈の光に、照らされた彼の顔は、げつそりと、肉が落ちて、眼だけが、ギラ〱と鋭く光つてゐる。

今しがた、別れて來た父親の怒りに滿ちた訓戒、親切な兄の言葉、涙に濡れた母親の繰言――どれもこれも彼には堪へ難い、苦惱の答であつた。が、彼の心を、今、八熱地獄の責苦に追ひ詰めてゐるのは、もうあと二日で、福馬とお梨花が、祝言の盃を、あげると云ふ事であつた。それにその福馬には、父親に當る大目附陣野長門の指圖で、非公式ではあつたが、彼の失踪に就いての取調べが、明日行はれる事になつてゐた。

（畜生奴、福馬の指金だ、俺に煮え湯を呑ました上に、根こそぎ叩き潰さうとするのだ！）

込み上げて來る憤怒に、今にも爆發しさうな心を、じつと押へて心の中で、叫び續けた。

（今に見ろ、今に見ろ、福馬の奴を蟾蜍のやうに踏み潰してやる。肉身が何だ、家內が何だ、自分の潔白を見せたさに、婿選びの席で俺を無視して、俺の一生を塗り潰してしまつたのは誰だ、家門の爲めに、この怨みを、一生持ちつゞけて行けと云ふのか、馬鹿な）

源之丞は、蒼白めた顔に、全身をわなゝかせて、顫はせて、

（やる、確にやる。誰が明日の日の取調べを、受けるものか）

と、思はず小聲で呟いて、つか〱と、立ち上つて、床の間の大刀を、取上げると、そのまゝすらりと、抜き放つて、燈にかざしながら、凝つと見入る。

伸びた月代、爛々たる眼、蠟のやうに蒼ざめた面――爛々たる白刃の鋒もとから、鍔まで打ち返し打ち返し見入つてゐる、源之丞の口の邊には、ほのかな笑ひが、鬼火のやうに漂つてゐる。

やがて、源之丞は、刀をぴつたり、鞘に納めて片膝を立てたまゝ、家の中の樣子を覗つてゐたが、すつくり立上つて、ぐいと、帶を締め直し外出の支度をすると、ふつと、燈を吹き消して足音を忍ばせながら、手探りで雨戸を開けて外へ出る。

間もなく自分の屋敷の塀から、ひらりと、通りへ飛び下りた源之丞は、何時の間にか、黑い布ぎれで面を包んでゐる。

雨模樣と見えて、月の光が、うつすらと灰色の雲に遮られて、靜かな夜の世界は、一面に靄がかゝつたやうにほの暗い。

遠くの方の夜廻りの拍子木の音が冴えて聞えるのは、もう眞夜中近い刻限であるらしい。

源之丞は、何時になく足音さへも聞えぬ程の靜かな足取りで、物陰を縫ふやうにして、歩いてゐたが、程なく鬱蒼と庭木の茂つた大きな屋敷の側まで來ると、ぴたりと足を止めた。

福馬の父親、陣野長門の屋敷である。

豫じめ見當は附けて置いたのであらう。彼は長い海鼠塀の中程に松の大木が內側からにゆうつと枝を差し延ばした處まで來ると、細引を取出してパラリと枝に絡ませそれを手頼りに塀を乘越え、屋敷の內側へ忍び込んだ。

さうして、庭木の中を、掻き分けて建物に近づくと、プッツリ、刀の鯉口を切り、猫のやうに足音を忍ばせて、勝手知つた福馬の寢所の方へ覗ひ寄る。

古賀聯隊の勇戰を 軍で映化計畫

一月九日錦西に於て壯烈な戰死を遂げた古賀聯隊長以下の最後の實況は勇猛果敢な騎兵部隊の精華とも言ふべく壯絶無比なものであつたが關東軍第四課では古賀聯隊が百餘の僅かな部隊を以て數千の兵匪に對して聯隊長以下軍旗の下に護國の鬼と化した壯烈さを始め古賀聯隊が最後の一兵まで斃れて止むの大和武士道の精髓を錦西の荒野にさらすに至るまでの經緯は誠に特科隊として騎兵科の威武を中外に示したのみならず千古の歴史に傳へらるべき幾多の秘談秘事もあるので之等を特に戰史に編むべく松井科長が司會となつて臼田少佐及び井大尉が掛りでこの實狀を示す資料を蒐集しこれを琵琶歌、浪花節に仕組んで世人に傳へる一方臼田少佐司會の下にキネマに作成することゝなり特に之が製作については古賀聯隊と日常を共にした室〇〇師團麾下部隊の特別援助を興へ近く撮影の運びとなる筈

在郷軍人大連分會後援で 感激の軍事映畫 噫、南嶺三十八勇士

二十八日より常盤座で上映

東活映畫超弩級軍事映畫「噫南嶺三十八勇士」はいよ〱來る二十八日より帝國在郷軍人會大連聯合分會後援の下に常盤座に於て華々しく上映されることになつた「噫南嶺三十八勇士」は旣に知られてゐる如く人情中隊長故倉本少佐を中心とした物語りで、昨年九月十九日南嶺の丘に紅に染めた倉本少佐以下卅八勇士の榮譽を永久に讃へ併せて國民精神作興の一助とすべく獨立守備隊第一大隊並に在郷軍人公主嶺分會の大々的應援を得て東活井手錢之助監督がメガホンをとり武村新、南光明が主演したものであるが、殊に獨立守備隊司令官森中將は自らキャメラに入ると同時に題字を揮毫し、一層この映畫の價値を高めてゐる、尚同時にパラマウント發聲版、チャールス・ロジャース主演の猛鬪映畫「ローマンスの河」が併映され更に感興を深からしめる筈である【寫眞は噫南嶺三十八勇士の一場面で左端は南光明、左より四人目は特別出場の森獨立守備隊司令官】

大激戰を偲ぶ 勇士の遺品 常盤座に安置

二十八日より華々しく常盤座に上映される東活軍事映畫「噫南嶺三十八勇士」の主人公たる倉本中佐以下各勇士の尊き遺品は特に獨立守備隊の好意により大連憲兵分隊に移送され廿八日より常盤座玄關正面に安置されるが心ある人々の燒香を希望すると尚常盤座では二十七日正午より若草山西本願寺に於て追悼會を營むことになつたが一般の參列を希望すると

噂話

亞東印畫協會で成作した十六ミリ事變映畫「錦州を衝く」はこの程いよ〱完成したので、二十六日午後四時半より山縣通土地會で關係者を招待の上試寫會を開くことゝなつたが▲アマチュア連合作のタイトルが非常に好評を博してゐる▲常盤座の小泉氏なども大いに乘氣になり、試寫を見た上相當なものであつたなれば、是非「噫南嶺三十八勇士」と併映したい希望である

本社選 新棋戰（其九）

角落　八段△土居市太郎　四段▲鈴木禎一

【圖は四三飛成迄の局面】▲鈴木氏「持駒」桂桂歩（六ツ）

△土居氏「持駒」金銀銀

△	▲
四一金	三二玉
四二金	同　龍
同　金	同　玉
四四飛	四三歩
七四飛	六三金
七三飛成	同　金
六五桂	七七歩
同　銀	八五桂
五三銀	三二玉
七三桂成	三一金

【土居八段講評】△上手七三飛の成捨ては些か過激な樣に看ゆるが、自玉に危險が二手の餘裕あるを頼みに桂を利用して敵玉へ必至を掛けやうとの心算である。

【萩原六段解說】上手四一金打は以下四四飛と打つて駒得を圖り十分と見ての攻めであるが、此處四一銀と打つて敵二二玉なら四四銀、同龍、三二金、一二玉、二四飛でよく又四一銀に對し敵三二桂なら三三銀打、同桂、二四飛同歩、二三金打で必至となる下手の七七歩は手筋であるが何分駒損と手駒の少ないのを以て上手は自玉に寄りがない故、五三銀と進み下手三一金も已むを得ない。

景氣は芽ぐむ（E）

景氣は證券界から 滿鐵株の値上り

驚く勿れ一億二千百萬圓也 事變前と最近の比較

物窮すれば必ず通ずると言ふが、過去數年に亘り殆ど瀕死狀態に陥り、閑古鳥の鳴くやうな寂れ方だと冷笑された大連五品市場の昨今の復活振りはどうだ、昨秋まで只の七八圓臺に慘落してゐた五品株が昨今では二十八九圓臺で四倍方の奔騰となり、一日出來高四五百枚から一躍一萬枚を突破するといふ商内振り、五品代行會社が創立されると十圓以上のプレミアムがついて申込みは公募株數の千倍以上にもなるといふ盛況は恐らく何人と雖も昨年頃までは夢想も出來なかつた變化であらう

然らば何がさうさせたか？全般的株式騰貴の材料としては、政友會内閣の出現とその傳統的積極政策に對する期待、金再禁止から爲替相場の崩落による物價高等を數へることが出來るが、その最も大きい原因は、多年に亘り世界的不景氣と、國内的行詰りから萎靡沈滯した國民の人氣が、滿洲事變の勃發と皇軍の活躍により、一躍に作興して、更生される滿蒙の天地に新らしい希望と、輝かしい期待がかけられてゐるためとみるべきであらう——滿洲株が内地主力株以上に騰貴率を昂めてゐるのはそれがために外ならぬ

今試みに最近における主なる滿洲地場株の相場を滿洲事變勃發直前昨年九月十八日と比較すれば左の通りである（單位圓）

銘柄	九月十八日	一月廿五日	比較
滿鐵舊	四七、〇	六四、〇	一七、〇高
滿鐵新	二三、五	三四、〇	一〇、五高
五品	八、〇	二九、〇	二一、〇高
豆信	四〇、〇	五三、〇	一三、〇高
新豆	一一、五	二六、〇	一四、五高
錢鈔	一五、五	二五、五	一〇、〇高

右の如く滿鐵舊株は十七圓高、新株は十圓五十錢高、總株數の値上り高は舊株四百四十萬株で七千四百八十萬圓、新株四百四十萬株で四千六百二十萬圓合計一億二千百萬圓の値上りである、右の内在滿邦人の持株は新株二三十萬株とみられてゐるが假に二十五萬株として二百六十二萬五千圓の値上りとなりそれだけ在滿株主の懐ろが殖へた譯である、更に五品の總株數十萬株の値上りが二百十萬圓、豆信株三萬株で三十九萬圓、新豆株が二十一萬株で二百六十二萬五千圓、錢鈔株が十萬株で百萬圓であるが其他の事業株も殆ど二三割方の騰貴を示してゐるから全部を合算すれば在滿邦人の持株の値上りは恐らく一千萬圓以上に達し、それだけ個人の財産も殖ゆれば銀行の擔保力も増大したことになる

株式市場は財界のバロメーターと稱されてゐるが、これは財界の現狀を反映すると言ふよりも寧ろ將來を暗示すると言ふ重用なる意義を含むものである、然らば株式相場の前途がどうであるかを豫想するに、舊冬から最近にかけての諸株の昂騰は、爲替の崩落が齎した株式評價訂正の單なる一階梯と、漠然たる滿蒙の好轉見越しに過ぎない、滿蒙の發展も爲替安による株價の訂正も寧ろ今後に殘された問題であると考へればならない、加之政友會内閣はその傳統的積極政策を振りかざして徐ろに之れを實施し、仍つて以て財界好轉に全力を注ぐべきことは見易い處であつて、既に公債の增發、日銀保證準備の擴張等にその片鱗を表してゐる、かるが故に政府の此のインフレーション政策を基調とし、更に一千億圓と稱せらるゝ滿蒙利權の開發、國力の伸張等を考ゆれば近き將來において株式界は大正九年以來の黄金時代を現出せんとも限らない

翻つて世界經濟界を瞥見するも、往時の金偏重は一轉して物尊重の時を迎へんとし賠償及び戰債の棒引も重大なる考慮を拂はれんとし、各國共インフレーション政策に一般の努力を致さんとするに至つてゐる、此の空氣は世界財界不況の打開に一歩を踏入れたものであつて、徐々景氣立直りに向ふことは想像に難くない、故に現内閣の通貨膨脹政策、爲替低落による物價高並に滿蒙利權の確保とは我財界好轉の三重奏をなすべく特に滿蒙資源の開發確保の如きは我國をして、世界經濟の上に斷然優位を占むべき一大强材料であつて世界景氣は我國より、我國の景氣は滿蒙よりの感を愈々深からしめざるを得ない、素より泡沫の如き空景氣の出現は之れを期待すべきでない、しかしながらあらゆる生産事業の活動は人氣の作興に動機づけられねばならない、しかして人氣の作興は先づ證券界の活躍によつて醸成されなければならない、景氣は證券界より——殊に滿蒙の證券界より芽ぐみつゝあるとは何と愉快なことではないか

南北滿洲の電氣事業統制 着々實現へ

滿鐵線以西の下準備殆ど成る 入江滿電專務歸連談

滿電は目下南北滿洲電氣事業統制のため又軍の委囑を受けた支那側電氣の委任經營の要務もあり事業範圍が非常に擴張されたので現在奉天に滿電時局事務所を設き高橋常務が所長格にて栗山電燈課長、前川技術課長が主となり事務に當つてゐるが、入江專務は一般來チチハル、ハルビン方面を同要務のため出張視察中のところ廿五日夜歸社した、滿蒙電氣事業統制について入江專務は語る

北滿電氣は周知の如く東拓が多大の資本を投じてゐるし滿電は飽くまでも受身だ、向ふでも東拓の重役と會つたが昨今傳へられるが如く滿電が合併するなんて事實は未だない、錦州には當社から二人行つてゐるし八道溝には四人行つて軍の委囑によりそれ〴〵管理してゐるが滿鐵線以西の各地電氣事業統制の下準備は大體出來た、未だ鐵道以東に手のつけてないところがある、支那側電燈の施設をみると配線その他實に亂暴粗雜なもので、中には料金の安いところもあるがあの通りの施設なら安い料金でやつていける、特に今銀も相當の値だし滿電が委任經營しても料金その他從前通りのまゝでやつていける、今後統制の實を愈よ具體化するとせば支那側から賣込みに來てるものもあるし買收するものもあり或は借款に應ずるものもあるが滿電も相當金が要る、今のところ五、六百萬圓が必要と思つてゐるがこれは借入れることにし既に成算がある

對米佛クレヂット 千五百萬磅

英蘭銀行償還を發表

【ロンドン二十五日發】イングランド銀行は來る二月一日滿期に達すべき紐育聯邦準備銀行及び佛國銀行よりのクレヂット額一千五百萬磅を償還すべき旨公式に發表した、これにより昨年八月磅爲替維持のために米佛兩國より借款せる五千萬磅の償還は全部完了する筈である、而してこの償還はイングランド銀行の金準備を減らす事なくして行はれる筈である

わが海運界 活況を呈す

繋船十五萬噸に減少 納賀山下汽船支店長歸任談

私用を兼ね店務打合せのため内地に行つてゐた山下汽船取締役大連支店長納賀雅友氏は廿六日入港のばいかる丸にて歸連したが最近の内地海運界の情勢につき語る

金輸再禁止に伴ふ爲替の下落は海運界にも好影響をもたらし一時は百萬噸を越すといはれた繋船もグツと減り今のところ十五萬噸位に過ぎず、大型船は何れも歐州、印度方面の遠洋に就きそれ〴〵好い成績を收めてゐる、このまゝ三月にでもなればドルの資金が無くなり愈々圓爲替が下るといはれてゐるから海運界はますます好くなるだらう、こゝもさう一寸一息と云ふ形だ、今のところ近海は百十萬噸の船腹を要するが大型が出稼ぎに遠洋に就いてゐるので近海は足り勝でないほうだらう、それに米の收穫も五千五百萬石と豫想され例年より千萬石少い關係で少くも五百萬石は他から仰がればならない現狀にある、要するに内地の船舶業者は非常に强氣である、問題になつてゐた補助金なんてどうでもよいなんて向もある、滿洲事變後ますます多忙になると思ふが商船會社が定期船を增やすといふ說も聞いたしわれ〴〵ももつと褌を締めてかゝる氣だ、尙遠洋貿易の旺んになると共に私の會社でも新たに紐育に出張所を設けた

内滿とも銑鐵の需要漸く增え

鞍山のストック漸減

内地銑鐵市場が打續く不況のため永らく實需不振を呈した影響を受けて昨年中の鞍山銑の内地輸出は極度に振はず昨秋十月末現在の滿鐵のストックは實に約十九萬噸に上り記錄的狀態に達したが、その後政變を經て金輸出再禁止が實施せられた結果爲替關係より外國鋼材の輸入が不利となり印度銑等も著るしく割高となつたので本春に入つて以來の内地市場の狀勢は漸次好轉し實需の擡頭を促しつゝあり、滿鐵のストックも其後漸減傾向を辿つて最近では約十六萬噸となり一時より約三萬噸を減ずるに至つたので海外方面の需要不振にも拘らず大體本年度豫算面の出銑高廿五萬七千噸までは漕ぎつけ得るものとして商事部では愁眉を開いた形である、地元の滿洲においても事變後の善後處置の進行するにつれ各種建築土木關係の平和的事業が勃興し水道鐵管其他の需要が必然的に擡頭し來るものと觀られ本年度においては漸く五年度來の沈衰期を脫して四年度同樣約二萬噸の實需高に復活するものとされてゐる

一日の滿鐵貨物收入 二十九萬圓を超過

ダイヤ面以外に臨時增發の計畫

久しく乘務員の不足で貨物輸送に苦い遣り繰をつゞけてゐた滿鐵々道部では漸く乘務員の充實に伴ひ長春鐵道事務所管内の積出旺盛となつたため廿五日四平街、奉天間上りは昨年十一月十五日のダイヤ改正以來初めてダイヤ面全箇列車（十一ケ列車）を運轉し鐵嶺押出は五百卅車に達して本輸送期の最高高を示し本輸送期これまでの最高四百九十二車に比し三十八車の增加を見た、而して鐵道部配車係では今後は絕對に輸送能力が今日以上に低下することはないものと見てをり、更に餘裕の生ずるのを待つてダイヤ面以外に臨時列車を增發の計畫で既に二十六日からは四平街發上り臨時列車一個の運轉を開始し、なほ貨車の充實については近來大連向の石炭輸送が激減しこれに準備された貨車に相當餘りが生ずるためこれ等石炭用貨車を特產輸送用に振向けることに決定着々その計畫を進めてゐる、何れにしても最近滿鐵々道部一日の貨物收入は次第に盛返して二十九萬圓を超過するの好況を示して來たが配車係では少くとも一日三十二萬以上の收入をあげんものと必死の努力をつゞけてゐる

大連商議役員會あす開催

二十七日午後三時半より大連商議役員會を開催されるが當日の協議事項は左の如くである

一、大連博多間航路に關する件
二、滿洲公共機關聯合會開催並に滿蒙根本對策決定の件

輸出入ともに振はなかつた

昭和六年一ケ年における關東州海路貿易調べ

關東廳調査＝昭和六年一箇年間における關東州海路貿易の總額は輸出一億九千二百八十七萬二千七百三十五圓、輸入九千七百九十三萬四千七百三十圓、輸出入合計二億九千八十萬七千四百六十五圓にして輸出超過九千四百九十三萬八千五圓である、しかして之を前年に比較すれば輸出に於て三千九百五十萬四千六百六十五圓、輸入に於て七千百五十四萬二千八百八十九圓の減少で輸出入共に不振を示したが就中、輸入の激減は不況の程度甚だしかりしを立證してゐる、今各品別に價格を示せば左の如し（單位圓）

輸出

品目	價格
麥	一〇六、六二八
大豆	六二、一〇七、五六七
小豆	三、三九〇、二五三
高粱	二、六四八、四六三
玉蜀黍	七〇〇、四八二
落花生	四、三三三、九七三
小麥粉	一七七、五四四
煙草	七四二、七五五
綿絲	五、三九八、〇〇〇
野蠶絲	一、七二〇、五八三
毛及毛絲	一、二五六、二七六
鐵及鋼鐵	三、八二一、五五七
皮革	二、五三七、四三六
豆油	一七、五六六、一七三
石炭	二八、五九一、二一四
豆粕	二九、七五五、四七一
セメント	八九五、四四二
その他	二七、一二〇、九一八
總計	一九二、八七二、七三五

輸入

品目	價格
米	一、七七三、八二三
小麥粉	五、〇一三、四九七
砂糖	三、二八九、七六五
煙草	三、〇七〇、九九[illegible]
棉花	六、三二七、六四二
綿絲	三、五一二、九四四
綿織物	一一、〇五一、九六四
毛織物	一、六七六、三二六
麻袋	七、一三九、五八三
化粧品	一、一八八、四九九
車輛及部分品	一、四三七、〇七二
發動機發電機作業機械	四、〇六〇、二九三
鐵及鋼鐵	一、五一三、九一八
皮革	七八〇、一七七
紙	二、六〇二、一二八
油脂（豆油を除く）	一、六八六、二六八
藥材及藥品	三、八一〇、〇〇三
建築材料	四、五八五、二四二
石油	五三八、〇六三
其他	三二、八七六、五三二
總計	九七、九三四、七三〇

蓬萊無盡重役會

蓬萊無盡會社はこの程重役會に於て今期決算案を內定、來る廿七日の第廿五回定時總會に附議する筈（單位圓）

項目	金額
當期純益金	二二、九三五
前期繰越金	一四、三八八
合計	三七、三二四
▲此處分案	
法定積立金	二、五〇〇
重役賞與金	一、九〇〇
諸償却金	一、〇六七
退職基金	一、五〇〇
株主配當金	四、五〇〇
後期繰越金	一五、八三六

黄塵

◇…從來の滿蒙六十四鐵道計畫は不法暴戾なる舊東北軍閥の好餌となつて我國にとり甚だしく不利であつたが新政府の東北交通委員會では之を改めて理想的な交通網を計畫中である。

◇…新交通網は大連、葫蘆島、清津を基點とするもので現在の滿蒙既成鐵道五千五百キロの外更に三千五百キロ乃至四千五百キロの新規鐵道が敷設されることになるらしい。

◇…營口は冬期凍結するのみならず河口港たる關係上その生命が長くないので之に代るべき海港として葫蘆島を活用せんとする意圖に見受けられる。

◇…而して大連を基點とする滿鐵と清津を基點とする吉會線及び長洮線を根幹とし奉山、打通方面の海港としては葫蘆島を利用するものゝやうだ。

◇…この三つを幹線として四方八方に交通網を張り各線の間に圓滿なる連絡協定を設けんとするにあるらしい。

◇…從つて今後特產物その他の輸送系統には一大變革が齎さるべく一般關係業者も之に對しては深甚な注意を拂ふ必要があらう

市場電報

銀塊及爲替 / 棉花 / 大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 横濱生糸 / 印度麻袋 / 上海標金 / 上海爲替情報

市況（廿六日）

特產 邦商の買進で豆粕强調

今朝の定期は銀安で各品共寄高を示したがあと仕手關係で大豆、豆油は軟調を辿り高粱は買氣なく暴落を呈し豆粕のみは買氣旺盛で强調を辿つた

◇定期前場（單位錢）

◇現物前場（單位錢）

豆

今期銀の軟化を移して各品共一齊に高寄りしてか引尻安となり大豆、豆油は軟調を示し▲高粱は買氣なく暴落を演じた、但し豆粕のみは邦商の買氣旺盛で昂騰を辿り出來高も二十八萬枚の多きに達し▲現物粕も十一萬九千枚の取引があつた、政府黨勝利とみて米價高による買物が却々盛んのようである▲但し豆粕の埠頭の滯貨は三百八十三萬枚もある上に毎日十萬枚以上生產してゐるのだから品物は豐富だ

錢鈔 仕手關係で鈔票低落

銀

株

北濱の寄は諸株共一二圓高東京短期の東新は前日より五六圓高▲滿鐵新も三十五圓五十錢と各新高値をみせるなど內地は騰勢物凄く▲當市もこれにつれて新豆錢鈔は一二圓高五品の先物は遂に三十圓臺乘せを演ずるといふ奔騰振り▲いつかはこの裏が來て反動安を示すことは燎かであるが今は只人氣の赴くところ何處まで行くか判らない商勢である▲五品市場も前日は一萬六百余株の商內あり四五年來のレコードを作つた▲五品高につれ代行株も二十五圓五十錢買二十六圓賣人氣であつた

糸

米棉情報は日本筋及び實需筋の買ひが出た結果賣り物薄なため市況は閑散乍ら確りさあり▲現物五ポイント高、先四乃至七高を示し大阪三品は各限小一圓安と呆け當市はマバラの賣物で小手合せをみた▲綿糸も米棉の確りを眺めても南支の形勢不穩や依然たる實需の不振に頭重い商狀を示してゐる▲結局深押しもあるまいが北邊新規材料待ちに小巾往來の相場を繰り返すのではあるまいかとみられてゐる

商品 麻袋鬆らす 綿糸小緩む

株式 內地株續騰 五品卅圓臺

奧地市況 / 爲替相場 / 各地特產發送高 / 大連埠頭到着高

埠頭在庫貨物

1月19日　（單位瓲）

品目		本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆	混保	180,918.9	158,115.8
	非混保		
	白眉豆	12,246.9	
	青豆	3,464.2	
	合計	197,630.0	158,115.8
小豆		4,558.7	8,853.2
吉豆		2,273.4	2,486.8
高粱		28,338.8	9,803.5
包米		4,599.8	2,534.6
大米		3,564.2	47.6
小米		2,132.1	511.1
麥子			16.2
蕎麥		1,741.1	2,136.3
芝麻		170.6	30.9
大麻子		242.3	69.0
小麻子		1,141.1	159.5
蘇子		1,649.1	2,877.3
落花生		11,107.6	8,332.7
雜穀		807.9	2,165.6
豆粕		98,177.0	41,540.7
雜粕		421.3	102.8
獸骨		153.7	186.6
豆油		2,317.5	405.7
其他ノ油類			
麥粉		2,484.9	11,103.8
セメント		1,100.0	3,518.5
鐵子		4,922.1	519.3